

Trinitron® Color Video Monitor

取扱説明書 2 ページ	_____	JP
Instructions for Use page 18	_____	GB
Mode d'emploi page 32	_____	FR
Gebrauchsanweisung seite 48	_____	DE
Manual de instrucciones página 64	_____	ES
Istruzioni per l'uso pagina 80	_____	IT
使用说明书 98 页	_____	CS



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Trinitron

PVM-14L2MD PVM-20L2MD

安全のために

ソニーのモニターは正しく使用すれば事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に非常に高い電圧を使用しているため、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

7ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ モニターを落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡する。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

使用上のご注意（モニターのパフォーマンスを保持するために）	7
磁気に対するご注意	7
ブラウン管について	7
クリーニングについて	7
ラックマウントについて	7
特長	7
接続	8
電源コードの取り付けかた	8
各部の名称と働き	9
操作パネル	9
後面パネル	10
メニュー表示言語の切り換え	11
メニューの操作方法	12
メニューを使った調整	13
項目一覧	13
調整と設定	13
設定状態メニュー	13
ホワイトバランスメニュー	14
プリセットメニュー	14
ユーザー設定（1/2、2/2）メニュー	14
リモートメニュー	14
ユーザーサービスメニュー	15
故障かな？と思ったら	15
保証書とアフターサービス	15
保証書	15
アフターサービス	15
主な仕様	16
寸法図	i

この取扱説明書について

本書は、以下のカラービデオモニターに共通のもので
す。

- ・ PVM-14L2MD（14 インチモニター）
- ・ PVM-20L2MD（20 インチモニター）

上記機種で説明が異なる場合は、別々に説明してありま
すので該当する部分をお読みください。

本書のイラストは、特に表示のない場合すべて PVM-
14L2MD を使用しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家
庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがありま
す。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求
されることがあります。

JP
日本語

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国	カナダ	ヨーロッパ諸国	日本
プラグ型名	HOSPITAL GRADE	HOSPITAL GRADE	LP-34A	VM1050
コネクタ型名	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
コード型名	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
コード長	Max. 4.5 m (177 1/4in.)	Max. 4.5 m (177 1/4in.)	-	-
安全規格	UL	CSA	VDE	電安法



下記の注意を守らないと、火災や感電で大けがにつながる可能性があります。



分解禁止

キャビネットをはずさない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどをはずしたり、改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に変換をご依頼ください。



指示

規定の電源電圧で使う

取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。

規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。

この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



指示

ラックマウント時は専用ブレーカーを取り付ける

ラックマウント時は前面より電源を切ることができません。設置の際は専用ブレーカーを取り付けて使用してください。



禁止

ラックマウントした機器を、2台以上同時に引き出さない

2台以上同時に引き出すと、機器の重みでラックが転倒し、けがの原因となります。一度にラックから引き出すのは1台だけにしてください。

また、ラックが転倒・移動しないように適切な処置をとってください。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない
ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



注意

接続の際は電源を切る
電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



注意

指定された電源コード、接続ケーブルを使う
付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
・壁から 10cm 以上離して設置する。
・密閉された狭い場所に押し込めない。
・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
・布などで包まない。
・あお向けや横倒し、逆さまにしない。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない
水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

不安定な場所に設置しない
ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、モニターが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
真夏の、窓を閉め切った自動車内では 50 を越えることがありますので、ご注意ください。



注意

モニターは、2 人以上で開梱・運搬する
モニターは見た目より重量があります。開梱や運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず 2 人以上で行ってください。1 人で行うと腰を痛めることがあります。



注意

転倒、移動防止の処置をする
モニターをラックに取り付け・取りはずしをするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



禁止

モニターの上に乗らない、重いものを載せない
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く
電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



注意

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



注意

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



注意

電源プラグは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電することがあります。

次の方法でアースを接続してください。指定の電源コードから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用上のご注意 (モニターの性能を保持するために)

磁気に対するご注意

- ・ 磁気を発生するものを近づけないでください。画面が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。
- ・ モニターの設置の向きによっては、画面が傾いたり、色が乱れることがあります。このときは、一度電源を切り、再び電源を入れてください。自動消磁されます。または操作パネルの DEGAUSS (消磁) ボタンを押して消磁することもできます。DEGAUSS ボタンについて詳しくは、9 ページの **14** DEGAUSS ボタンをご覧ください。

ブラウン管について

- ・ 柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。手の油や指紋などは水で薄めた中性洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭いてください。
- ・ 表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけないでください。研磨剤を含むもの、アルカリ系洗剤、アルコールやベンジン、シンナーなどを含んだ溶剤は、表面を傷める原因になる恐れがありますのでご使用にならないでください。

クリーニングについて

- ・ お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- ・ キャビネットの汚れがひどいときは、水で 5 ~ 6 倍に薄めた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、かたくしぼってから汚れを拭きとります。このあと乾いた布で拭きしてください。
- ・ シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、モニターの性能維持のため上下に 1 U 空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

特長

画像

解像度

トリニトロン¹⁾ 管の採用により、中心部の解像度が 600 本以上の画像が得られます。

くし形フィルター

くし形フィルターの採用により、NTSC 信号のクロスカラー妨害 (文字のまわりの虹) やカラーノイズ (色のにじみ) をなくし、きめ細かで透明度の高い画像が得られます。

ビームカレントフィードバック回路

長期間安定したホワイトバランスが得られます。

2 カラー方式

NTSC、PAL の 2 つのカラー方式に自動で切り換わりします。

入力

アナログ RGB/ コンポーネント入力端子

ビデオ機器のアナログ RGB、コンポーネント信号を入力できます。操作パネルの RGB/COMPONENT ボタンを押してモニターします。

Y/C 入力端子 (S 入力端子)

ビデオ機器などの映像信号を、輝度信号 (Y) と色信号 (C) の 2 つに分離したまま入力できます。これにより、色のにじみやちらつきの少ない、鮮明な画像が得られます。


拡張可能な入力機能

本機後面のオプションスロットに別売りの入力拡張用オプションボードを装着することで、入力系統を容易に拡張できます。入力拡張用オプションボードは 1 枚のみ装着できます。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。メニュー画面の「RGB 設定」で「RGB / EXT」に設定すると、外部同期で動作します (14 ページ参照)。

1) “トリニトロン” はソニー株式会社の登録商標です。

自動終端解放（マーク付きの端子）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部的に 75 Ω で終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

機能

オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）を自動調整する機能を標準装備しています。

オーバースキャンモード

画面サイズが約 20 パーセント拡大され、中央部分が見やすくなります。

アンダースキャンモード

通常、画面外に走査されている信号まで画面に表示し、画像全体をモニターすることができます。

ご注意

アンダースキャン時に、画面上端に赤緑青の走査線が見えますが、これは本体内部の動作によるものです。

自動 / 手動消磁機能

ブラウン管は、電源投入時に自動的に消磁されます。また、DEGAUSS ボタンを押すと手動で消磁できます。電源投入後から、自動的に消磁されるまでの時間をメニューで設定することもできます。

スクリーンメニュー機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なモニターの設定や調整をすることができます。

オプション

EIA 規格の 19 インチラックに収納可能

別売りのマウンティングブラケット MB-502B（PVM-14L2MD 用）またはスライドレール SLR-103A（PVM-20L2MD 用）を使用すると、EIA19 インチラックにマウントすることができます。

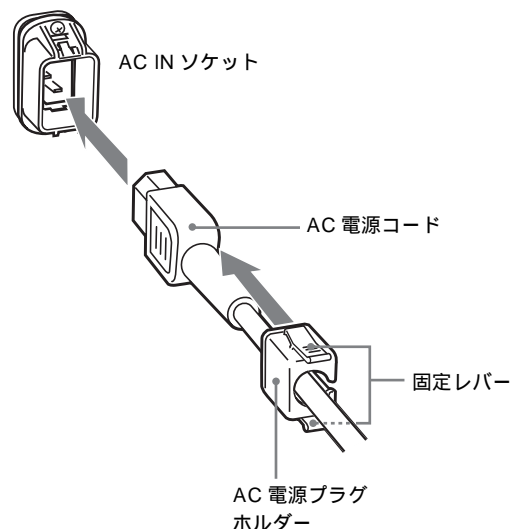
マウント方法についてはマウンティングブラケットまたはスライドレールの取扱説明書をご覧ください。

接続

電源コードの取り付けかた

電源コードをつなぐには

AC 電源コードを後面の AC IN ソケットに差し込み、AC 電源プラグホルダーを AC 電源コードに取り付け、固定レバーがロックするまではめ込みます。

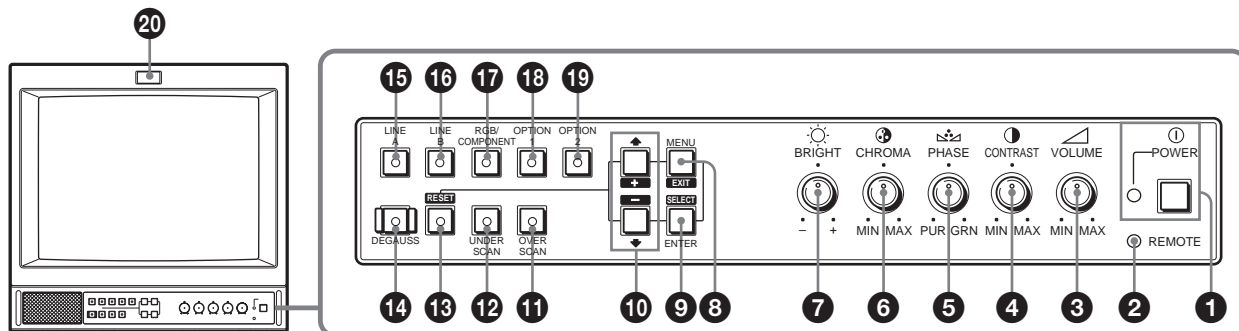


電源コードをはずすには

AC 電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

各部の名称と働き

操作パネル



1 POWER① (電源) スイッチとインジケータ
押し込むと電源が入り、インジケータが点灯します。
もう一度押しすと、電源が切れインジケータが消灯しま
す。

2 REMOTE (リモート) インジケータ
このインジケータは、以下の場合に点灯します。
・スクリーンメニューのプリセットメニューで、ON を選
択したとき。
・スクリーンメニューのリモート (RS-232C) メニュー
の、シリアルリモートを選び、リモートオンまたはリ
モート&ローカルを選択したとき。

3 VOLUME \triangleleft (音量) 調整つまみ

4 CONTRAST \odot 調整つまみ

5 PHASE ☸ (色相) 調整つまみ

ご注意

PAL、コンポーネントおよびRGB信号では、色相
(フェーズ)の調整はできません。

6 CHROMA ⊕ (色の濃さ) 調整つまみ

7 BRIGHT ☀ (明るさ) 調整つまみ

8 MENU/EXIT ボタン
メニューを出したり消したりするときに使います。

9 ENTER/SELECT ボタン
メニューで内容を決定するときに使います。

10 \uparrow /+ (カーソル上方向移動 / 調整) ボタン
 \downarrow /- (カーソル下方向移動 / 調整) ボタン
メニューでカーソルを動かしたり、数値を調整したりす
るときに使います。

11 OVERSCAN ボタンとインジケータ
押しすとオーバースキャンモードになります。画面サイ
ズが約20%拡大され、中央部が見やすくなります。
もとの画面サイズに戻すときも、このボタンを押しま
す。

12 UNDERSCAN ボタンとインジケータ
押しすとアンダースキャンモードになります。
画面サイズが約5%縮小され、画像の四隅まで表示さ
れます。
もとの画面サイズに戻すときも、このボタンを押しま
す。

13 RESET ボタンとインジケータ
メニュー項目を調整中に押しすと、調整が無効にな
り、調整前の設定値に戻ります。

14 DEGAUSS (消磁) ボタンとインジケータ
消磁したいとき、このボタンを1回押します。もう一
度使用するときには10分以上間隔をおいてください。

ご注意

スクリーンメニューが表示されている状態では、
DEGAUSS ボタンは効きません。
手動で消磁を行う場合は、MENU/EXIT ボタンでスク
リーンメニューを消してから行ってください。

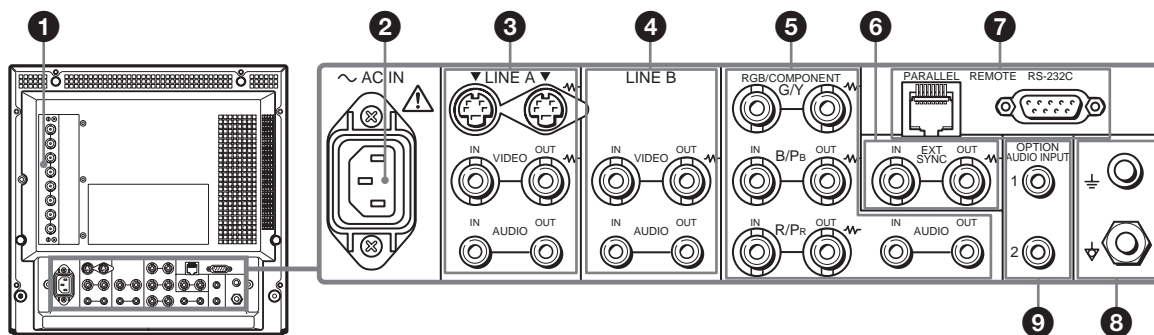
- ⑮ LINE A ボタンとインジケータ
LINE A 入力端子からの信号をモニターするときに押し
ます。
- ⑯ LINE B ボタンとインジケータ
LINE B 入力端子からの信号をモニターするときに押し
ます。
- ⑰ RGB/COMPONENT ボタンとインジケータ
RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターす
るときに押します。
- ⑱ OPTION 1 ボタンとインジケータ
モニター後面のオプションスロットにオプションボード
が装着されているときに使用します。

オプションボードの入力 1 からの映像信号と OPTION
AUDIO INPUT 1 からの音声信号をモニターするときに
押します。

- ⑲ OPTION 2 ボタンとインジケータ
モニター後面のオプションスロットにオプションボード
が装着されているときに使用します。
オプションボードの入力 2 からの映像信号と OPTION
AUDIO INPUT 2 からの音声信号をモニターするときに
押します。

- ⑳ タリーランプ
本機に接続されているカメラの映像が選ばれると、ラン
プが点灯します。
タリーランプが点灯するようにするには、タリー制御
の配線が必要です。詳しくは 17 ページをご覧ください。

後面パネル



- ① OPTION (オプション) スロット (BKM-129X)
別のオプションボードを使うときは、BKM-129X を取り
外して装着しなおります。

RGB/COMPONENT 入出力端子・EXT SYNC (外部同
期) 入出力端子

アナログ RGB またはコンポーネント (Y、PB、PR) 信
号の入出力端子です。

操作パネルの OPTION 1 ボタンを押してモニターしま
す。

音声は、OPTION AUDIO INPUT 端子に接続してくだ
さい。

外部同期信号を使う場合は、メニューの「RGB 設定」の
「RGB / EXT」、「COMP / EXT」で設定します。

オプションボードは 1 枚のみ装着できます。2 枚装着
すると、機能しません。装着方法について詳しくは、オ
プションボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

- ② AC IN ソケット
付属の AC 電源コードをつなぎます。

- ③ LINE A 入出力端子
Y/C 分離入力、コンポジットビデオ信号と音声信号のラ
イン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。
操作パネルの LINE A ボタンを押してモニターします。
Y/C 入力と VIDEO 入力を同時に接続した場合、Y/C 入
力が優先となります。

Y/C IN/OUT (4 ピンミニ DIN)

Y/C 分離の入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他
のモニターなど、外部機器の Y/C 分離出力および入力
端子と接続します。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオ
カメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映
像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出
力および入力端子と接続します。

④ LINE B 入出力端子

コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。操作パネルの LINE B ボタンを押してモニターします。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑤ RGB/COMPONENT 入出力端子

アナログ RGB またはコンポーネント (Y、P_B、P_R) 信号の入力端子、およびそれぞれのループスルー出力端子です。

操作パネルの RGB/COMPONENT ボタンを押してモニターします。

G/Y、B/P_B、R/P_R IN/OUT (BNC 型)

アナログ RGB およびコンポーネント (Y、P_B、P_R) の入出力端子です。入力時は、通常 G/Y 信号に含まれている同期信号で動作します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

映像信号としてアナログ RGB またはコンポーネントを入力する場合に、音声信号の入出力端子として使用します。VTR など、外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑥ EXT SYNC (外部同期) 入出力端子

外部同期信号を使う場合はメニュー画面の「RGB 設定」の「RGB/EXT」に設定します。

IN/OUT (BNC 型)

外部同期信号の入出力端子です。IN 端子には外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。OUT 端子は、本機と同期して動作させる他のビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。

⑦ REMOTE (リモート) 端子

PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラージャック、8 ピン) コントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、17 ページをご覧ください。

RS-232C (シリアルリモート) 端子 (D-Sub 9 ピン) 外部機器の RS-232C コントロール端子に接続します。接続された外部機器よりコントロールコマンドを送ることで、モニターの操作を行うことができます。

詳しくはプログラマー用インターフェース解説書 (別冊) をご覧ください。

⑧ アース (⏏/⏚) 端子

アース線をこの端子に接続します。

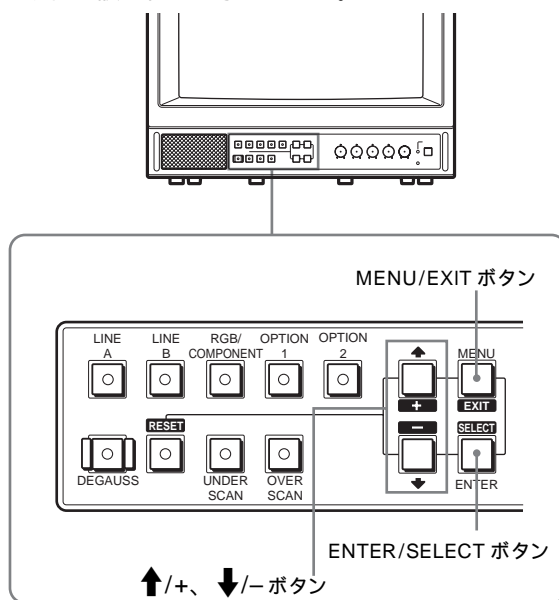
⑨ OPTION AUDIO (オプションオーディオ) INPUT 1、2 入力端子


オプションスロットにオプションボードが装着されている場合、その音声入力に使用する入力端子です。2 系統まで接続することができます。OPTION AUDIO INPUT 1 または 2 入力端子から入力した音声信号をモニターする場合には、それぞれ OPTION 1 または OPTION 2 ボタンを押します。

メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語 (ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語、中文) の中から選ぶことができます。出荷時の設定は「ENGLISH」(英語) に設定されています。

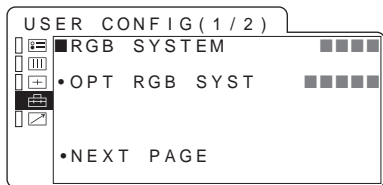
なお、メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に、本機の現在の設定値が表示されます。



- 1 MENU/EXIT ボタンを押して、メニュー画面が表示されたら ↑/+、↓/- ボタンを押して  USER

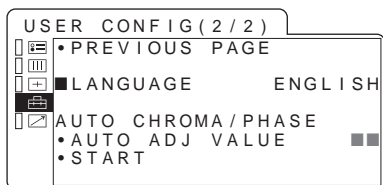
CONFIG) を選択し、ENTER/SELECT ボタンを押す。

USER CONFIG (1/2) メニューが表示されます。

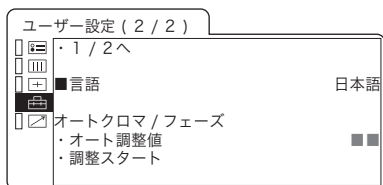


2 ↓/− ボタンを押して NEXT PAGE を選んで ENTER/SELECT ボタンを押すと、USER CONFIG (2/2) が表示されます。

3 ↑/+、↓/− ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。



4 ↑/+、↓/− ボタンを押して表示させたい言語を選ぶと、その言語の表記に切り換わります。ENTER/SELECT ボタンで決定します。



メニュー画面を消すには

MENU/EXIT ボタンを押す。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

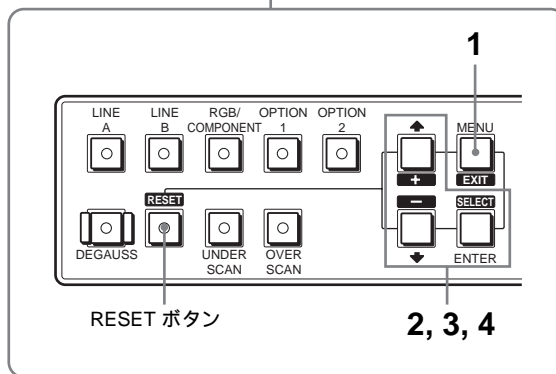
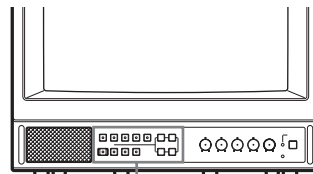
メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。調整や設定を行う場合の操作は以下のとおりです。

メニュー項目について詳しくは「メニューを使った調整」(13 ページ)をご覧ください。

メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」(11 ページ)をご覧ください。

なお、メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に、本機の現在の設定値が表示されます。



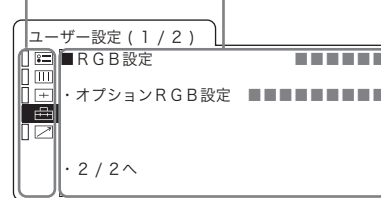
1 MENU/EXIT ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いカーソルで表示されます。

カーソル



2 ↑/+、↓/− ボタンを押してメニューを選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。

メニュー 設定項目



3 ↑/+、↓/− ボタンを押して設定項目を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
変更する項目が黄色で表示されます。

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑/+ ボタンを押す。

数値を小さくするときは、↓/- ボタンを押す。

ENTER/SELECT ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

↑/+、↓/- ボタンを押して設定を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。

ご注意

設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。

メニュー画面を消すには

MENU/EXIT ボタンを押す。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

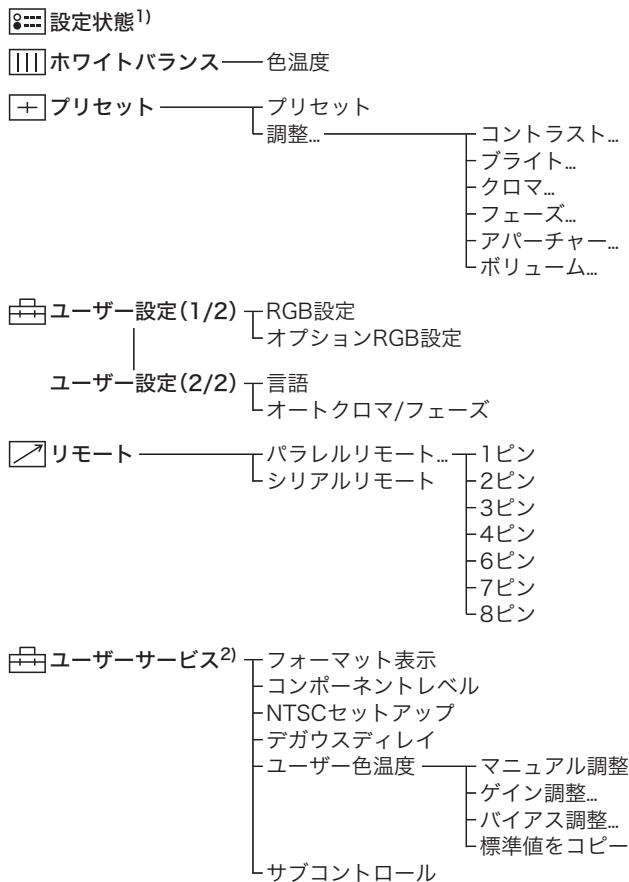
設定値をリセットする

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整は無効になり、調整前の値に戻ります。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。



1) 設定状態メニューは表示のみ。

2) ユーザーサービスメニューへの入りかたについて詳しくは、15 ページをご覧ください。

調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

サブメニュー	設定
信号フォーマット	表示のみ
色温度	表示のみ
コンポーネントレベル	表示のみ
NTSC セットアップ	表示のみ
RGB/COMP 切換	表示のみ
オプション	表示のみ

☐ ホワイトバランスメニュー

画質のホワイトバランスを調整するメニューです。ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

サブメニュー	設定
色温度	色温度を「D65」、「D56」、「D93」、「ユーザー設定」から設定します。ユーザー設定は異なる色温度に調節することができます（色温度の調節には測定器が必要です）。

ご注意

- ・ ユーザー設定の色温度は、5000K ~ 10000K の範囲で設定できます。
- ・ D93 は、内視鏡等の用途に適しています。
- ・ D56 は、生物顕微鏡等の用途に適しています。
- ・ ユーザー設定の調整は、ユーザーサービス設定のユーザー色温度メニューで行います。
詳しくは、15 ページのユーザーサービスメニューをご覧ください。

☐ プリセットメニュー

画質を調整するメニューです。
入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。

サブメニュー	設定
プリセット	オンを選択すると操作パネルのすべてのつまみが動かなくなり（REMOTE インジケータ点灯）、モニターは内部に記憶されたプリセット（初期設定）値で働きます。
調整 ...	<ul style="list-style-type: none">・ 「コントラスト ...」: コントラストを調整します。・ 「ブライト ...」: 明るさを調整します。・ 「クロマ ...」: 色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。・ 「フェーズ ...」: 色相（フェーズ）を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。・ 「アパーチャー ...」: シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりします。・ 「ボリューム ...」 音量を調整します。

☐ ユーザー設定（1/2、2/2）メニュー

言語の選択や、RGB とコンポーネントの切り換えなどを設定します。

サブメニュー	設定
RGB 設定（1/2）	RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターするときに、入力する信号に応じて「RGB / INT」、「RGB / EXT」、「COMP / INT」または「COMP / EXT」を選択します。
オプション RGB 設定（1/2）	オプションスロットに入れたオプションボードによって表示が異なります。詳しくはオプション設定をご覧ください。
言語（2/2）	メニューやメッセージの表示言語を以下の7言語から選択できます。 「中文」: 中国語 「ENGLISH」: 英語 「DEUTSCH」: ドイツ語 「FRANÇAIS」: フランス語 「ITALIANO」: イタリア語 「ESPAÑOL」: スペイン語 「日本語」
オートクロマ / フェーズ（2/2）	色の濃さ（クロマ）と色相（フェーズ）を調整します。 <ul style="list-style-type: none">・ オン: オンに設定するとクロマとフェーズの値が自動調整値になります。・ オフ: オフに設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値になります。

☐ リモートメニュー

サブメニュー	設定
パラレルリモート ...	PARALLEL REMOTE 端子で機能を変更したいピンを選択します。 1 ~ 4、6 ~ 8 ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ --（機能の割り付けなし。）・ LINE A・ LINE B・ RGB/COMP・ OPTION 1・ OPTION 2・ タリー・ アンダースキャン・ オーバースキャン・ デガウス

ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。
詳しくは 17 ページをご覧ください。

サブメニュー	設定
シリアルリモート	以下の3種類の中から、使用するモードを選択します。 リモートオフ： 各種の設定を、操作パネルのボタンと調整つまみで行うとき。 リモートコントローラーは使用できません。 リモートオン： 各種の設定をRS-232Cでコントロールするとき。 メニュー操作ボタンを除いて、操作パネル上での操作はできません。 リモート&ローカル： 操作パネルのボタン、および、RS-232Cでコントロールするとき。 操作パネルの調整つまみは使用できません。

🗄️ ユーザーサービスメニュー

上記以外の調整・設定を行うためのユーザーサービスがあります。

ユーザーサービスへの入り方は、MENU/EXIT ボタンを押してメニューが表示されている状態のまま下のユーザーサービスメニューが表示されるまで押し続けてください。

サブメニュー	設定
フォーマット表示	入力信号のフォーマットを画面に表示させるかどうかを設定します。 「オン」：常に表示 「オート」：信号入力開始後約10秒間だけ表示 「オフ」：常に非表示
コンポーネントレベル	以下の3種類の中から、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 「SMPTE」：100/0/100/0のコンポーネント信号のとき 「BETA 7.5」：100/7.5/75/7.5のコンポーネント信号のとき 「BETA 0」：100/0/75/0のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本では0で、アメリカでは7.5で運用されています。このため輸入ソフトには7.5のものがあります。
デガウスディレイ	電源を入れてから自動消磁機能が働くまでの秒数を、0から99秒の間で設定できません。

サブメニュー	設定
ユーザー色温度	このメニューで調整した値は、14ページの色温度メニューでユーザー設定を選択したときに働きます。 ゲイン調整： ユーザー設定のカラーバランス(ゲイン)を調整します。 バイアス調整： ユーザー設定のカラーバランス(バイアス)を調整します。 標準値をコピー： ユーザー設定の色温度をD65、D56、D93に設定します。
サブコントロール	全面パネルのCONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT調整つまみの調整範囲を微調整します。これらのつまみは調整範囲のまん中にクリックがありますので、クリック位置での微調整に使用できます。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- ・画面が緑色や紫色になる → 入力ボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- ・RGB/COMPONENT 入力端子に入力している信号が表示されない → ユーザー設定メニューを入力中の信号に合わせて設定してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- ・所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

一般

PVM-14L2MD

CRT: トリニトロン (P22 蛍光体)
電源: AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電流 / 電力:
最大 85 W 0.9 ~ 0.4 A (別売りの
BKM-150CP 装着時)
標準 75 W 0.8 ~ 0.35 A (オプション
ボードなしの場合)

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き):
約 346 × 340 × 430 mm

質量: 約 18.0 kg

PVM-20L2MD

CRT: トリニトロン (P22 蛍光体)
電源: AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電流 / 電力:
最大 108 W 1.1 ~ 0.5 A (別売りの
BKM-150CP 装着時)
標準 98 W 1.0 ~ 0.4 A (オプション
ボードなしの場合)

最大外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き):
約 450 × 457 × 529 mm

質量: 約 33.0 kg

入出力

入力

LINE A 入力端子
Y/C 入力 4 ピンミニ DIN (1)

VIDEO 入力 BNC 型 (1) 1 Vp-p + 3 dB
- 6 dB 負同期
AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu 47 k
以上

LINE B 入力端子

VIDEO 入力 BNC 型 (1) 1 Vp-p + 3 dB
- 6 dB 負同期
AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu 47 k
以上

RGB/ コンポーネント入力端子 BNC 型 (3)

RGB 入力 0.7 Vp-p + 3 dB - 6 dB (Sync
On Green 0.3 Vp-p 負同期)

コンポーネント入力

0.7 Vp-p + 3 dB - 6 dB (75%
クロミナンス標準カラーバー信
号時)

AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu
47 k 以上

外部同期入力端子

BNC 型 (1) 0.3 ~ 8 Vp-p 正負両
極性 3 値または負極性 2 値

オプション AUDIO 入力端子

ピンジャック (2)
- 5 dBu 47 k 以上

リモート入力

パラレルリモート
モジュラーコネクタ 8 ピン (1)

出力

LINE A 出力端子

Y/C 出力 4 ピンミニ DIN (1) ループス
ルー、75 自動終端機能付き

VIDEO 出力 BNC 型 (1) ループスルー、75
自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

LINE B 出力端子

VIDEO 出力 BNC 型 (1) ループスルー、75
自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

RGB/ コンポーネント出力端子

RGB / コンポーネント出力
BNC 型 (3) ループスルー、75
自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

外部同期出力端子

BNC 型 (1) ループスルー、75
自動終端機能付き

内蔵スピーカー出力

0.8 W (モノラル)

映像信号系

周波数特性 50 Hz ~ 10 MHz (0 dB/ - 3 dB)
アバ - チャ - 補正量¹⁾
OFF : 0 dB
ON : 2 ~ 6 dB

画像系

ノーマルスキャン
CRT 有効画面の 7% オバーキャン
アンダースキャン
CRT 有効画面の 5% アンダースキャン
オバーキャン
CRT 有効画面の 20% オバーキャン
直線性 PVM-14L2MD
H: 4% 以下
V: 4% 以下
PVM-20L2MD
H: 5% 以下
V: 5% 以下
色温度 D65、D56、D93、ユーザー設定 (調整可能色温度 5000 K ~ 10000 K)
コンバージェンスエラー
PVM-14L2MD
中心部 : 0.4 mm 以下
周辺部 : 0.5 mm 以下
PVM-20L2MD
中心部 : 0.5 mm 以下
周辺部 : 0.7 mm 以下

ラスタサイズ安定度

H: 1.0%
V: 1.0%

解像度 (中心部) 600TV 本

動作条件

温度 0 ~ 40
湿度 30 ~ 85% 以下 (結露のないこと)
気圧 700 ~ 1060 hPa

保存・輸送条件

温度 - 10 ~ 40
湿度 0 ~ 90%
気圧 700 ~ 1060 hPa

付属品

AC 電源コード (1)
AC プラグホルダー (1)
取扱説明書 (1)
保証冊子 (1)

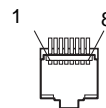
本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機は業務用トリニロンカラービデオモニターです。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

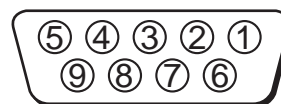
PARALLEL REMOTE 端子
モジュラーコネクタ (8 ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 LINE A を指定
2	入力信号 LINE B を指定
3	入力信号 RGB / COMP を指定
4	入力信号オプション 1 を指定
5	GND
6	タリールンプのオンオフ
7	アンダースキャンの選択
8	オバーキャンの選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます。

RS-232C 端子 (D SUB 9 ピン)



ピン番号	信号
1	NC
2	受信データ
3	送信データ
4	NC
5	GND
6	NC
7	送信要求
8	送信可
9	NC

リモートコントロールを使用するための配線
リモートコントロールで使いたい機能をアース (5 ピン) に接続します。

1) RGB 入力時はアパーチャーの補正は行いません。

Owner's Record

The model and serial numbers are located at the rear. Record these numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____
Serial No. _____

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Dangerously high voltage are present inside the unit.

Do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

In the event of a malfunction or when maintenance is necessary, consult an authorized Sony dealer.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For the customers in Canada

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

For the customers in Europe

This equipment has been found to comply with limits for a Class B device pursuant to EN60601-1-2. However, if this equipment does cause harmful interference to other devices, which can be determined by turning this equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Increase the separation between the equipment and other devices.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which other devices are connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FOR CUSTOMERS IN THE UNITED KINGDOM

WARNING

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED

IMPORTANT

The wires in this mains lead are coloured in accordance with the following code:

GREEN-AND-YELLOW — EARTH
BLUE — NEUTRAL
BROWN — LIVE

As the colours of the wires in the mains lead of this apparatus may not correspond with the coloured markings identifying the terminals in your plug PROCEED AS FOLLOWS:

The wire coloured GREEN AND YELLOW must be connected to the terminal on the plug marked with the letter E or by the safety earth symbol \perp or coloured GREEN or GREEN-AND-YELLOW.

The wire coloured BROWN must be connected to the terminal marked with the letter L or coloured RED. The wire coloured BLUE must be connected to the terminal marked with the letter N or coloured BLACK.

Ensure that your equipment is connected correctly — If you are in any doubt consult a qualified electrician.

ATTENTION – When the product is installed in a rack:

a) Elevated operating ambient temperature

If installed in a closed or multi-unit rack assembly, the operating ambient temperature of the rack environment may be greater than room ambient. Therefore, consideration should be given to installing the equipment in an environment compatible with the manufacture's maximum rated ambient temperature (T_{mra}: 0°C to 40°C (32°F to 104°F)).

b) Reduced air flow

Installation of the equipment in a rack should be such that the amount of air flow required for safe operation of the equipment is not compromised.

c) Mechanical loading

Mounting of the equipment in the rack should be such that a hazardous condition is not achieved due to uneven mechanical loading.

d) Circuit overloading

Consideration should be given to the connection of the equipment to the supply circuit and the effect that overloading of circuits might have on overcurrent protection and supply wiring.

Appropriate consideration of equipment nameplate ratings should be used when addressing this concern.

e) Reliable earthing

Reliable earthing of rack-mounted equipment should be maintained. Particular attention should be given to supply connections other than direct connections to the branch circuit (e.g., use of power strips).

f) Gap keeping

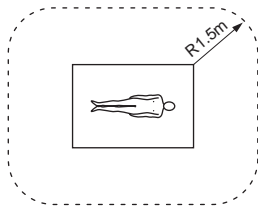
Upper and lower gap of rack-mounted equipment should be kept 44 mm (1 ³/₄ inches).

WARNING

Important safeguards/notices for use in the medical environments

- 1 All the equipments connected to this unit shall be certified according to Standard IEC601-1, IEC950, IEC65 or other IEC/ISO Standards applicable to the equipments.
- 2 When this unit is used together with other equipment in the patient area*, the equipment shall be either powered by an isolation transformer or connected via an additional protective earth terminal to system ground unless it is certified according to Standard IEC601-1 and IEC601-1-1.

* Patient Area



- 3 The leakage current could increase when connected to other equipment.
- 4 The operator should take precautions to avoid touching the rear panel input and output circuitry and the patient at the same time.
- 5 Model PVM-14L2MD/PVM-20L2MD is a video monitor intended for use in a medical environment to display video pictures from cameras or other video system. These models are nonpatient care equipment with respect to the requirement of leakage current.

Symbols on the unit

Symbol	Location	This symbol indicates
	Front panel	Main power switch. Press to turn the monitor on or off.
	Rear panel	The equipotential terminal which brings the various parts of a system to the same potential.
	Rear panel	Functional earth terminal
	Rear panel	Alternating current
	Rear panel	Attention, consult ACCOMPANYING DOCUMENTS

Warning on power connection

Use a proper power cord for your local power supply.

	United State	Canada	Continental Europe	Japan
Plug type	HOSPITAL GRADE	HOSPITAL GRADE	LP-34A	VM1050
Female end	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
Cord type	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
Cord length	Max. 4.5 m (177 1/4 in.)	Max. 4.5 m (177 1/4 in.)	–	–
Safety approval	UL	CSA	VDE	DENAN-HO

Table of Contents

Precaution	21
On Safety	21
On Installation	21
On Cleaning of the CRT Surface	21
On Cleaning	21
On Repacking	21
On Mounting on a Rack	21
Features	21
Connections	22
How to Connect the AC Power Cord	22
Location and Function of Parts and Controls ..	23
Control Panel	23
Rear Panel	24
Selecting the Menu Language	25
Using the Menu	26
Adjustment Using the Menus	27
Items	27
Adjusting and Changing the Settings	27
STATUS menu	27
COLOR TEMP menu	28
USER PRESET menu	28
USER CONFIG (1/2, 2/2) menu	28
REMOTE menu	29
USER SERVICE menu	29
Troubleshooting	29
Specifications	30
Dimensions	i

The explanation given in this manual can be applied to the following models unless noted otherwise. When the explanation differs among models, this is clearly indicated in this manual.

- PVM-14L2MD (14-inch monitor)
- PVM-20L2MD (20-inch monitor)

Unless indicated otherwise, illustrations of the video monitor are of the PVM-14L2MD.

Precaution

On Safety

- Operate the unit only with a power source as specified in the “Specifications” section.
- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc., is located on the rear panel.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Do not drop or place heavy objects on the power cord. If the power cord is damaged, turn off the power immediately. It is dangerous to use the unit with a damaged power cord.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- Disconnect the power cord from the AC outlet by grasping the plug, not by pulling the cord.
- The socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

On Installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up.
Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.

On Cleaning of the CRT Surface

- Clean the CRT with a soft cloth.
When the CRT is dirtied with oily hands or fingerprints, clean it with a soft cloth moistened with a mild detergent solution.
- Never use abrasive cleansers, alkaline soap, strong solvents such as alcohol, thinner or benzine, since they will damage the surface.
- Do not rub the surface of the CRT with a solid object or hit it.

On Cleaning

To keep the unit looking brand-new, periodically clean it with a mild detergent solution. Never use strong solvents such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since they will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

On Repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container which to transport the unit. When shipping the unit to another location, repack it as illustrated on the carton.

On Mounting on a Rack

Leave 1U space empty above and below the monitor to ensure adequate air circulation or install a fan to maintain the monitor’s performance.

If you have any questions about this unit, contact your authorized Sony dealer.

Features

Picture

Trinitron¹⁾ picture tube

Trinitron tube provides a picture whose horizontal resolution is more than 600 TV lines at the center of the picture.

Comb filter

When NTSC video signals are received, a comb filter is activated to enable more accurate Y/C separation. This contributes to less of a decrease in resolution, and less cross color and cross luminance phenomena.

Beam current feedback circuit

The built-in beam current feedback circuit assures stable white balance.

Two color systems available

The monitor can display both NTSC and PAL signals. The color system of the input signal is automatically detected.

Input

Analog RGB/component input connectors

Analog RGB or component (Y, P_B, P_R) signals from video equipment can be input through these connectors. Press the RGB/COMPONENT button on the control panel to monitor the signal.

Y/C input connector (S-input connector)

A video signal, split into a luminance component (Y) and a chrominance component (C), can be input through this connector, eliminating the interference between the two components, ensuring picture quality.

1)“Trinitron” is a registered trademark of Sony Corporation.

Expandable input capability

You can easily expand the input capability by installing an optional board (not supplied) in the option slot on the rear panel. Only one board for expanding the input capability can be installed at a time.

External sync input

Selecting the RGB/EXT item of RGB SYSTEM on the Menu screen enables the monitor to operate on a sync signal supplied from an external sync generator.

For more details, see page see page 28.

Automatic termination (only for connectors with a \sphericalangle mark)

The input connector is terminated at 75 ohms internally when nothing has been connected to the output connector. If a cable is connected to the output connector, the internal terminal is automatically released and the signals input to the input connector are output to the output connector (loop-through).

Functions

Auto chroma phase function

The chroma and phase are automatically adjusted.

Overscan mode

The size of the image on the screen is increased by approximately 20% to make the center of the picture easier to see.

Underscan mode

In the underscan mode, the lines usually scanned outside the normal display area are visible so that you can monitor the entire screen area.

Note

When the monitor is in the underscan mode, dark RGB scanning lines appear on the top edge of the screen. These are caused by an internal test signal.

Auto/manual degaussing

The monitor is automatically degaussed when the power is turned on. You can manually degauss the monitor by pressing the DEGAUSS button.

Using the menu, you can preset a time to degauss automatically after the power has been turned on for a while.

On-screen menus

You can set color temperature, perform a chroma set up, and make other settings using the on-screen menus.

Options

EIA 19-inch rack mount bracket available

The monitor can be mounted on an EIA-standard 19-inch rack, using the following mounting brackets or slide rails.

For the PVM-14L2MD: MB-502B (In Europe, use the MB-502C)

For the PVM-20L2MD: SLR-103A (In Europe, use the SLR-103C)

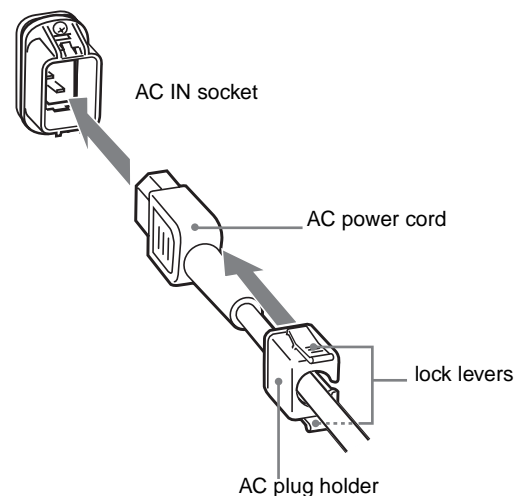
For details on mounting the monitor on the rack, refer to the user's manual of the mounting bracket or slide rail.

Connections

How to Connect the AC Power Cord

To connect the AC power cord

Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord and slide it over the cord until it locks.

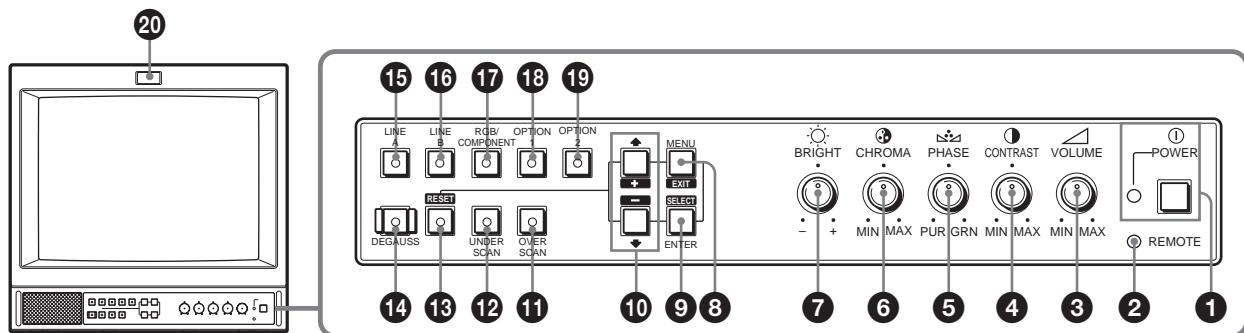


To remove the AC power cord

Pull out the AC plug holder while pressing the lock levers.

Location and Function of Parts and Controls

Control Panel



1 POWER ① switch and lamp

Press this switch to turn on the monitor. The lamp will light up. Press this switch again to turn off the monitor. The lamp will go out.

2 REMOTE indicator

This indicator lights up in the conditions below:

- When PRESET is set to ON in the menu.
- If you choose SERIAL REMOTE on the REMOTE (RS-232C) menu of the Screen menu, and RMT ON or RMT & LCL has been set.

3 VOLUME \triangle control

4 CONTRAST \bullet control

5 PHASE \curvearrowright control

Note

When you use a PAL, component or RGB signal, phase cannot be adjusted.

6 CHROMA \oplus control

7 BRIGHT (brightness) \odot control

8 MENU/EXIT button

Press this button to show or hide on-screen menus.

9 ENTER/SELECT button

Press this button to confirm an item selected on the menu.

10 \uparrow /+ (move the cursor up/adjust the value) button

button

\downarrow /- (move the cursor down/adjust the value) button

button

Press these buttons to move the cursor or adjust an item selected on the menu.

11 OVERSCAN button and lamp

Press this button to change to the Overscan mode. The display size is increased by approximately 20%, so that the center portion of the screen becomes easier to view. To return to the original display size, press this button again.

12 UNDERSCAN button and lamp

Press this button for underscanning. The display size is reduced by approximately 5% so that the four corners of the picture are visible. To return to the original display size, press this button again.

13 RESET button and lamp

You can reset the menu item setting to the previous one by pressing RESET button while the new item is being selected and adjusted.

14 DEGAUSS button and lamp

Press this button only once. The screen will be demagnetized. Wait for 10 minutes or more before using this button again.

Note

The DEGAUSS button is disabled when the screen menu is being displayed.

To manually degauss the monitor, first, exit the screen menu by pressing the MENU/EXIT button.

15 LINE A button and lamp

Press this button to monitor the signal input through the LINE A connectors.

16 LINE B button and lamp

Press this button to monitor the signal input through the LINE B connectors.

17 RGB/COMPONENT button and lamp

Press this button to monitor the signal input through the RGB/COMPONENT connectors.

18 OPTION 1 button and lamp

This button works when an optional board has been installed in the option slot on the rear panel. Press this button to monitor the video signal input through input 1 of the optional board and the audio signal input through the OPTION AUDIO INPUT 1 jack.

19 OPTION 2 button and lamp

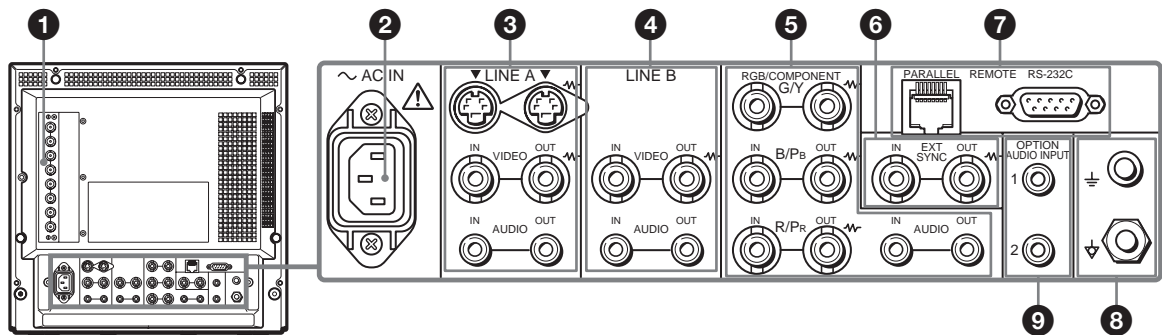
This button works when an optional board has been installed in the option slot on the rear panel. Press this button to monitor the video signal input through input 2 of the optional board and the audio signal input through the OPTION AUDIO INPUT 2 jack.

20 Tally lamp

Lights up when a video camera connected to this monitor is selected. For the tally lamp to function properly, certain cabling is required.

For details on this cabling, see page 31.

Rear Panel



1 OPTION slot (BKM-129X)

If you install another option board, remove the BKM-129X and then reinsert it.

RGB/COMPONENT IN connectors/EXT SYNC (external synch) IN/OUT connectors

These are the input and output connectors for analog RGB or component (Y, P_B, P_R) signals. You can monitor them using the OPTION 1 button on the control panel. For audio, use the OPTION AUDIO INPUT connectors. When you use an external synchronization signal, set RGB/EXT or COMP/EXT from RGB SYSTEM on the USER CONFIG (1/2) menu.

You can install one optional board in this option slot. If you install two boards, they do not function.

For details on how to install a board, refer to the installation manual supplied with the optional board.

2 AC IN socket

Connect the supplied AC power cord to this socket and then to a wall outlet.

3 LINE A connectors

Line input connectors for Y/C separate, composite video and audio signals and their loop-through output connectors.

Press the LINE A button on the control panel to monitor the input signal through these connectors.

If you input signals to both Y/C IN and VIDEO IN, the signal input to the Y/C IN is selected.

Y/C IN/OUT (4-pin mini-DIN)

These are the input/output connectors for a Y/C separate signal. Connect them to the Y/C separate input/output connectors on equipment such as a VCR, video camera, or another monitor.

VIDEO IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for a composite video signal. Connect them to the composite video input/output connectors on equipment such as a VCR, video camera, or another monitor.

AUDIO IN/OUT (phono jack)

These are the input/output jacks for an audio signal. Connect them to the audio input/output jacks on equipment such as a VCR.

4 LINE B connectors

Line input connectors for composite video and audio signals and their loop-through output connectors. Press the LINE B button on the control panel to monitor the signal input through these connectors.

VIDEO IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for a composite video signal. Connect them to the composite video input/output connectors on equipment such as a VCR, video camera, or another monitor.

AUDIO IN/OUT (phono jack)

These are the input/output jacks for an audio signal. Connect them to the audio input/output jacks on equipment such as a VCR.

5 RGB/COMPONENT connectors

Analog RGB signal or component (Y, P_B, P_R) signal input connectors and their loop-through output connectors.

Press the RGB/COMPONENT button on the control panel to monitor the signal input through these connectors.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for an analog RGB and a component (Y, P_B, P_R) signal. Unless an external sync signal is input, the monitor is synchronized with the sync signal contained in the G/Y signal.

AUDIO IN/OUT (phono jack)

When using an analog RGB or a component signal as a video signal, use these jacks for the input/output of an audio signal. Connect them to the audio input/output jacks on equipment such as a VCR.

6 EXT SYNC (external sync) connectors

To use an external synchronization signal, select RGB/EXT in RGB SYSTEM on the Menu screen.

IN/OUT (BNC)

These are the input/output connectors for an external sync signal. Input a reference signal generated by a sync generator to the IN connector. Connect the OUT connector to an external sync signal input connector on equipment which you intend to synchronize with this monitor.

7 REMOTE terminal PARALLEL REMOTE (8-pin modular connector)

Forms a switch and controls the monitor externally.

For details on the pin assignment and factory setting function assigned to each pin, see page 31.

RS-232C (serial remote) connector (D-Sub 9 pin)

Connects to the RS-232C control connector on external equipment connected to the monitor. The monitor can be operated according to control commands sent from external equipment connected to it.

For details, refer to the Interface Manual for Programmers.

8 Ground (⏏/⏚) terminal

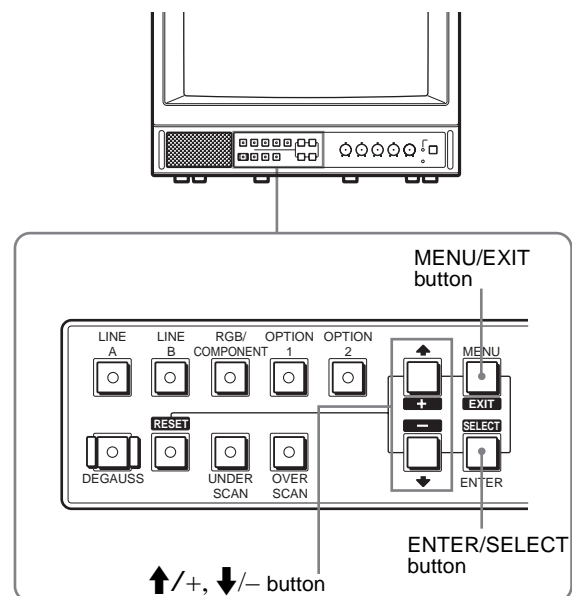
Connect a GND cable.


9 OPTION AUDIO INPUT 1, 2 input connectors

If an optional board has been installed in the option slot, input an audio signal into these connectors. You can connect up to 2 systems. To monitor the audio signals input to OPTION AUDIO INPUT 1 or 2, press either the OPTION 1 or OPTION 2 button.

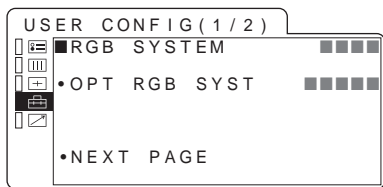
Selecting the Menu Language

You can select one of seven languages (English, German, French, Italian, Spanish, Japanese, Chinese) for displaying the menus and other on-screen messages. The factory preset language is ENGLISH (English). The current settings are displayed in place of the ■ marks on the illustrations of the menu screen.

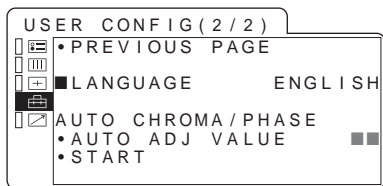


- 1 Press the MENU/EXIT button to display the menu screen, and press the ↑/+ or ↓/- button to select  (USER CONFIG), then press the ENTER/SELECT button.

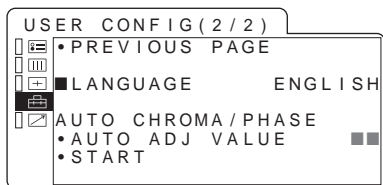
The USER CONFIG (1/2) menu appears.



- When you press the ↓/- button to select NEXT PAGE, and then the ENTER/SELECT button, the USER CONFIG (2/2) is displayed.
- Press the ↑/+ or ↓/- button to select “LANGUAGE,” then press the ENTER/SELECT button. The selected item is displayed in yellow.



- Press the ↑/+ or ↓/- button to select the desired language, the on-screen language changes to the language you have selected, then press the ENTER/SELECT button to finalize the setting.



To clear the menu

Press the MENU/EXIT button.
The menu disappears automatically if a button is not pressed within one minute.

Using the Menu

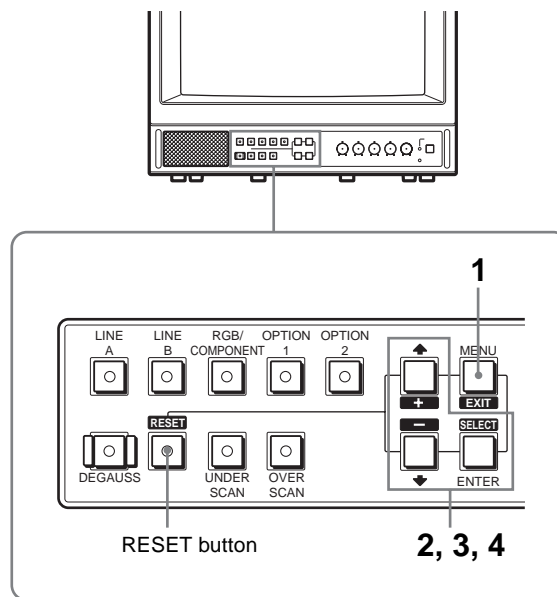
The monitor is equipped with an on-screen menu for making various adjustments and settings such as picture control, input setting, set setting change, etc. Follow the instructions below to make adjustments or to change settings.

For details on the menu items, see “Adjustment Using the Menus” on page 27.

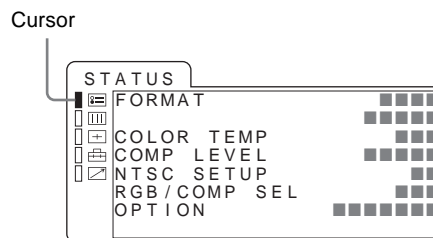
You can also change the menu language displayed in the on-screen menu.

To change the menu language, see “Selecting the Menu Language” on page 25.

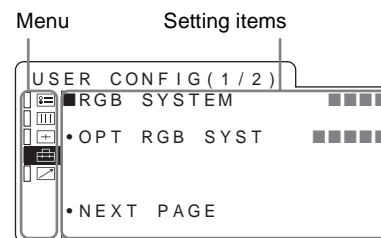
The current settings are displayed in place of the ■ marks on the illustrations of the menu screen.



- Press the MENU/EXIT button.
The menu appears.
The menu presently selected is indicated by a yellow cursor.



- Press the ↑/+ or ↓/- button to select a menu, then press the ENTER/SELECT button.
The menu icon presently selected is shown in yellow and the available setting items are displayed.



- Use the ↑/+ or ↓/- button to select the desired item, then press the ENTER/SELECT button. The item to be changed is displayed in yellow.
- Make the setting or adjustment in an item.
When changing the adjustment level:
To increase the number, press the ↑/+ button.
To decrease the number, press the ↓/- button.

Press the ENTER/SELECT button to confirm the number, then restore the original screen.

When changing the setting:
 Press the **↑/+** or **↓/-** button to change the setting.
 Press the ENTER/SELECT button to confirm the setting.

Note

An item displayed in blue cannot be accessed. You can access the item if it is displayed in white.

To clear the menu

Press the MENU/EXIT button.
 The menu disappears automatically if a button is not pressed within one minute.

About retaining the settings

The settings are automatically stored in the monitor memory.

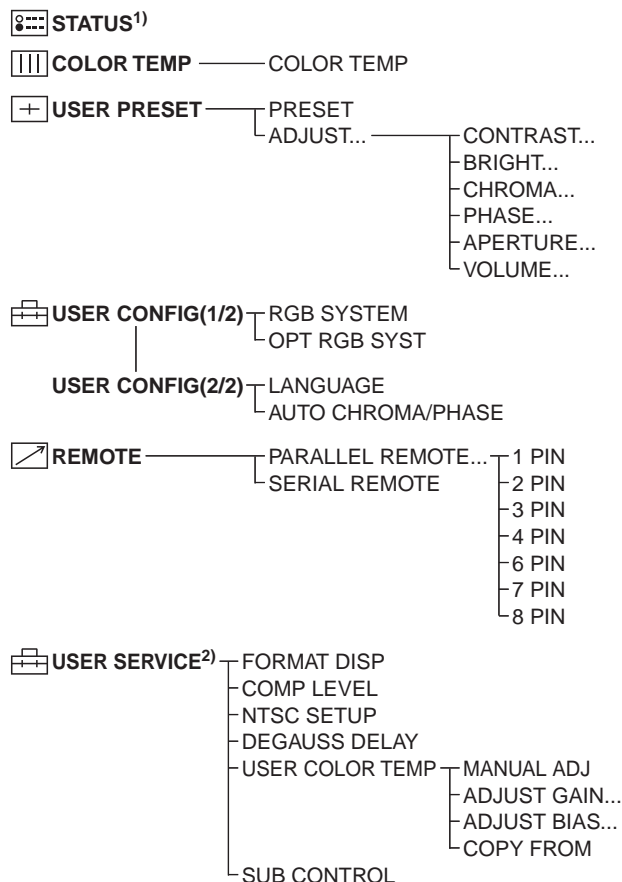
To reset items being adjusted

Press the RESET button while the new menu item is being selected and adjusted. Any changes to this new item setting is ignored and the item is reset to the previous setting.

Adjustment Using the Menus

Items

The screen menu of this monitor consists of the following items.



1) The items on the STATUS menu indicate the current settings.
 2) For details on how to access the USER SERVICE menu, see page 29.

Adjusting and Changing the Settings

STATUS menu

The STATUS menu is used to display the current status of the monitor.

Submenu	Setting
FORMAT	Display only
COLOR TEMP	Display only
COMP LEVEL	Display only
NTSC SETUP	Display only
RGB/COMP SEL	Display only
OPTION	Display only

☐ COLOR TEMP menu

The COLOR TEMP menu is used for adjusting the picture white balance.

You need to use a measurement instrument to adjust the white balance.

Submenu	Setting
COLOR TEMP	Select the color temperature from among D65, D56, D93 and USER setting. Selecting a color temperature with USER allows adjustment of the color temperature. (Adjustment of the color temperature requires the use of measurement instrument.)

Notes

- A color temperature set with USER can be set to any color temperature within a range of 5000K to 10000K.
- A setting of D65 is appropriate when using the monitor with an endoscope.
- A setting of D56 is appropriate when using the monitor with a biological microscope.
- Adjustment of a setting made with USER can be done on the USER COLOR TEMP menu of the USER SERVICE menu.

For further details, see USER SERVICE menu on page 29.

☐ USER PRESET menu

The USER PRESET menu is used for adjusting the picture.

Items that cannot be adjusted depending on the input signal are displayed in blue.

Submenu	Setting
PRESET	When this is set to ON, all of the controls on the control panel are disabled (the REMOTE indicator lights), and the preset values in the monitor's internal memory (the factory settings) are activated.

Submenu	Setting
ADJUST...	<ul style="list-style-type: none">• CONTRAST...: Adjusts the picture contrast.• BRIGHT...: Adjusts the picture brightness.• CHROMA...: Adjusts the color intensity. The higher the setting, the greater the intensity. The lower the setting, the lower the intensity.• PHASE...: Adjusts color tones. The higher the setting, the more greenish the picture becomes. The lower the setting, the more purplish the picture becomes.• APERTURE...: Adjusts the picture sharpness. The higher the setting, the sharper the picture.• VOLUME...: Adjusts the audio level.

☐ USER CONFIG (1/2, 2/2) menu

The USER CONFIG menu is used to select a language for the menus and the on-screen messages or to determine the type of video signal acceptable on the RGB/COMPONENT connectors.

Submenu	Setting
RGB SYSTEM (1/2)	When a signal input via the RGB/COMPONENT connector is being monitored, based on the signal being input, select RGB/INT, RGB/EXT, COMP/INT, or COMP/EXT.
OPT RGB SYST (1/2)	The display differs depending on the option board installed. For further details, refer to the option settings.
LANGUAGE (2/2)	The language to be used for display of menu items and messages can be selected from among the following seven options. [中文]: Chinese [ENGLISH]: English [DEUTSCH]: German [FRANÇAIS]: French [ITALIANO]: Italian [ESPAÑOL]: Spanish [日本語]: Japanese
AUTO CHROMA/ PHASE (2/2)	Adjusts color intensity (CHROMA) and color tones (PHASE). <ul style="list-style-type: none">• ON: When set to ON, CHROMA and PHASE are set to automatic adjustment values.• OFF: When set to OFF, CHROMA and PHASE are set to the factory settings.

REMOTE menu

Submenu	Setting
PARALLEL REMOTE...	<p>The REMOTE menu is used to assign the functions to the pins of the PARALLEL REMOTE terminal.</p> <p>Pin 1 to 4 and pin 6 to 8 can be used. The following lists the functions you can assign to the pins.</p> <ul style="list-style-type: none"> -- (No function is assigned.) LINE A LINE B RGB/COMP OPTION 1 OPTION 2 TALLY UNDERSCAN OVERSCAN DEGAUSS <p>Note</p> <p>If you use the PARALLEL REMOTE function, you need to connect cables.</p> <p><i>For more details, see page 31.</i></p>
SERIAL REMOTE	<p>Select one out of following three modes.</p> <p>RMT OFF: You can adjust settings and controls by the buttons and controls on the control panel. The RS-232C connector does not function.</p> <p>RMT ON: You can adjust settings and controls through the RS-232C connector. Buttons and controls on the control panel, except the menu operation ones, do not function.</p> <p>RMT & LCL: You can adjust settings and controls both through the RS-232C connector and the control panel buttons. Controls on the control panel do not function.</p>

USER SERVICE menu

The USER SERVICE menu is provided for any adjustments or settings other than those listed above. To access the USER SERVICE menu, press and hold the MENU/EXIT button while the menu is displayed, until the USER SERVICE menu shown below appears.

Submenu	Setting
FORMAT DISP	<p>Determines whether the format of a input signal is displayed on the screen or not.</p> <p>ON: The format is always displayed.</p> <p>AUTO: The format is displayed for about 10 seconds when the input of the signal begins.</p> <p>OFF: The format is always hidden.</p>

Submenu	Setting
COMP LEVEL	<p>Select the component level from among three modes.</p> <p>SMPTE: 100/0/100/0 signal BETA 7.5: 100/7.5/75/7.5 signal BETA 0: 100/0/75/0 signal</p>
NTSC SETUP	<p>Select the NTSC setup level from two modes.</p> <p>The 7.5 setup level is used mainly in North America. The 0 setup level is used mainly in Japan.</p>
DEGAUSS DELAY	<p>Sets the delay time for auto degaussing to start working after the power is turned on. The delay time can be set within 0 to 99 seconds.</p>
USER COLOR TEMP	<p>The value of adjustment in this menu works only when USER is selected in the COLOR TEMP menu.</p> <ul style="list-style-type: none"> ADJUST GAIN...: Adjusts the color balance (GAIN). ADJUST BIAS...: Adjusts the color balance (BIAS). COPY FROM: If you select D65, D56 or D93 with the \uparrow/+ or \downarrow/- button, the white balance data of the selected color temperature will be copied to USER.
SUB CONTROL	<p>You can finely adjust the controls on the front panel. CONTRAST, PHASE, CHROMA and BRIGHT controls have clicks at the center of their adjustment range. You can adjust the setting of the click position with this feature.</p>

Troubleshooting

This section may help you isolate the cause of a problem and as a result, eliminate the need to contact technical support.

- **The display is colored green or purple** → Select the correct input by pressing one of the buttons related to input.
- **The signal input through the RGB/COMPONENT input connectors does not appear on the screen** → Set RGB SYSTEM on the USER CONFIG menu appropriately according to type of input signal.

Specifications

General

PVM-14L2MD

CRT: Trinitron, P22 luminescent material
Power: AC100 to 240 V, 50/60 Hz
Power consumption:
Maximum 85 W, 0.9 to 0.4 A (when the BKM-150CP optional board has been installed)
Standard: 75 W, 0.8 to 0.35 A (Without optional board)
Peak inrush current:
(1) Power ON, current probe method: 53 A (240 V)
(2) Hot switching inrush current, measured in accordance with European standard EN55103-1: 35 A (230 V)
Dimensions (max.):
Approx. 346 × 340 × 430 mm
(13 ⁵/₈ × 13 ¹/₂ × 17 inches)
(w/h/d)
Mass: Approx. 18.0 kg (39 lb 11 oz)

PVM-20L2MD

CRT: Trinitron, P22 luminescent material
Power: AC100 to 240 V, 50/60 Hz
Power consumption:
Maximum 108 W, 1.1 to 0.5 A (when the BKM-150CP optional board has been installed)
Standard: 98 W, 1.0 to 0.4 A (Without optional board)
Peak inrush current:
(1) Power ON, current probe method: 53 A (240 V)
(2) Hot switching inrush current, measured in accordance with European standard EN55103-1: 35 A (230 V)
Dimensions (max.):
Approx. 450 × 457 × 529 mm
(17 ³/₄ × 18 × 20 ⁷/₈ inches)
(w/h/d)
Mass: Approx. 33.0 kg (72 lb 12 oz)

Input/output connectors

Input

LINE A input connectors
Y/C input 4-pin mini-DIN (1)
VIDEO input
BNC type (1) 1 Vp-p +3 dB –6 dB
negative synchronization

AUDIO input
Phono jack (1) –5 dBu 47 kΩ or higher
LINE B input connectors
VIDEO input
BNC type (1) 1 Vp-p +3 dB –6 dB
negative synchronization
AUDIO input
Phono jack (1) –5 dBu 47 kΩ or higher
RGB/Component input connectors
BNC type (3)
RGB input 0.7 Vp-p +3 dB –6 dB (Sync On Green, 0.3 Vp-p negative sync.)
Component input
0.7 Vp-p +3 dB –6 dB (75% chrominance standard color bar signal)
AUDIO input
Phono jack (1) –5 dBu 47 kΩ or higher
Externally synchronized input connector
BNC type (1) 0.3 to 8 Vp-p
± bipolarity ternary or negative polarity binary
Optional AUDIO input jacks
Phono jack (2) –5 dBu 47 kΩ or higher
Remote input terminal
Parallel remote
Modular connector 8-pin (1)

Output

LINE A output connectors
Y/C output 4-pin mini-DIN (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function
VIDEO output
BNC type (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function
AUDIO output
Phono jack (1) Loop-through
LINE B output connectors
VIDEO output
BNC type (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function
AUDIO output
Phono jack (1) Loop-through
RGB/Component output connectors
RGB/Component output
BNC type (3) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function
AUDIO output
Phono jack (1) Loop-through
Externally synchronized output connector
BNC type (1) Loop-through, with 75 Ω automatic terminal function
Built-in speaker output
0.8 W (monaural)

Video signal

Frequency response

50 Hz to 10 MHz (0 dB/−3 dB)

Aperture compensation¹⁾

OFF: 0 dB

ON: 2 dB to 6 dB

Picture performance

Normal scan 7% overscan of CRT effective screen area

Underscan 5% underscan of CRT effective screen area

Overscan 20% overscan of CRT effective screen area

Linearity PVM-14L2MD
H: 4% or less
V: 4% or less

PVM-20L2MD
H: 5% or less
V: 5% or less

Color temperature

D65, D56, D93, USER (Adjustable color temperature: 5000 K to 10000 K)

Convergence error

PVM-14L2MD
Center: 0.4 mm (1/32 inch) or less
Peripheral: 0.5 mm (1/32 inch) or less

PVM-20L2MD
Center: 0.5 mm (1/32 inch) or less
Peripheral: 0.7 mm (1/32 inch) or less

Raster size stability

H: 1.0%

V: 1.0%

Resolution (at screen center)

600 TV lines

Operating conditions

Temperature 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)

Humidity 30% to 85% (no condensation)

Pressure 700 hPa to 1060 hPa

Storage and transport conditions

Temperature −10 °C to 40 °C (14 °F to 104 °F)

Humidity 0% to 90%

Pressure 700 hPa to 1060 hPa

Accessories supplied

AC power cord (1)

AC plug holder (1)

Operating Instructions (1)

The PVM-14L2MD/PVM-20L2MD is a Trinitron color video monitor for professional use.

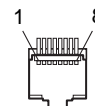
Classification of equipment

- Evaluated to EN60601-1, EN60601-1-2, UL2601-1 (Second Edition), CSA601.1, 89/336/EEC, 73/23/EEC, 93/42/EEC
- EQUIPMENT not suitable for use in the presence of a FLAMMABLE ANAESTHETIC MIXTURE WITH AIR or WITH OXYGEN OF NITROUS OXIDE

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

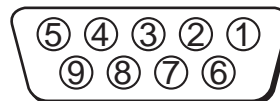
PARALLEL REMOTE terminal Modular connector (8-pin)



Pin number	Functions
1	Set input signal LINE A
2	Set input signal LINE B
3	Set input signal RGB/COMP
4	Set input signal OPTION 1
5	GND
6	Set tally lamp on or off
7	Select underscan
8	Select overscan

You can allocate functions using the REMOTE menu.

RS-232C (D-sub 9-pin) connector



Pin number	Functions
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

Wiring required to use the Remote Control

Connect the function you want to use with a Remote Control to the Ground (Pin 5).

1) The aperture cannot be compensated for RGB input signals.

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Des courants de hautes tensions dangereuses sont présents à l'intérieur de cet appareil. Ne pas ouvrir le coffret. S'adresser à un personnel qualifié uniquement.

Dans le cas d'une défaillance ou de nécessité d'entretien, consulter un revendeur Sony autorisé.

ATTENTION – Lorsque le produit est installé sur un bâti :

a) Température ambiante de service élevée

Si l'appareil est installé sur un bâti fermé ou comportant plusieurs appareils, la température ambiante de service du bâti peut être supérieure à la température ambiante de la pièce. Il convient par conséquent d'installer l'appareil dans un environnement compatible avec la température ambiante nominale maximale indiquée par le fabricant (T_{mra} : 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)).

b) Débit d'air réduit

L'installation de l'appareil dans un bâti ne doit pas entraver la circulation d'air nécessaire au fonctionnement fiable de l'appareil.

c) Charge mécanique

Le montage de l'appareil sur le bâti ne doit pas créer de situation dangereuse résultant d'une charge mécanique irrégulière.

d) Surcharge du circuit

Il convient de porter attention au raccordement de l'appareil sur le circuit d'alimentation et à l'effet d'une surcharge des circuits sur la protection contre les surintensités et le câblage d'alimentation. Il convient de prendre en compte les caractéristiques indiquées sur la plaque signalétique de l'appareil pour régler ce problème.

e) Mise à la terre fiable

Une mise à la terre fiable doit être assurée pour un appareil installé dans un bâti. Il convient de porter particulièrement attention aux raccordements d'alimentation qui ne sont pas des raccordements directs au circuit de dérivation (par exemple, l'utilisation de blocs multiprises).

f) Maintien d'un espace de dégagement minimal

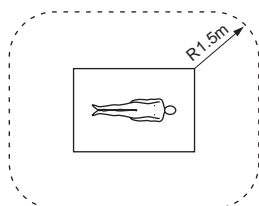
Laissez un espace de 44 mm (1 pouce ³/₄) au-dessus et en dessous d'un appareil installé dans un bâti.

AVERTISSEMENT

Précautions/instructions importantes pour une utilisation dans des environnements médicaux

- 1 Tous les équipements raccordés à cet appareil doivent être agréés conformément aux normes IEC601-1, IEC950, IEC65 ou aux autres normes IEC/ISO applicables à ces équipements.
- 2 Si cet appareil est utilisé conjointement avec d'autres appareils à proximité du patient*, l'équipement doit être alimenté par un transformateur d'isolement ou raccordé via une borne de mise à la terre supplémentaire pour relier le système à la masse jusqu'à ce qu'il soit agréé conformément aux normes IEC601-1 et IEC601-1-1.

* Proximité du patient



- 3 Le courant de fuite peut augmenter si raccordé à d'autres équipements.
- 4 L'opérateur doit prendre toutes les précautions requises pour ne pas toucher en même temps le patient et les circuits d'entrée et de sortie du panneau arrière.
- 5 Le modèle PVM-14L2MD/PVM-20L2MD est un moniteur vidéo destiné à une utilisation dans un environnement médical pour la visualisation d'images vidéo transmises par des caméras ou d'autres systèmes vidéo. Ces modèles ne sont pas des destinés au traitement des patients en ce qui concerne les exigences liées au courant de fuite.

Symboles sur l'appareil

Symbole	Emplacement	Ce symbole indique
	Panneau frontal	Interrupteur d'alimentation. Appuyez sur ce bouton pour mettre le moniteur sous ou hors tension.
	Panneau arrière	La borne équipotentielle qui ramène les différentes parties d'un système à la même tension.
	Panneau arrière	Borne de mise à la terre fonctionnelle
	Panneau arrière	Courant alternatif
	Panneau arrière	Attention, consultez les documents d'accompagnement

Avertissement sur le raccordement de l'alimentation

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à la tension secteur locale.

	Etats-Unis	Canada	Europe continental	Japon
Type de fiche	TYPE HOSPITAL	TYPE HOSPITAL	LP-34A	VM1050
Extrémité femelle	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
Type de cordon	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
Intensité nominale minimum du cordon	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
Longueur du cordon	Max. 4,5 m (117 1/4 po)	Max. 4,5 m (117 1/4 po)	–	–
Agréation de sécurité	UL	CSA	VDE	DENAN-HO

Table des matières

Précautions	35
Sécurité	35
Installation	35
Nettoyage de la surface du tube à rayon cathodique	35
Entretien	35
Remballage	35
Montage en baie	35
Caractéristiques	35
Raccordements	37
Raccordement du cordon d'alimentation secteur	37
Emplacement et fonction des composants et des commandes	37
Panneau de commande	37
Panneau arrière	39
Sélection du menu Langue	40
Utilisation du menu	41
Réglages à l'aide des menus	42
Options	42
Réglage et modification des paramètres.	43
Menu STATUT	43
Menu TEMP COUL	43
Menu UTILISAT PREREGLER	43
Menu CONFIG UTILISAT (1/2, 2/2)	44
Menu TELECOMMANDE	44
Menu SERVICE UTILISATEUR	45
Dépannage	45
Spécifications	45
Dimensions	i

Les explications du présent mode d'emploi s'appliquent aux modèles suivants, sauf mention contraire.

Lorsque les explications ne s'appliquent pas à tous les modèles, ceci est clairement stipulé dans ce manuel.

- PVM-14L2MD (moniteur 14 pouces)
- PVM-20L2MD (moniteur 20 pouces)

Sauf mention contraire, les illustrations représentent le moniteur vidéo PVM-14L2MD.

Précautions

Sécurité

- Faites uniquement fonctionner l'appareil sur une source d'alimentation spécifiée dans la section "Spécifications".
- Une plaque signalétique indiquant la tension de fonctionnement, la consommation électrique, etc. se trouve sur le panneau arrière.
- Si un objet ou du liquide pénètre dans le châssis, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Ne laissez pas tomber et ne posez pas d'objets lourds sur le cordon d'alimentation. Si le cordon d'alimentation est endommagé, coupez immédiatement l'alimentation. Il est dangereux d'utiliser l'appareil avec un cordon d'alimentation endommagé.
- Débranchez l'appareil de la prise secteur si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant plusieurs jours ou davantage.
- Pour débrancher le cordon d'alimentation de la prise secteur, saisissez-le par la fiche et ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise secteur doit être installée à proximité de l'appareil et être aisément accessible.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air suffisante pour éviter toute surchauffe à l'intérieur de l'appareil. N'installez pas l'appareil sur des surfaces (tapis, couvertures, etc.) ou à proximité de matériaux (rideaux, draperies) susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une conduite d'air, ni dans un endroit exposé au rayonnement direct du soleil, à une poussière excessive, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.

Nettoyage de la surface du tube à rayon cathodique

- Nettoyez le tube à rayon cathodique avec un chiffon doux. Si le tube à rayon cathodique a été souillé avec des mains grasses ou des empreintes de doigts, nettoyez-le avec un chiffon doux imprégné d'une solution détergente douce.

- N'utilisez jamais de produits de nettoyage abrasifs, de savon alcalin, de solvants puissants tels que l'alcool, le diluant ou l'essence car ils risquent d'endommager la surface.
- Ne frottez pas la surface du tube à rayon cathodique avec un objet et ne la heurtez pas.

Entretien

Pour garder à l'appareil un aspect neuf, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'une solution détergente douce. N'utilisez jamais de solvants puissants tels que le diluant ou l'essence ni de produits de nettoyage abrasifs car ils risquent d'endommager le châssis. Par mesure de sécurité, débranchez l'appareil avant de le nettoyer.

Remballage

Ne jetez pas le carton d'emballage et les matériaux de conditionnement. Ils constituent une protection idéale pour le transport de l'appareil. Lorsque vous transportez l'appareil d'un endroit à un autre, remballiez-le comme illustré sur le carton.

Montage en baie

Laissez un espace vide au-dessus et en dessous du moniteur pour assurer une circulation d'air appropriée ou installez un ventilateur pour garantir les performances du moniteur.

Pour toute question au sujet de cet appareil, contactez votre distributeur Sony agréé.

Caractéristiques

Image

Tube image Trinitron¹⁾

Le tube image Trinitron fournit une image dont la résolution horizontale est supérieure à 600 lignes TV au centre de l'image (pour le PVM-14L2MD/PVM-20L2MD uniquement).

Filtre en peigne

Lorsque des signaux vidéo NTSC sont reçus, le filtre en peigne est activé afin d'obtenir une séparation Y/C plus précise. Cela permet de réduire la perte de résolution ainsi que le phénomène de couleur croisée et de luminance croisée.

Circuit de rétroaction du courant de faisceau

Le circuit de rétroaction du courant de faisceau intégré assure une balance stable des blancs.

1) "Trinitron" est une marque déposée de Sony Corporation.

Deux systèmes couleur disponibles

Le moniteur peut afficher les signaux NTSC et PAL. Le système couleur du signal d'entrée est détecté automatiquement.

Entrées

Connecteurs d'entrée analogiques RVB/composant

Les signaux RVB analogiques ou composants (Y, P_B, P_R) d'un appareil vidéo peuvent être reçus via ces connecteurs. Appuyez sur la touche RGB/COMPONENT du panneau de commande pour contrôler le signal.

Connecteur d'entrée de luminance chrominance (Y/C) (connecteur d'entrée S)

Le signal vidéo, divisé en signal de luminance (Y) et en signal de chrominance (C), peut être reçu via ce connecteur, éliminant ainsi les interférences entre les deux signaux et garantissant la qualité des images.

Capacité d'entrée étendue

Vous pouvez facilement étendre la capacité d'entrée en installant une carte optionnelle (non fournie) dans la fente prévue à cet effet, sur le panneau arrière. Une seule carte permettant d'étendre la capacité d'entrée peut être installée à la fois.

Entrée de synchronisation externe

La sélection de l'élément RVB/EXT de SYS. RVB sur l'écran de menu permet de faire fonctionner le moniteur sur le signal de synchronisation fourni par un générateur de synchronisation externe.

Pour de plus amples informations, reportez-vous à la page 44.

Terminaison automatique (uniquement les connecteurs portant la marque M)

Le connecteur d'entrée est terminé à 75 ohms à l'intérieur, dans le cas où aucun cordon n'est raccordé sur le connecteur de sortie. Si un cordon est raccordé sur le connecteur de sortie, la terminaison interne est automatiquement annulée et les signaux entrés vers le connecteur d'entrée sont sortis sur le connecteur de sortie (transmission à boucle).

Fonctions

Fonction phase chrominance automatique

La chrominance et la phase sont réglées automatiquement.

Mode sur-balayage

La taille de l'image à l'écran augmente de 20% environ afin que le centre de l'image soit plus visible.

Mode de sous-balayage

En mode de sous-balayage, les lignes généralement balayées en dehors de la zone d'affichage normale sont visibles, ce qui vous permet de contrôler la totalité de l'écran.

Remarque

Lorsque le moniteur est en mode de sous-balayage, des lignes de balayage RVB sombres apparaissent sur le bord supérieur de l'écran. Elles résultent d'un signal d'essai interne.

Démagnétisation automatique/manuelle

Le moniteur est automatiquement démagnétisé lorsqu'il est mis sous tension. Vous pouvez le démagnétiser manuellement en appuyant sur la touche DEGAUSS. Le menu vous permet de prérégler une heure pour procéder à une démagnétisation automatique lorsque l'appareil est sous tension depuis longtemps.

Menus affichés à l'écran

Vous pouvez régler la température des couleurs, configurer la chrominance et procéder à d'autres réglages à l'aide des menus affichés à l'écran.

Options

Support de montage de la baie 19 pouces aux normes EIA disponible

Le moniteur peut être installé sur une baie 19 pouces aux normes EIA, à l'aide des supports de montage ou des glissières de guidage suivants.

Pour le PVM-14L2MD : MB-502B (en Europe, utilisez le MB-502C)

Pour le PVM-20L2MD : SLR-103A (en Europe, utilisez le SLR-103C)

Pour plus d'informations sur le montage du moniteur en baie, reportez-vous au manuel utilisateur du support de montage ou de la glissière de guidage.

Raccordements

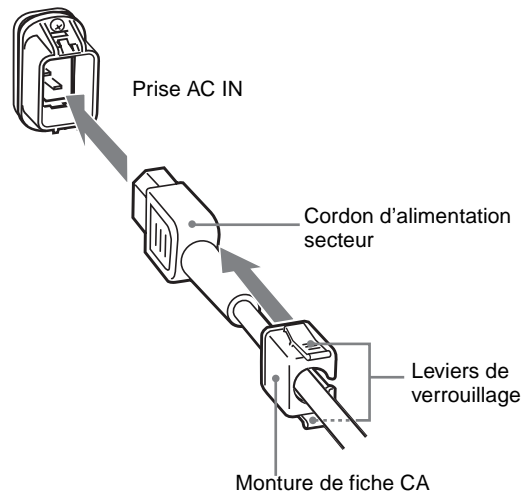
Raccordement du cordon d'alimentation secteur

Pour raccorder le cordon d'alimentation secteur

Branchez le cordon d'alimentation secteur sur la prise AC IN. Fixez ensuite la monture de fiche secteur (fournie) sur le cordon d'alimentation secteur et faites-la glisser sur le cordon jusqu'à ce qu'elle se bloque.

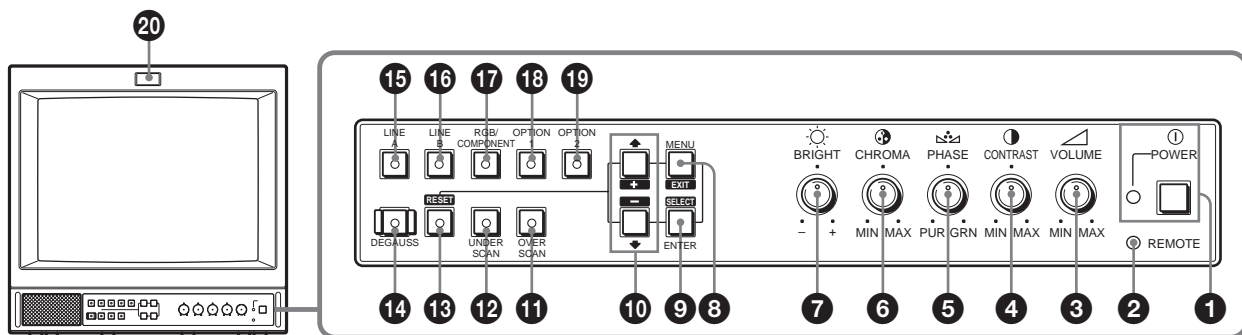
Pour retirer le cordon d'alimentation secteur

Tirez sur la monture de fiche CA tout en appuyant sur les leviers de verrouillage.



Emplacement et fonction des composants et des commandes

Panneau de commande



1 Commutateur et témoin POWER ①

Appuyez sur ce commutateur pour mettre le moniteur sous tension. Le voyant s'allume. Appuyez de nouveau sur ce commutateur pour mettre le moniteur hors tension.

Le voyant s'éteint.

2 Indicateur REMOTE

Cet indicateur s'allume dans les conditions suivantes :

- si PREREGLER est réglé sur OUI dans le menu ;
- si vous sélectionnez TELE. SERIE dans le menu TELECOMMANDE (RS-232C) du menu d'écran et si TELE. ACT. ou TELE-LOCAL a été réglé.

3 Commande ∇ VOLUME

4 Commande \odot CONTRAST

5 Commande ☼ PHASE

Remarque

Lorsque vous utilisez un signal PAL, composant ou RVB, cette phase ne peut pas être réglée.

6 Commande ⊕ CHROMA

7 Commande ☼ BRIGHT (luminosité)

8 Touche MENU/EXIT

Appuyez sur cette touche pour faire apparaître ou disparaître les menus sur l'écran.

9 Touche ENTER/SELECT

Appuyez sur cette touche pour valider une option sélectionnée dans le menu.

10 Touche ↑/+ (déplacement du curseur vers le haut/réglage de la valeur)

Touche ↓/- (déplacement du curseur vers le bas/réglage de la valeur)

Appuyez sur ces touches pour déplacer le curseur ou pour régler une option sélectionnée dans le menu.

11 Touche et témoin OVERSCAN

Appuyez sur cette touche pour passer au mode sur-balayage. La taille de l'écran augmente de 20% environ de façon à ce que la portion centrale de l'écran puisse être plus visible.

Pour revenir à la taille d'origine de l'écran, appuyez de nouveau sur cette touche.

12 Touche et témoin UNDERSCAN

Appuyez sur cette touche pour exécuter un sous-balayage.

La taille de l'écran est réduite d'environ 5% de sorte que les quatre coins de l'image soient visibles.

Pour revenir à la taille d'origine de l'écran, appuyez de nouveau sur cette touche.

13 Touche et témoin RESET

Vous pouvez réinitialiser l'élément du menu au réglage précédent en appuyant sur RESET lorsque le nouvel élément est sélectionné et réglé.

14 Touche et voyant DEGAUSS

Appuyez une seule fois sur cette touche. L'écran sera démagnétisé. Attendez au moins 10 minutes avant de réutiliser cette touche.

Remarque

La touche DEGAUSS est désactivée lorsque le menu d'écran est affiché.

Pour démagnétiser manuellement le moniteur, quittez d'abord le menu d'écran en appuyant sur la touche MENU/EXIT.

15 Touche et voyant LINE A

Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal via les connecteurs LINE A.

16 Touche et voyant LINE B

Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal via les connecteurs LINE B.

17 Touche et voyant RGB/COMPONENT

Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal via les connecteurs RGB/COMPONENT.

18 Touche et voyant OPTION 1

Cette touche fonctionne lorsqu'une carte optionnelle a été installée dans l'emplacement prévu à cet effet sur le panneau arrière. Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal vidéo via l'entrée 1 de la carte optionnelle et l'entrée du signal audio via la prise OPTION AUDIO INPUT 1.

19 Touche et voyant OPTION 2

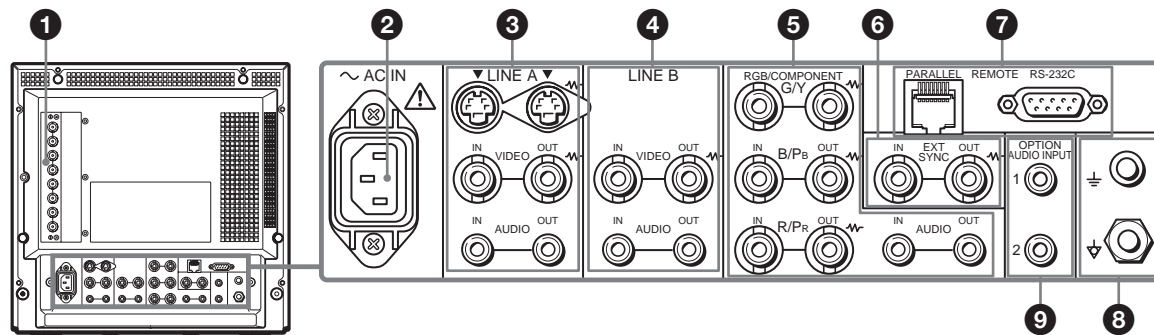
Cette touche fonctionne lorsqu'une carte optionnelle a été installée dans l'emplacement prévu à cet effet sur le panneau arrière. Appuyez sur cette touche pour contrôler l'entrée du signal vidéo via l'entrée 2 de la carte optionnelle et l'entrée du signal audio via la prise OPTION AUDIO INPUT 2.

20 Témoin de signalisation

Le voyant s'allume lorsqu'une caméra vidéo raccordée sur ce moniteur est sélectionnée. Un câblage spécifique est nécessaire pour que le témoin de signalisation fonctionne correctement.

Pour plus d'informations sur ce câblage, reportez-vous à la page 47.

Panneau arrière



❶ Fente OPTION (BKM-129X)

Si vous installez une autre carte optionnelle, retirez le BKM-129X et insérez-le de nouveau.

Connecteurs RGB/COMPONENT IN, connecteurs EXT SYNC IN et OUT (entrée et sortie de synchronisation externe)

Ce sont les connecteurs d'entrée et de sortie pour les signaux RVB ou composant (Y, P_B, P_R). Vous pouvez les commander en utilisant la touche OPTION 1 située sur le panneau de commande. Pour le son, utilisez les connecteurs OPTION AUDIO INPUT. Lorsque vous utilisez un signal de synchronisation externe, réglez RVB/EXT ou COMP/EXT dans le menu SYS. RVB du menu CONFIG UTILISAT (1/2).

Vous pouvez installer une carte optionnelle dans cette fente d'option. Si vous installez deux cartes, elles ne fonctionnent pas.

Pour plus de détails sur la façon d'installer une carte, reportez-vous au manuel d'installation fourni avec la carte optionnelle.

❷ Prise AC IN

Raccordez le cordon d'alimentation secteur à cette prise, puis à une prise murale.

❸ Connecteurs LINE A

Connecteurs d'entrée de ligne pour les signaux Y/C séparés, les signaux vidéo composites et les signaux audio ainsi que leurs connecteurs de sortie en boucle passante.

Appuyez sur la touche LINE A du panneau de commande pour contrôler le signal d'entrée via ces connecteurs.

Si vous entrez des signaux vers Y/C IN et VIDEO IN, l'entrée du signal vers Y/C IN est sélectionnée.

Y/C IN/OUT (miniconnecteur DIN à 4 broches)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie d'un signal Y/C séparé. Raccordez-les aux connecteurs d'entrée/sortie Y/C séparé d'un appareil comme un magnétoscope, une caméra vidéo ou un autre moniteur.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie d'un signal vidéo composite. Raccordez-les aux connecteurs d'entrée/sortie vidéo composite d'un appareil comme un magnétoscope, une caméra vidéo ou un autre moniteur.

AUDIO IN/OUT (prise phono)

Ce sont les prises d'entrée/sortie affectées à un signal audio. Raccordez-les aux prises d'entrée/sortie audio d'un appareil comme un magnétoscope.

❹ Connecteurs LINE B

Connecteurs d'entrée de ligne pour les signaux vidéo composites et les signaux audio ainsi que leurs connecteurs de sortie en boucle passante.

Appuyez sur la touche LINE B du panneau de commande pour contrôler l'entrée du signal via ces connecteurs.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie d'un signal vidéo composite. Raccordez-les aux connecteurs d'entrée/sortie vidéo composite d'un appareil comme un magnétoscope, une caméra vidéo ou un autre moniteur.

AUDIO IN/OUT (prise phono)

Ce sont les prises d'entrée/sortie affectées à un signal audio. Raccordez-les aux prises d'entrée/sortie audio d'un appareil comme un magnétoscope.

❺ Connecteurs RGB/COMPONENT

Connecteurs d'entrée des signaux RVB analogiques ou composants (Y, P_B, P_R) ainsi que leurs connecteurs de sortie en boucle passante.

Appuyez sur la touche RGB/COMPONENT du panneau de commande pour contrôler l'entrée du signal via ces connecteurs.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

Ce sont des connecteurs d'entrée/sortie pour un signal RVB analogique et composant (Y, P_B, P_R).

Le moniteur est synchronisé avec le signal de synchronisation du signal G/Y sauf si un signal de synchronisation externe est entré.

AUDIO IN/OUT (prise phono)

Lors de l'utilisation d'un signal RVB analogique ou composant comme signal vidéo, utilisez ces prises pour l'entrée/la sortie d'un signal audio. Raccordez-les aux prises d'entrée/sortie audio d'un appareil comme un magnétoscope.

6 Connecteurs EXT SYNC (synchronisation externe)

Pour utiliser un signal de synchronisation externe, sélectionnez RVB/EXT dans SYS. RVB sur l'écran de menus.

IN/OUT (BNC)

Ce sont les connecteurs d'entrée/sortie affectés à un signal de synchronisation externe. Entrez un signal de référence émis par un générateur de synchronisation vers le connecteur IN. Raccordez le connecteur OUT vers le connecteur d'entrée du signal de synchronisation externe d'un appareil que vous souhaitez synchroniser avec ce moniteur.

7 Borne REMOTE

Borne PARALLEL REMOTE (connecteur modulaire à 8 broches)

Forme un commutateur parallèle et contrôle le moniteur en externe.

Pour plus de détails sur l'affectation des broches et la fonction de réglage d'usine attribuée à chaque broche, reportez-vous à la page 47.

Borne RS-232C (télécommande de série) (D-Sub à 9 broches)

Permet d'effectuer un raccordement au connecteur de commande RS-232C de l'appareil externe raccordé au moniteur. Le moniteur peut être commandé via les commandes transmises par l'appareil externe y étant raccordé.

Pour plus de détails, reportez-vous au manuel Interface Manual for Programmers.

8 Borne de masse (⏏/⏏)

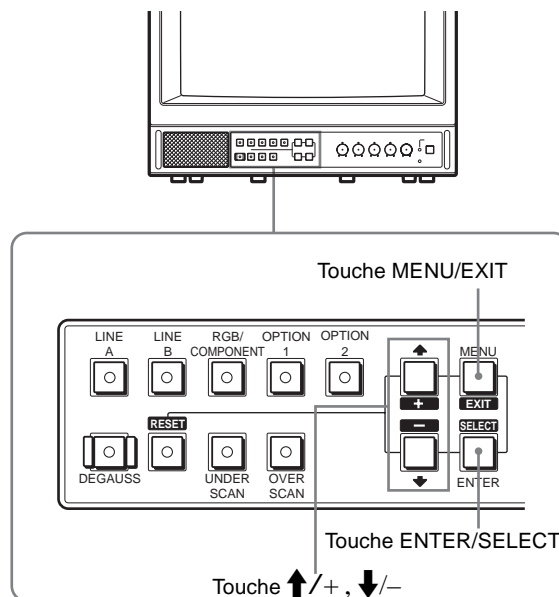
Raccordée à un câble de masse.

9 Connecteurs d'entrée 1, 2 OPTION AUDIO INPUT

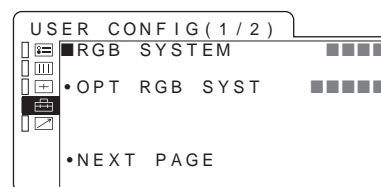
Si une carte optionnelle a été installée dans l'emplacement prévu à cet effet, entrez un signal audio vers ces connecteurs. Vous pouvez raccorder au maximum 2 systèmes. Pour contrôler les signaux audio entrés vers OPTION AUDIO INPUT 1 ou 2, appuyez sur la touche OPTION 1 ou OPTION 2.

Sélection du menu Langue

Vous avez le choix entre sept langues (anglais, allemand, français, italien, espagnol, japonais, chinois) pour afficher les menus et les divers messages à l'écran. La langue pré-réglée d'usine est ENGLISH (anglais). Les réglages courants sont affichés à l'endroit indiqués par les repères ■ sur les illustrations de l'écran de menu.

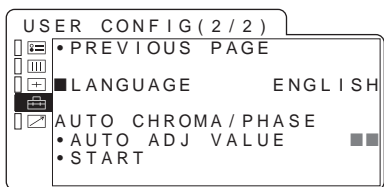


- 1 Appuyez sur la touche MENU/EXIT pour afficher l'écran de menu. Appuyez ensuite sur la touche ↑/+ ou ↓/- pour sélectionner (USER CONFIG), puis sur la touche ENTER/SELECT. Le menu USER CONFIG (1/2) apparaît.

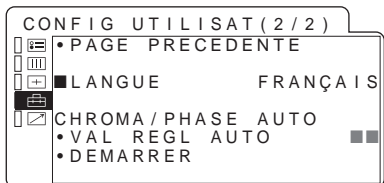


- 2 Lorsque vous appuyez sur la touche ↓/- pour sélectionner NEXT PAGE, puis la touche ENTER/SELECT, la page USER CONFIG (2/2) s'affiche.
- 3 Appuyez sur la touche ↑/+ ou ↓/- pour sélectionner "LANGUAGE", puis appuyez sur la touche ENTER/SELECT.

L'option sélectionnée est affichée en jaune.



- 4** Appuyez sur les touches **↑/+** ou **↓/-** pour sélectionner la langue souhaitée, la langue des menus à l'écran change selon la sélection, puis appuyez sur la touche **ENTER/SELECT** pour valider le réglage.



Pour quitter le menu

Appuyez sur la touche **MENU/EXIT**.
Le menu disparaît automatiquement si aucune touche n'est activée pendant une minute.

Utilisation du menu

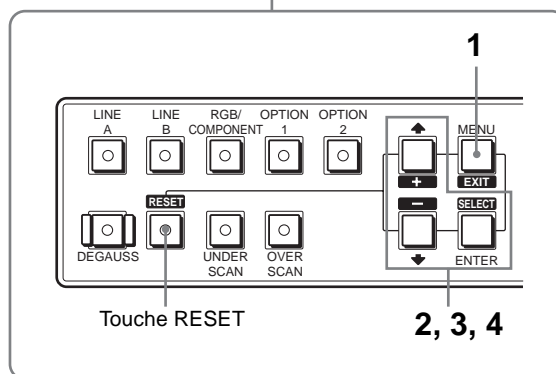
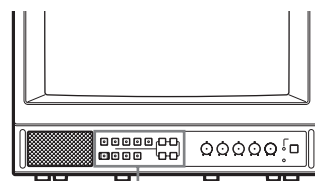
Le moniteur possède un menu affiché à l'écran permettant d'effectuer différents ajustements et réglages comme le contrôle de l'image, le réglage de l'entrée, la modification d'un réglage défini, etc.
Suivez les instructions ci-dessous pour effectuer les ajustements ou modifier les réglages.

Pour plus de détails sur les options de menu, reportez-vous à la section "Réglages à l'aide des menus", page 42.

Vous pouvez également modifier la langue du menu affiché à l'écran.

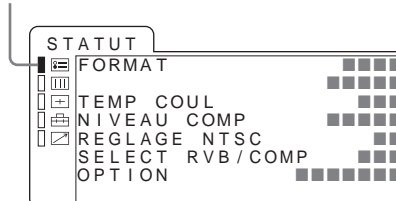
Pour modifier la langue du menu, reportez-vous à la section "Sélection du menu Langue", page 40.

Les réglages courants sont affichés à l'endroit indiqués par les repères ■ sur les illustrations de l'écran de menu.

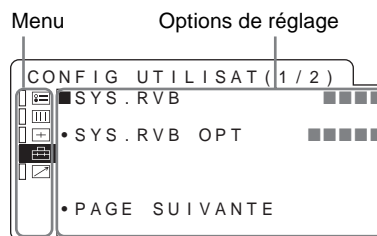


- 1** Appuyez sur la touche **MENU/EXIT**.
Le menu apparaît.
Le menu sélectionné est indiqué par un curseur jaune.

Curseur



- 2** Appuyez sur la touche **↑/+** ou **↓/-** pour sélectionner un menu, puis appuyez sur la touche **ENTER/SELECT**.
L'icône du menu sélectionné est indiquée en jaune et les options de réglage disponibles sont affichées.



- 3** Utilisez la touche **↑/+** ou **↓/-** pour sélectionner l'option souhaitée, puis appuyez sur la touche **ENTER/SELECT**.
L'option à modifier est affichée en jaune.

4 Effectuez le réglage ou l'ajustement d'une option.

Lors de la modification du niveau de réglage :
Pour augmenter la valeur, appuyez sur la touche ↑/+.

Pour diminuer la valeur, appuyez sur la touche ↓/-.
Appuyez sur la touche ENTER/SELECT pour valider la valeur, puis revenez à l'écran initial.

Lors de la modification du réglage :

Appuyez sur la touche ↑/+ ou ↓/- pour modifier le réglage.

Appuyez sur la touche ENTER/SELECT pour valider le réglage.

Remarque

Les options affichées en bleu ne sont pas accessibles.
Vous pouvez accéder à une option si elle est affichée en blanc.

Pour quitter le menu

Appuyez sur la touche MENU/EXIT.

Le menu disparaît automatiquement si aucune touche n'est activée pendant une minute.

Mémorisation des réglages

Les réglages sont automatiquement enregistrés dans la mémoire du moniteur.

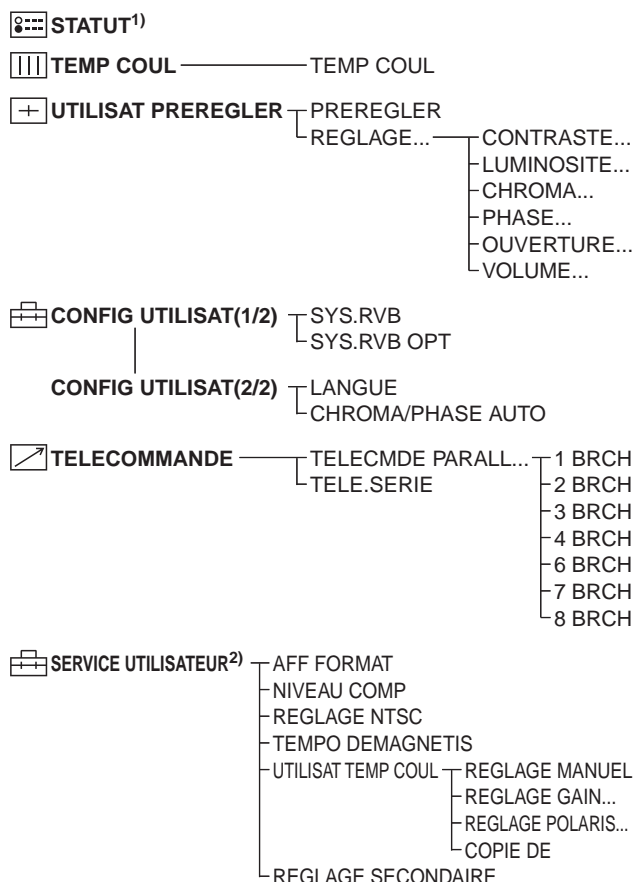
Pour restaurer les options réglées

Appuyez sur la touche RESET lorsque la nouvelle option de menu est sélectionnée et en cours de réglage.
Toutes les modifications de ce nouveau réglage d'option sont ignorées et l'option est réinitialisée au réglage précédent.

Réglages à l'aide des menus

Options

Le menu d'écran de ce moniteur comporte les options suivantes.



1) Les options du menu STATUT indiquent les réglages courants.

2) Pour plus de détails sur la façon d'accéder au menu SERVICE UTILISATEUR, reportez-vous à la page 45.

Réglage et modification des paramètres.

Menu STATUT

Le menu STATUT est utilisé pour afficher le statut actuel du moniteur.

Sous-menu	Réglage
FORMAT	Affichage uniquement
TEMP COUL	Affichage uniquement
NIVEAU COMP	Affichage uniquement
REGLAGE NTSC	Affichage uniquement
SELECT RVB/COMP	Affichage uniquement
OPTION	Affichage uniquement

Menu TEMP COUL

Le menu TEMP COUL est utilisé pour régler la balance des blancs de l'image.

Vous devez utiliser un instrument de mesure pour régler la balance des blancs.

Sous-menu	Réglage
TEMP COUL	Sélectionnez la température de couleur parmi les réglages D65, D56, D93 et UTILISAT. La sélection d'une température de couleur avec le menu UTILISAT permet de régler la température de couleur (le réglage de la température de couleur nécessite l'utilisation d'un instrument de mesure).

Remarques

- Une température de couleur établie avec le réglage UTILISAT peut être réglée sur n'importe quelle température de couleur, dans une plage allant de 5000 K à 10 000 K.
- Le réglage de D65 est approprié lors de l'utilisation du moniteur avec un endoscope.
- Le réglage D56 est approprié lors de l'utilisation du moniteur avec un microscope biologique.
- L'ajustement d'un réglage effectué avec le menu UTILISAT peut se faire dans le menu UTILISAT TEMP COUL du menu SERVICE UTILISATEUR.

Pour de plus amples informations, reportez-vous au menu SERVICE UTILISATEUR à la page 45.

Menu UTILISAT PREREGLER

Le menu UTILISAT PREREGLER est utilisé pour régler l'image.

Les éléments qui ne peuvent pas être réglés selon le signal d'entrée s'affichent en bleu.

Sous-menu	Réglage
PREREGLER	Lorsque ce réglage est réglé sur OUI, toutes les commandes du panneau de commande sont désactivées (l'indicateur REMOTE s'affiche) et les valeurs préréglées dans la mémoire interne du moniteur (les réglages par défaut) sont activées.
REGLAGE...	<ul style="list-style-type: none">• CONTRASTE... : permet de régler le contraste de l'image.• LUMINOSITE... : permet de régler la luminosité de l'image.• CHROMA... : permet de régler l'intensité des couleurs. Plus la valeur de réglage est élevée, plus l'intensité de l'image est élevée. Plus la valeur de réglage est basse, moins l'intensité de l'image est élevée.• PHASE... : permet de régler les tons de couleurs. Plus la valeur de réglage est élevée, plus l'image prend une teinte verdâtre. Plus la valeur de réglage est faible, plus l'image prend une teinte violette.• OUVERTURE... : permet de régler la netteté de l'image. Plus la valeur de réglage est élevée, plus l'image est nette.• VOLUME... : permet de régler le niveau audio.

Menu CONFIG UTILISAT (1/2, 2/2)

Le menu CONFIG UTILISAT est utilisé pour sélectionner une langue pour les menus et les messages à l'écran ou pour sélectionner le type de signal vidéo pouvant être capté par les connecteurs RGB/COMPONENT.

Sous-menu	Réglage
SYS. RVB (1/2)	Lorsqu'un signal capté via le connecteur RGB/COMPONENT est contrôlé, en vous basant sur le signal capté, sélectionnez RVB/INT, RVB/EXT, COMP/INT ou COMP/EXT.
SYS. RVB OPT (1/2)	L'affichage diffère en fonction de la carte optionnelle installée. Pour de plus amples informations, reportez-vous aux réglages d'options.
LANGUE (2/2)	La langue à utiliser pour l'affichage des éléments de menu et des messages peut être sélectionnée parmi les sept options suivantes. [中文] : chinois [ENGLISH] : anglais [DEUTSCH] : allemand [FRANÇAIS] : français [ITALIANO] : italien [ESPAÑOL] : espagnol [日本語] : japonais
CHROMA/PHASE AUTO (2/2)	Permet de régler l'intensité de la couleur (CHROMA) et la tonalité des couleurs (PHASE). <ul style="list-style-type: none">• OUI : lorsque CHROMA et PHASE sont réglés sur OUI, leurs valeurs s'ajustent automatiquement.• NON : lorsque CHROMA et PHASE sont réglés sur NON, leurs valeurs sont celles par défaut.

Menu TELECOMMANDE

Sous-menu	Réglage
TELECMDE PARALL...	<p>Le menu TELECOMMANDE est utilisé pour attribuer les fonctions aux broches de la borne PARALLEL REMOTE.</p> <p>Les broches 1 à 4 et 6 à 8 peuvent être utilisées. La liste ci-dessous établit les fonctions que vous pouvez attribuer aux broches.</p> <ul style="list-style-type: none">• -- (Aucune fonction n'est attribuée.)• LINE A• LINE B• RGB/COMP• OPTION 1• OPTION 2• SIGNAL• SOUS-BALAYAGE• SUR-BALAYAGE• DEMAGNETIS
	<p>Remarque</p> <p>Si vous utilisez la fonction TELECMDE PARALL..., vous devez raccorder des câbles.</p> <p><i>Pour de plus amples informations, reportez-vous à la page 47.</i></p>
TELE. SERIE	<p>Sélectionnez l'un des trois modes suivants.</p> <p>TELE. DESA. : Vous pouvez ajuster les réglages et les commandes à l'aide des touches et des commandes du panneau de commande.</p> <p>Le connecteur RS-232C ne fonctionne pas.</p> <p>TELE. ACT. : Vous pouvez ajuster les réglages et les commandes via le connecteur RS-232C.</p> <p>Les touches et les commandes du panneau de commande, à l'exception des touches d'opérations de menu, ne fonctionnent pas.</p> <p>TELE-LOCAL : Vous pouvez ajuster les réglages et les commandes à la fois via le connecteur RS-232C et les touches du panneau de commande.</p> <p>Les commandes du panneau de commande ne sont pas disponibles.</p>

Menu SERVICE UTILISATEUR

Le menu SERVICE UTILISATEUR est fourni pour les ajustements ou réglages autres que ceux indiqués ci-dessus.

Pour accéder au menu SERVICE UTILISATEUR, maintenez la touche MENU/EXIT enfoncée pendant que le menu est affiché, jusqu'à ce que le menu SERVICE UTILISATEUR indiqué ci-dessous s'affiche.

Sous-menu	Réglage
AFF FORMAT	Permet de déterminer si le format d'un signal capté est affiché à l'écran ou pas. OUI : le format est affiché en permanence. AUTO : le format est affiché pendant environ dix secondes lorsque la réception du signal commence. NON : le format n'est jamais affiché.
NIVEAU COMP	Sélectionnez le niveau composant parmi trois modes. SMPTE : signal 100/0/100/0 BETA 7.5 : signal 100/7.5/75/7.5 BETA 0 : signal 100/0/75/0
REGLAGE NTSC	Sélectionnez le niveau de réglage NTSC parmi deux modes. Le niveau de réglage 7.5 est utilisé principalement aux Etats-Unis. Le niveau de réglage 0 est utilisé principalement au Japon.
TEMPO DEMAGNETIS	Permet de régler la durée du délai pour le lancement de la démagnétisation automatique après la mise sous tension de l'appareil. La durée du délai peut être établie entre 0 et 99 secondes.
UTILISAT TEMP COUL	La valeur de réglage de ce menu fonctionne uniquement lorsque le menu UTILISAT est sélectionné dans le menu TEMP COUL. <ul style="list-style-type: none">• REGLAGE GAIN... : permet de régler la balance des couleurs (GAIN).• REGLAGE POLARIS... : permet de régler la balance des couleurs (POLARIS).• COPIE DE: Si vous sélectionnez D65, D56 ou D93 avec les touches \uparrow/+ ou \downarrow/-, les données de balance des blancs de la température de couleur sélectionnée sont copiées vers UTILISAT.
REGLAGE SECONDAIRE	Vous pouvez effectuer un réglage fin des commandes sur le panneau frontal. Les commandes CONTRAST, PHASE, CHROMA et BRIGHT disposent de seuils au milieu de leur plage de réglage. Vous pouvez ajuster le réglage de la position du seuil avec cette fonction.

Dépannage

Cette section peut vous aider à identifier un problème et à le résoudre sans recourir à une assistance technique.

- **L'affichage est de couleur verte ou violette** → Sélectionnez l'entrée correcte en appuyant sur l'une des touches associées à l'entrée.
- **L'entrée du signal via les connecteurs d'entrée RGB/COMPONENT n'apparaît pas sur l'écran** → Réglez SYS. RVB dans le menu CONFIG UTILISATEUR de façon appropriée en fonction du type de signal d'entrée.

Spécifications

Généralités

PVM-14L2MD

Tube à rayon cathodique : Trinitron, matériau luminescent P22

Alimentation : CA 100 à 240 V, 50/60 Hz

Consommation électrique :

85 W, 0,9 à 0,4 A maxi (lorsque la carte optionnelle BKM-150CP est installée)

Standard : 75 W, 0,8 à 0,35 A (sans carte optionnelle)

Appel de courant de crête :

(1) Mise sous tension (ON), méthode de sondage du courant:
53 A (240 V)

(2) Mesuré conformément à la norme européenne EN55103-1:
35 A (230 V)

Dimensions (maxi.) :

Environ 346 × 340 × 430 mm
(13 ⁵/₈ × 13 ¹/₂ × 17 pouces)
(l/h/p)

Poids : Environ 18,0 kg (39 livres 11 onces)

PVM-20L2MD

Tube à rayon cathodique : Trinitron, matériau luminescent P22

Alimentation : CA 100 à 240 V, 50/60 Hz

Consommation électrique :

108 W, 1,1 à 0,5 A maxi. (lorsque la carte optionnelle BKM-150CP est installée)

Standard : 98 W, 1,0 à 0,4 A (sans carte optionnelle)

Appel de courant de crête :

- (1) Mise sous tension (ON), méthode de sondage du courant: 53 A (240 V)
- (2) Mesuré conformément à la norme européenne EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensions (maxi.) :

Environ 450 × 457 × 529 mm
(17 ³/₄ × 18 × 20 ⁷/₈ pouces)
(l/h/p)

Poids : Environ 33,0 kg (72 livres 12 onces)

Connecteurs d'entrée/sortie

Entrées

Connecteurs d'entrée LINE A

- Entrée Y/C miniconnecteur DIN à 4 broches (1)
- Entrée VIDEO
 - Type BNC (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB, synchronisation négative
- Entrée AUDIO
 - Prise phono (1) -5 dBu 47 kΩ ou plus

Connecteurs d'entrée LINE B

- Entrée VIDEO
 - Type BNC (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB, synchronisation négative
- Entrée AUDIO
 - Prise phono (1) -5 dBu 47 kΩ ou plus

Connecteurs d'entrée RVB/composant

- Type BNC (3)
- Entrée RVB 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB
(Synchronisation sur le vert, 0,3 Vp-p synchronisation négative)
- Entrée composant
 - 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (signal de barre de couleur standard à 75% de chrominance)
- Entrée AUDIO
 - Prise phono (1) -5 dBu 47 kΩ ou plus

Connecteur d'entrée synchronisé en externe

- Type BNC (1) 0,3 à 8 Vp-p
- Bipolarité ternaire ± ou polarité binaire négative

Prises d'entrée AUDIO optionnelles

- Prise phono (2) -5 dBu 47 kΩ ou plus

Borne d'entrée de la télécommande

- Télécommande parallèle
- Connecteur modulaire 8 broches (1)

Sorties

Connecteurs de sortie LINE A

- Sortie Y/C miniconnecteur DIN à 4 broches (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie VIDEO

- Type BNC (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie AUDIO

- Prise phono (1) en boucle

Connecteurs de sortie LINE B

Sortie VIDEO

- Type BNC (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie AUDIO

- Prise phono (1) en boucle

Connecteurs de sortie RVB/composant

Sortie RVB/composant

- Type BNC (3) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie AUDIO

- Prise phono (1) en boucle

Connecteur de sortie synchronisé en externe

- Type BNC (1) en boucle, avec terminaison automatique à 75 Ω

Sortie haut-parleur intégré

- 0,8 W (monaural)

Signal vidéo

Réponse en fréquence

- 50 Hz à 10 MHz (0 dB/-3 dB)

Correction d'ouverture¹⁾

- NON: 0 dB
- OUI: 2 dB à 6 dB

Performances d'image

Balayage normal

- 7% de sur-balayage sur la surface utile de l'écran cathodique

Sous-balayage

- 5% de sous-balayage sur la surface utile de l'écran cathodique

Sur-balayage

- 20% de sur-balayage sur la surface utile de l'écran cathodique

Linéarité

- PVM-14L2MD
 - H : inférieure à 4%
 - V : inférieure à 4%
- PVM-20L2MD
 - H : inférieure à 5%
 - V : inférieure à 5%

Température de couleur

- D65, D56, D93, sélection UTILISAT (température de couleur réglable : 5000 K à 10000 K)

Erreur de convergence

- PVM-14L2MD
 - Centre : 0,4 mm (1/32 pouces) ou moins
 - Périphérique : 0,5 mm (1/32 pouces) ou moins
- PVM-20L2MD
 - Centre : 0,5 mm (1/32 pouces) ou moins
 - Périphérique : 0,7 mm (1/32 pouces) ou moins

1) L'ouverture ne peut pas être corrigée pour les signaux d'entrée RVB.

Stabilité de trame

H : 1,0%

V : 1,0%

Résolution (au centre de l'écran)

600 lignes TV

Conditions d'utilisation

Température 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)

Humidité 30% à 85% (sans condensation)

Pression 700 hPa à 1060 hPa

Conditions de transport et de stockage

Température -10 °C à 40 °C (14 °F à 104 °F)

Humidité 0% à 90%

Pression 700 hPa à 1060 hPa

Accessoires fournis

Cordon d'alimentation secteur (1)

Monture de fiche CA (1)

Mode d'emploi (1)

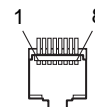
Le PVM-14L2MD/PVM-20L2MD est un moniteur vidéo couleur Trinitron destiné à un usage professionnel.

Classification de l'appareil

- Evalué à EN60601-1, EN60601-1-2, UL2601-1 (Deuxième édition), CSA601.1, 89/336/EEC, 73/23/EEC, 93/42/EEC
- APPAREIL ne convenant pas à une utilisation en présence d'un MELANGE ANESTHESANT INFLAMMABLE ET D'AIR, D'OXYGENE OU DE PROTOXYDE AZOTE

La conception et les spécification sont sujettes à modification sans préavis.

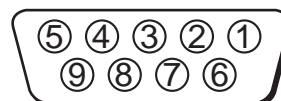
Affectation des broches Borne PARALLEL REMOTE Connecteur modulaire (8 broches)



N° de broche	Fonctions
1	Réglez le signal d'entrée LINE A
2	Réglez le signal d'entrée LINE B
3	Réglez le signal RGB/COMP
4	Réglez le signal OPTION 1
5	GND
6	Allumez ou éteignez le témoin de signalisation
7	Sélectionnez le sous-balayage
8	Sélectionnez le sur-balayage

Vous pouvez attribuer des fonctions à l'aide du menu TELECOMMANDE.

Connecteur RS-232C (D-Sub à 9 broches)



N° de broche	Fonctions
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

Un câblage est requis pour utiliser la télécommande

Raccordez la fonction que vous souhaitez utiliser avec une télécommande à la terre (broche 5).

VORSICHT

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlages zu vermeiden, darf das Gerät weder Regen noch Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Im Inneren des Geräts liegt gefährliche Hochspannung an. Öffnen Sie niemals das Gehäuse, und überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Sollten am Gerät Probleme auftreten oder Wartungsarbeiten erforderlich werden, wenden Sie sich an einen autorisierten Sony-Händler.

ACHTUNG - bei Installation des Geräts in einem Gestell:

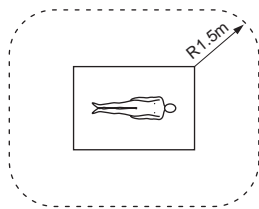
- a) Erhöhte Umgebungstemperatur bei Betrieb**
Wird das Gerät in einem geschlossenen Gestell oder einem Gestell mit mehreren anderen Geräten installiert, kann die Umgebungstemperatur um das Gestell höher sein als die normale Umgebungstemperatur im Raum. Achten Sie daher bitte besonders darauf, das Gerät in einer Umgebung zu installieren, in der die Temperatur nicht über die vom Hersteller angegebene Umgebungstemperatur von 0 °C bis 40 °C ansteigt.
- b) Reduzierte Belüftung**
Das Gerät muß so im Gestell installiert werden, daß eine Belüftung gewährleistet ist, die für den sicheren Betrieb des Geräts erforderlich ist.
- c) Mechanische Belastung**
Das Gerät muß so im Gestell installiert werden, daß nicht durch eine ungleichmäßige mechanische Belastung Unfallgefahr entsteht.
- d) Überlastung der Stromkreise**
Der Anschluß des Geräts an das Versorgungsnetz erfordert sorgfältige Planung. Bitte beachten Sie insbesondere die Auswirkungen, die eine Überlastung der Stromkreise im Hinblick auf den Überspannungsschutz und die physischen Komponenten des Versorgungsnetzes haben kann. Beachten Sie in diesem Zusammenhang unbedingt die Angaben auf dem Typenschild am Gerät.
- e) Zuverlässige Erdung**
Geräte, die in einem Gestell installiert werden, benötigen eine zuverlässige Erdung. Achten Sie insbesondere auf Anschlüsse an das Versorgungsnetz, die nicht direkt an einen Abzweigstromkreis, sondern indirekt, zum Beispiel über Steckerleisten, erfolgen.
- f) Erforderliche Abstände**
Halten Sie zur Ober- und Unterseite eines in einem Gestell installierten Geräts einen Abstand von 44 mm ein.

VORSICHT

Wichtige Sicherheitshinweise für die Verwendung des Geräts in der Medizin

- 1 Alle Geräte, die an dieses Gerät angeschlossen werden, müssen den Normen IEC601-1, IEC950, IEC65 und anderen für die jeweiligen Geräte gültigen IEC/ISO-Normen entsprechen.
- 2 Wenn dieses Gerät zusammen mit anderen Geräten im Patientenbereich* eingesetzt wird, muß es entweder über einen Isoliertransformator mit Strom versorgt oder über einen zusätzlichen Schutzerdungsanschluß gesichert sein, es sei denn, es entspricht den Normen IEC601-1 und IEC601-1-1.

* Für Patienten zugänglicher Bereich



- 3 Der Ableitstrom kann bei einer Verbindung mit anderen Geräten zunehmen.
- 4 Der Anwender muß Maßnahmen treffen, um gleichzeitiges Berühren der Ein- und Ausgangskontakte an der Rückseite des Gerätes und des Patienten zu verhindern.
- 5 Das Modell PVM-14L2MD/PVM-20L2MD ist ein Videomonitor, der zum Einsatz in medizinischer Umgebung zur Darstellung von Videobildern von Kameras oder anderen Videogeräten gedacht ist. Aufgrund der Bestimmungen im Hinblick auf Kriechströme gelten diese Modelle als Geräte, die nicht zur Versorgung von Patienten geeignet sind.

Symbole auf dem Gerät

Symbol	Zu finden	Bedeutung
	Bedienfeld vorn	Hauptnetzschalter. Zum Ein- und Ausschalten des Monitors..
	auf der Rückseite	Equipotentialkontakt, der dafür sorgt, daß alle Gerätemodule dasselbe Potential haben.
	Rückseite	Funktionaler Massepol
	Rückseite	Wechselstrom.
	Rückseite	Achtung, lesen Sie bitte in den beigelegten Dokumenten nach.

Warnhinweis zum Netzanschluß

Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

	USA	Kanada	Kontinentai-europa	Japan
Steckertyp	HOSPITAL GRADE	HOSPITAL GRADE	LP-34A	VM1050
Weibliches Ende	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
Kabeltyp	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
Mindestwert (Kabel)	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
Kabellänge	max. 4,5 m	max. 4,5 m	-	-
Sicherheitszertifizierung	UL	CSA	VDE	DENAN-HO

Inhalt

Sicherheitsmaßnahmen	51
Sicherheit	51
Aufstellung	51
Reinigen der Mattscheibe	51
Reinigung	51
Transport	51
Gestellmontage	51
Merkmale und Funktionen	51
Verbindungen	53
Anschließen des Netzkabels	53
Lage und Funktion der Teile und	
Bedienelemente	53
Bedienfeld	53
Rückseite	55
Auswählen der Sprache für die Menüs	56
Das Menüsystem	57
Einstellen des Geräts über das Menüsystem	58
Die Menüs	58
Festlegen und Ändern von Einstellungen	59
Menü STATUS	59
Menü FARBTEMP.	59
Menü BENUTZER VOREINSTELLEN ...	59
Menü BENUTZERKONFIG. (1/2, 2/2)	60
Menü FERN	60
Menü BENUTZERSERVICE	61
Störungsbehebung	61
Technische Daten	61
Abmessungen	i

Sofern nicht anders angegeben, beziehen sich die Erläuterungen in dieser Anleitung auf die folgenden Modelle.

Wenn es zwischen den Modellen Unterschiede gibt, wird in dieser Anleitung ausdrücklich darauf hingewiesen.

- PVM-14L2MD 14-Zoll-Monitor
- PVM-20L2MD 20-Zoll-Monitor

Wenn nicht anders angegeben, zeigen die Abbildungen das Modell PVM-14L2MD.

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Betreiben Sie das Gerät ausschließlich an einer im Abschnitt "Technische Daten" angegebenen Stromquelle.
- Das Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Lassen Sie nichts auf das Netzkabel fallen und stellen Sie keine schweren Gegenstände darauf. Schalten Sie das Gerät sofort aus, wenn das Netzkabel beschädigt wurde. Es ist gefährlich, das Gerät mit einem beschädigten Netzkabel weiter zu betreiben.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Ziehen Sie immer am Stecker, wenn Sie das Netzkabel lösen möchten, nie am Kabel selbst.
- Die Netzsteckdose muss sich in der Nähe des Geräts befinden und leicht zugänglich sein.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.

Reinigen der Mattscheibe

- Verwenden Sie zum Reinigen der Mattscheibe (Oberfläche der Kathodenstrahlröhre) ein weiches Tuch. Wenn die Mattscheibe durch Fettspuren oder Fingerabdrücke verunreinigt ist, reinigen Sie sie mit einem weichen Tuch, das Sie leicht mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet haben.

- Verwenden Sie keine Scheuermittel, keine alkalischen Seifen und keine starken Lösungsmittel wie Alkohol, Verdüner oder Benzin, da diese die Oberfläche angreifen.
- Reiben Sie nicht mit einem festen Gegenstand über die Mattscheibe und stoßen Sie nicht dagegen.

Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einer milden Reinigungslösung. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Verdüner oder Benzin und keine Scheuermittel, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen. Trennen Sie zur Sicherheit das Gerät vor dem Reinigen von der Stromversorgung.

Transport

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Gestellmontage

Lassen Sie über und unter dem Monitor ein Gestellraster frei, damit eine ausreichende Belüftung gewährleistet ist, oder installieren Sie einen Ventilator, um die Funktionsfähigkeit des Geräts sicherzustellen.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Merkmale und Funktionen

Bild

Trinitron¹⁾-Bildröhre

Bei Trinitron-Bildröhren beträgt die Horizontalauflösung in der Bildmitte über 600 Fernsehzeilen (nur beim PVM-14L2MD/PVM-20L2MD).

Kammfilter

Wenn NTSC-Videosignale eingespeist werden, wird ein Kammfilter aktiviert, um eine bessere Trennung der Y/C-Signale zu erzielen. Dies trägt zu einer geringeren Beeinträchtigung der Auflösung sowie zur Unterdrückung von Farbfeuern und Luminanzübersprechen bei.

1) "Trinitron" ist ein eingetragenes Warenzeichen der Sony Corporation.

Strahlstrom-Rückführschaltung

Die integrierte Strahlstrom-Rückführschaltung gewährleistet einen stabilen Weißwert.

Zwei Farbsysteme werden unterstützt

Mit diesem Monitor können NTSC- und PAL-Signale angezeigt werden. Das Farbsystem des Eingangssignals wird automatisch erkannt.

Eingänge

Analoge RGB-/Farbdifferenzsignaleingänge

Über diese Anschlüsse können analoge RGB- bzw. Farbdifferenzsignale (Y, P_B, P_R) von Videogeräten eingespeist werden. Drücken Sie die Taste RGB/COMPONENT am Bedienfeld des Monitors, um diese Signale anzeigen zu lassen.

Y/C-Eingang (S-Eingang)

Über diesen Anschluss kann ein in ein Luminanz- (Y) und ein Chrominanzsignal (C) getrenntes Videosignal eingespeist werden. Interferenzen zwischen den Signalen werden so vermieden und es lässt sich eine höhere Bildqualität erzielen.

Weitere Eingangsoptionen installierbar

Sie können den Monitor problemlos mit weiteren Eingangsoptionen ausrüsten, indem Sie im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite eine Zusatzkarte (nicht mitgeliefert) installieren. Allerdings kann nur eine Karte zur Erweiterung der Eingangsoptionen installiert werden.

Externer Synchronisationssignaleingang

Wenn im Menü für RGB SYSTEM die Option RGB/EXT ausgewählt ist, arbeitet der Monitor mit einem Synchronisationssignal, das über einen externen Synchronisationsgenerator eingespeist wird.

Näheres dazu finden Sie auf Seite 60.

Automatischer Abschluss (nur bei Anschlüssen mit der Markierung \sim)

Der Eingang ist intern mit 75 Ohm abgeschlossen, sofern nichts an den Ausgang angeschlossen ist. Wenn Sie ein Kabel an den Ausgang anschließen, wird der interne Anschluss automatisch freigeschaltet und die am Eingang eingespeisten Signale werden über den Ausgang ausgegeben (Durchschleifverbindung).

Funktionen

Automatische Einstellung von Chroma/Phase

Chroma und Phase werden automatisch eingestellt.

Overscan-Modus

Das Bild auf dem Bildschirm wird um etwa 20 % vergrößert, so dass der mittlere Bildbereich besser zu sehen ist.

Underscan-Modus

Im Underscan-Modus werden Zeilen, die sich normalerweise außerhalb des sichtbaren Bildbereichs befinden, angezeigt, so dass Sie den gesamten Anzeigebereich sehen können.

Hinweis

Wenn sich der Monitor im Underscan-Modus befindet, sind möglicherweise am oberen Bildschirmrand dunkle RGB-Abtastzeilen zu sehen. Diese gehen auf ein internes Testsignal zurück.

Automatisches/manuelles Entmagnetisieren

Der Monitor wird automatisch entmagnetisiert, wenn das Gerät eingeschaltet wird. Sie können den Monitor auch manuell entmagnetisieren. Drücken Sie dazu die Taste DEGAUSS.

Im Menüsystem können Sie eine Zeit voreinstellen, zu der der Monitor automatisch entmagnetisiert werden soll, nachdem er eine Zeit lang eingeschaltet war.

Bildschirmmenüs

Über die Bildschirmmenüs können Sie die Farbtemperatur, Chroma und weitere Optionen einstellen.

Optionen

Halterung für Montage im 19-Zoll-EIA-Gestell erhältlich

Mit den folgenden Montagehalterungen bzw. Gleitschienen können Sie den Monitor in einem 19-Zoll-EIA-Standardgestell montieren.

Für den PVM-14L2MD: MB-502B (MB-502C in Europa)

Für den PVM-20L2MD: SLR-103A (SLR-103C in Europa)

Erläuterungen zur Gestellmontage des Monitors finden Sie in der Bedienungsanleitung zur Montagehalterung bzw. Gleitschiene.

Verbindungen

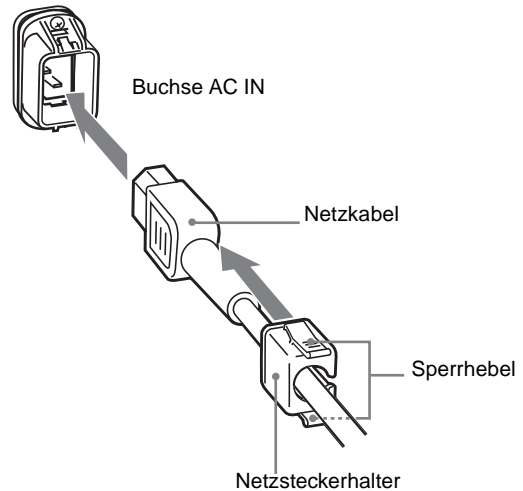
Anschließen des Netzkabels

So schließen Sie das Netzkabel an

Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an und schieben Sie ihn über das Kabel, bis er einrastet.

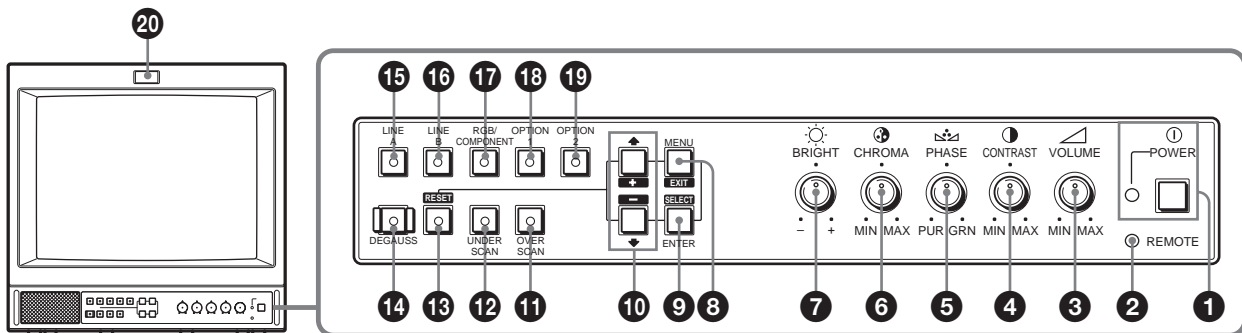
So nehmen Sie das Netzkabel ab

Halten Sie die Sperrhebel gedrückt und ziehen Sie den Netzsteckerhalter heraus.



Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Bedienfeld



1 Schalter und Anzeige POWER ①

Mit diesem Schalter schalten Sie den Monitor ein. Dabei leuchtet die Anzeige auf. Wenn Sie den Schalter erneut drücken, schaltet sich der Monitor aus. Die Anzeige erlischt.

2 Anzeige REMOTE

Diese Anzeige leuchtet in den folgenden Fällen auf:

- Wenn im Menü die Option VOREINSTELLEN auf AUS gesetzt ist.
- Wenn Sie im Bildschirmmenü unter FERN (RS-232C) die Option SER. FERNB auswählen und FERNB EIN oder FERNB+LOKAL eingestellt ist.

3 Regler VOLUME

4 Regler CONTRAST

5 Regler PHASE

Hinweis

Bei einem PAL-, Farbdifferenz- oder RGB-Signal lässt sich die Phase nicht einstellen.

6 Regler CHROMA

7 Regler BRIGHT (Helligkeit)

8 Taste MENU/EXIT

Diese Taste dient zum Aufrufen und Ausblenden der Menüs auf dem Monitor.

9 Taste ENTER/SELECT

Diese Taste dient zum Bestätigen der ausgewählten Option im Menü.

- 10 Taste ↑/+ (zum Verschieben des Cursors nach oben/zum Einstellen eines Werts)
Taste ↓/- (zum Verschieben des Cursors nach unten/zum Einstellen eines Werts)**

Diese Tasten dienen zum Verschieben des Cursors und zum Einstellen des ausgewählten Werts im Menü.

11 Taste und Anzeige OVERSCAN

Mit dieser Taste wechseln Sie in den Overscan-Modus. Dabei wird das Bild auf dem Bildschirm um etwa 20 % vergrößert, so dass der mittlere Bildbereich besser zu sehen ist.

Wenn Sie wieder zur vorherigen Bildgröße schalten wollen, drücken Sie die Taste erneut.

12 Taste und Anzeige UNDERSCAN

Mit dieser Taste wechseln Sie in den Underscan-Modus. In diesem Modus wird die Anzeigegröße des Bildes um etwa 5% verkleinert, so dass das gesamte Bild einschließlich aller vier Bildecken zu sehen ist.

Wenn Sie wieder zur vorherigen Bildgröße schalten wollen, drücken Sie die Taste erneut.

13 Taste und Anzeige RESET

Wenn Sie die Taste RESET drücken, können Sie eine Menüoption, die Sie ausgewählt haben und gerade neu einstellen, auf den vorherigen Wert zurücksetzen.

14 Taste und Anzeige DEGAUSS

Drücken Sie diese Taste nur einmal. Daraufhin wird der Bildschirm entmagnetisiert. Warten Sie mindestens 10 Minuten, bevor Sie diese Taste nochmals drücken.

Hinweis

Die Taste DEGAUSS ist deaktiviert, solange das Bildschirmmenü angezeigt wird.

Wenn Sie den Monitor manuell entmagnetisieren wollen, blenden Sie zunächst mit der Taste MENU/EXIT das Menü aus.

15 Taste und Anzeige LINE A

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den LINE A-Anschlüssen angezeigt werden soll.

16 Taste und Anzeige LINE B

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den LINE B-Anschlüssen angezeigt werden soll.

17 Taste und Anzeige RGB/COMPONENT

Drücken Sie diese Taste, wenn das Signal von den RGB/COMPONENT-Anschlüssen angezeigt werden soll.

18 Taste und Anzeige OPTION 1

Diese Taste wird verwendet, wenn im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors eine Zusatzkarte installiert ist. Drücken Sie diese Taste, wenn das Videosignal von Eingang 1 der Zusatzkarte und das Audiosignal von Eingang OPTION AUDIO INPUT 1 verwendet werden soll.

19 Taste und Anzeige OPTION 2

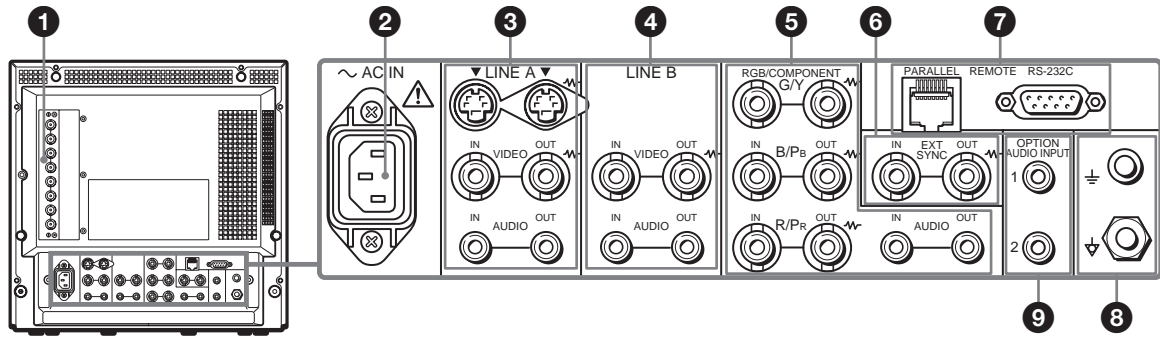
Diese Taste wird verwendet, wenn im Erweiterungssteckplatz an der Rückseite des Monitors eine Zusatzkarte installiert ist. Drücken Sie diese Taste, wenn das Videosignal von Eingang 2 der Zusatzkarte und das Audiosignal von Eingang OPTION AUDIO INPUT 2 verwendet werden soll.

20 Kontrollanzeige

Leuchtet, wenn eine Videokamera an den Monitor angeschlossen ist und ausgewählt wird. Damit die Kontrollanzeige funktioniert, ist eine entsprechende Verdrahtung erforderlich.

Näheres zu dieser Verdrahtung finden Sie auf Seite 63.

Rückseite



1 Erweiterungssteckplatz (OPTION) (BKM-129X)

Wenn Sie eine andere Zusatzkarte installieren wollen, nehmen Sie zunächst die BKM-129X heraus und installieren dann die andere Karte.

Anschlüsse RGB/COMPONENT IN/EXT SYNC (externe Synchronisation) IN/OUT

Dies sind die Ein- und Ausgangsanschlüsse für analoge RGB- oder Farbdifferenzsignale (Y, P_B, P_R). Sie können diese Signale mit der Taste OPTION 1 am Bedienfeld anzeigen lassen. Für den Ton stehen die Anschlüsse OPTION AUDIO INPUT zur Verfügung. Wenn Sie ein externes Synchronisationssignal verwenden, setzen Sie im Menü BENUTZERKONFIG. (1/2) die Option RGB SYSTEM auf RGB/EXT oder KOMP/EXT.

In diesem Erweiterungssteckplatz kann nur eine Zusatzkarte installiert werden. Installieren Sie keine zweite Karte! Andernfalls funktionieren die Karten nicht.

Näheres zum Installieren einer Zusatzkarte finden Sie in der Installationsanleitung zur Zusatzkarte.

2 Buchse AC IN

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und dann an eine Netzsteckdose an.

3 LINE A-Anschlüsse

Line-Eingänge für getrennte Y/C-Signale, FBAS-Signale und Audiosignale sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Drücken Sie die Taste LINE A am Bedienfeld des Monitors, um diese Eingangssignale auszuwählen. Wenn an Y/C IN und VIDEO IN Signale eingehen, wird das an Y/C IN eingespeiste Signal ausgewählt.

Y/C IN/OUT (4-polige DIN-Minibuchsen)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für getrennte Y/C-Signale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Ein-/Ausgängen für getrennte Y/C-Signale an einem Videorecorder, einer Videokamera oder einem anderen Videogerät.

VIDEO IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für FBAS-Signale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Ein-/Ausgängen für FBAS-Signale an einem Videorecorder, einer Videokamera oder einem anderen Videogerät.

AUDIO IN/OUT (Cinchbuchsen)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für Audiosignale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Audio-Ein-/Ausgängen an einem angeschlossenen Gerät, zum Beispiel einem Videorecorder.

4 LINE B-Anschlüsse

Line-Eingänge für FBAS-Signale und Audiosignale sowie entsprechende Durchschleifausgänge. Drücken Sie die Taste LINE B am Bedienfeld des Monitors, um diese Eingangssignale auszuwählen.

VIDEO IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für FBAS-Signale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Ein-/Ausgängen für FBAS-Signale an einem Videorecorder, einer Videokamera oder einem anderen Videogerät.

AUDIO IN/OUT (Cinchbuchsen)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für Audiosignale. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Audio-Ein-/Ausgängen an einem angeschlossenen Gerät, zum Beispiel einem Videorecorder.

5 RGB/COMPONENT-Anschlüsse

Eingänge für analoge RGB-Signale oder Farbdifferenzsignale (Y, P_B, P_R) sowie entsprechende Durchschleifausgänge.

Drücken Sie die Taste RGB/COMPONENT am Bedienfeld des Monitors, um diese Eingangssignale auszuwählen.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Dies sind die Ein-/Ausgänge für analoge RGB-Signale und Farbdifferenzsignale (Y, P_B, P_R). Der Monitor wird über das Synchronisationssignal im G/Y-Signal synchronisiert, es sei denn, ein externes Synchronisationssignal wird eingespeist.

AUDIO IN/OUT (Cinchbuchsen)

Wenn Sie ein analoges RGB-Signal oder ein Farbdifferenzsignal als Videosignal einspeisen, verwenden Sie diese Buchsen als Ein-/Ausgang für ein Audiosignal. Verbinden Sie diese Anschlüsse mit den Audio-Ein-/Ausgängen an einem angeschlossenen Gerät, zum Beispiel einem Videorecorder.

6 EXT SYNC-Anschlüsse (externe Synchronisation)

Wenn Sie ein externes Synchronisationssignal verwenden, wählen Sie auf dem Menübildschirm unter RGB SYSTEM die Einstellung RGB/EXT.

IN/OUT (BNC-Anschlüsse)

Hierbei handelt es sich um die Ein-/Ausgänge für ein externes Synchronisationssignal. Am Anschluss IN können Sie ein Referenzsignal einspeisen, das mit einem Synchronisationsgenerator erzeugt wird. An den Anschluss OUT können Sie den externen Synchronisationssignaleingang eines anderen Geräts anschließen, das mit diesem Monitor synchronisiert werden soll.

7 REMOTE-Anschluss PARALLEL REMOTE (Modularer Anschluss, 8-polig)

Dieser Anschluss stellt einen Parallelschalter dar und dient zum Steuern des Monitors über ein externes Gerät.

Einzelheiten zur Stiftbelegung sowie zu den Funktionen, die den Stiften werkseitig zugewiesen sind, finden Sie auf Seite 63.

RS-232C-Fernsteueranschluss (D-Sub, 9-polig, seriell)

Diesen Anschluss können Sie mit dem RS-232C-Steueranschluss an einem externen Gerät verbinden, das an den Monitor angeschlossen ist. Danach lässt sich der Monitor mithilfe von Steuerbefehlen bedienen, die von dem angeschlossenen externen Gerät gesendet werden.

Erläuterungen dazu finden Sie in der Anleitung zur Schnittstelle für Programmierer.

8 Masseanschluss (⏏/⏚)

Schließen Sie hier ein Massekabel an.

9 Eingänge OPTION AUDIO INPUT 1, 2

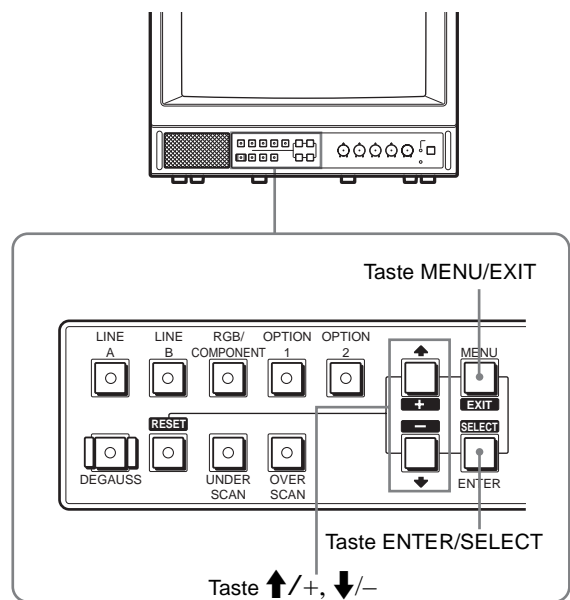
Wenn im Erweiterungssteckplatz eine Zusatzkarte installiert ist, können Sie ein Audiosignal an diesen Anschlüssen einspeisen. Sie können maximal 2 Systeme anschließen. Um die Audiosignale hören zu können, die an OPTION AUDIO INPUT 1 oder 2 eingespeist werden, drücken Sie die Taste OPTION 1 bzw. OPTION 2.

Auswählen der Sprache für die Menüs

Die Menüs und andere Bildschirmanzeigen können Sie in einer von sieben Sprachen (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch, Japanisch, Chinesisch) anzeigen lassen.

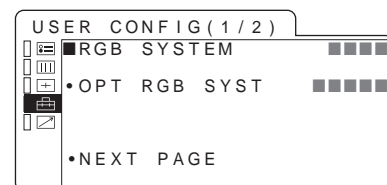
Werkseitig ist ENGLISH (Englisch) eingestellt.

Die Markierungen ■ auf den Menüabbildungen geben an, wo die aktuellen Einstellungen angezeigt werden.

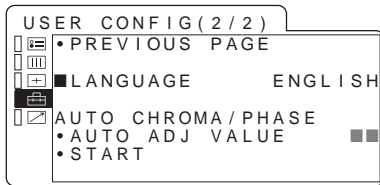


1 Rufen Sie mit MENU/EXIT den Menübildschirm auf, wählen Sie mit ↑/+ oder ↓/- die Option (USER CONFIG) und drücken Sie dann ENTER/SELECT.

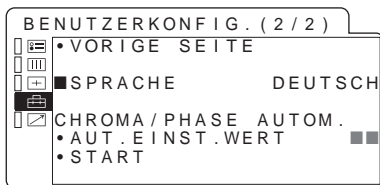
Das Menü USER CONFIG (1/2) wird angezeigt.



- 2 Wenn Sie mit der Taste ↓/- die Option NEXT PAGE auswählen und dann die Taste ENTER/SELECT drücken, wird das Menü USER CONFIG (2/2) angezeigt.
- 3 Wählen Sie mit ↑/+ oder ↓/- die Option "LANGUAGE" aus und drücken Sie dann ENTER/SELECT.
Die ausgewählte Option wird gelb angezeigt.



- 4 Wählen Sie mit der Taste ↑/+ oder ↓/- die gewünschte Sprache aus. Die Bildschirmmeldungen werden daraufhin in der ausgewählten Sprache angezeigt. Drücken Sie dann die Taste ENTER/SELECT, um die Einstellung abzuschließen.



So blenden Sie das Menü aus

Drücken Sie die Taste MENU/EXIT.
Das Menü wird aber auch automatisch ausgeblendet, wenn eine Minute lang keine Taste gedrückt wird.

Das Menüsystem

Der Monitor verfügt über ein Menüsystem für verschiedene Einstell- und Anpassungsoptionen, zum Beispiel die Bildeinstellungen, die Eingangsauswahl, verschiedene Einstellwerte usw.

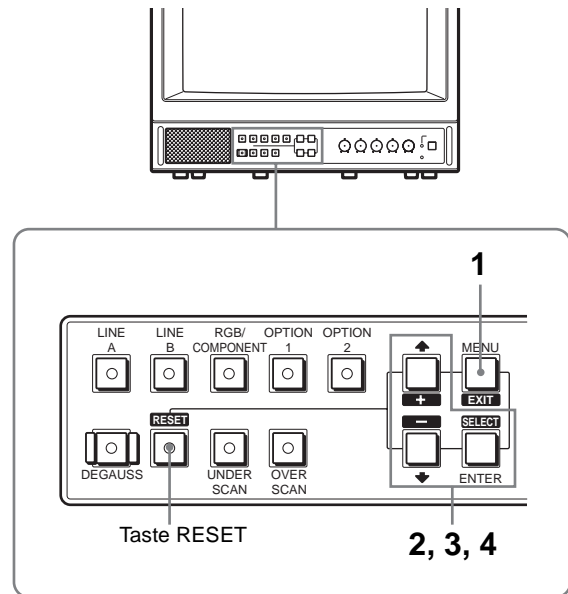
Sie können wie im Folgenden beschrieben Einstellungen vornehmen oder Einstellwerte ändern.

Erläuterungen zu den Menüoptionen finden Sie unter "Einstellen des Geräts über das Menüsystem" auf Seite 58.

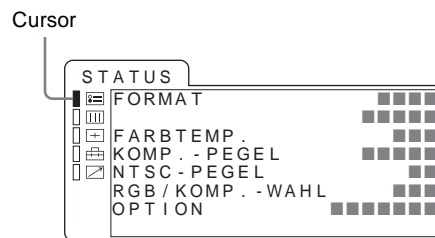
Sie können auch einstellen, in welcher Sprache die Menüs auf dem Bildschirm angezeigt werden.

Erläuterungen zum Ändern der Menüsprache finden Sie unter "Auswählen der Sprache für die Menüs" auf Seite 56.

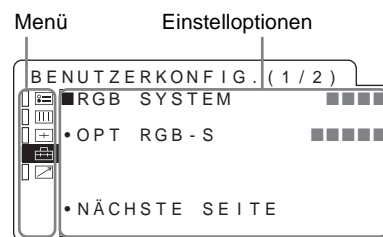
Die Markierungen ■ auf den Menüabbildungen geben an, wo die aktuellen Einstellungen angezeigt werden.



- 1 Drücken Sie die Taste MENU/EXIT.
Das Menü wird angezeigt.
Das momentan ausgewählte Menü wird als gelbe Cursor dargestellt.



- 2 Wählen Sie mit ↑/+ oder ↓/- ein Menü aus und drücken Sie dann ENTER/SELECT.
Das Symbol für das momentan ausgewählte Menü wird gelb angezeigt und die entsprechenden Einstelloptionen sind zu sehen.



- 3 Wählen Sie mit ↑/+ oder ↓/- die gewünschte Option aus und drücken Sie dann ENTER/SELECT.
Die ausgewählte Einstelloption wird gelb angezeigt.

4 Stellen Sie die Optionen wie gewünscht ein.

Wenn Sie den eingestellten Wert ändern wollen:
Zum Erhöhen des Werts drücken Sie die Taste **↑/+**.
Zum Verringern des Werts drücken Sie die Taste **↓/-**.

Zur Bestätigung drücken Sie die Taste **ENTER/SELECT**. Schalten Sie dann zur ursprünglichen Anzeige zurück.

Wenn Sie die Einstellung ändern wollen:
Ändern Sie die Einstellung mit der Taste **↑/+** oder **↓/-**.
Bestätigen Sie die Einstellung mit der Taste **ENTER/SELECT**.

Hinweis

Optionen, die blau angezeigt werden, können nicht verwendet werden. Sie können nur auf solche Optionen zugreifen, die weiß angezeigt werden.

So blenden Sie das Menü aus

Drücken Sie die Taste **MENU/EXIT**.
Das Menü wird aber auch automatisch ausgeblendet, wenn eine Minute lang keine Taste gedrückt wird.

Hinweis zum Speichern der Einstellungen

Die Einstellungen werden automatisch im Monitor gespeichert.

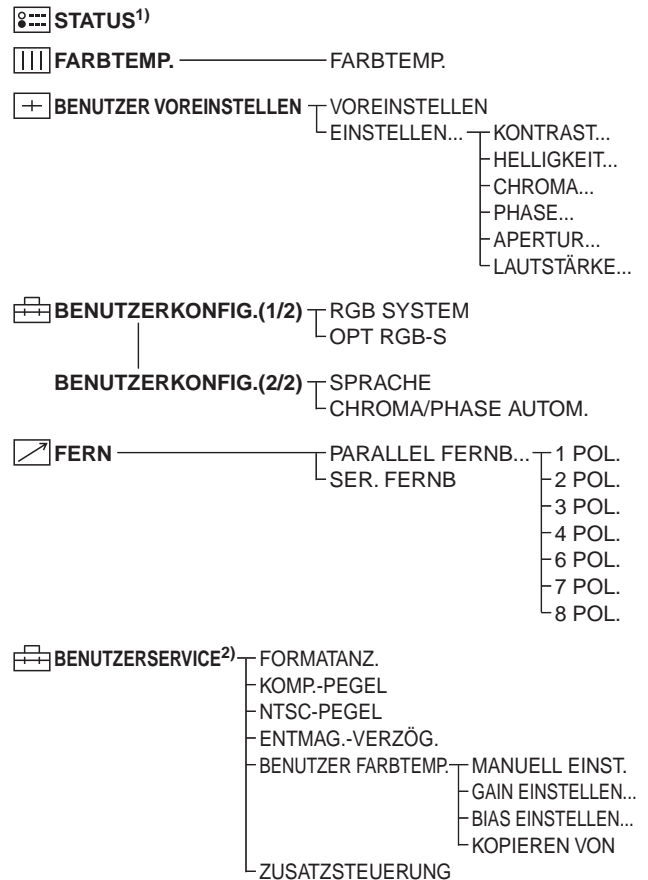
So setzen Sie Optionen während des Einstellens zurück

Drücken Sie die Taste **RESET**, während Sie dabei sind, die Menüoption auszuwählen und neu einzustellen. Dadurch werden alle Änderungen an der Menüoption ignoriert, so dass wieder die vorherige Einstellung gilt.

Einstellen des Geräts über das Menüsystem

Die Menüs

Das Menüsystem dieses Monitors enthält folgende Menüs.



1) Die Optionen im Menü STATUS geben die aktuellen Einstellungen des Monitors an.

2) Erläuterungen zum Zugreifen auf das Menü BENUTZERSERVICE finden Sie auf Seite 61.

Festlegen und Ändern von Einstellungen

Menü STATUS

Im Menü STATUS wird der momentane Status des Monitors angezeigt.

Untermenü	Einstellung
FORMAT	Nur Anzeige
FARBTEMP.	Nur Anzeige
KOMP. -PEGEL	Nur Anzeige
NTSC-PEGEL	Nur Anzeige
RGB/KOMP. -WAHL	Nur Anzeige
OPTION	Nur Anzeige

Menü FARBTEMP.

Auf dem Menü FARBTEMP. können Sie den Weißwert des Bildes einstellen.

Zum Einstellen des Weißwerts benötigen Sie ein entsprechendes Messinstrument.

Untermenü	Einstellung
FARBTEMP.	Wählen Sie für die Farbtemperatur die Einstellung D65, D56, D93 oder BENUTZER. Wenn Sie für die Farbtemperatur die Einstellung BENUTZER wählen, können Sie die Farbtemperatur manuell einstellen. Zum Einstellen der Farbtemperatur benötigen Sie ein entsprechendes Messinstrument.

Hinweise

- Wenn Sie als Farbtemperatur BENUTZER auswählen, können Sie eine beliebige Farbtemperatur zwischen 5000 K und 10000 K einstellen.
- Die Einstellung D65 empfiehlt sich bei Verwendung des Monitors mit einem Endoskop.
- Die Einstellung D56 empfiehlt sich bei Verwendung des Monitors für die Mikroskopie in der Biologie.
- Wenn Sie die Einstellung BENUTZER wählen, nehmen Sie die Farbtemperatureinstellung im Menü BENUTZER FARBTEMP. des Menüs BENUTZERSERVICE vor.

Näheres hierzu finden Sie in den Erläuterungen zum Menü BENUTZERSERVICE auf Seite 61.

Menü BENUTZER VOREINSTELLEN

Auf dem Menü BENUTZER VOREINSTELLEN können Sie die Bildqualität einstellen.

Die Optionen, die je nach Eingangssignal nicht eingestellt werden können, werden blau angezeigt.

Untermenü	Einstellung
VOREINSTELLEN	Wenn Sie diese Option auf EIN setzen, sind alle Bedienelemente am Bedienfeld deaktiviert und die Anzeige REMOTE leuchtet. Die voreingestellten Werte im internen Speicher des Monitors (die werkseitigen Einstellungen) sind aktiviert.
EINSTELLEN...	<ul style="list-style-type: none">• KONTRAST...: Zum Einstellen des Bildkontrasts.• HELLIGKEIT...: Zum Einstellen der Bildhelligkeit.• CHROMA...: Zum Einstellen der Farbintensität. Je höher der Wert, desto stärker die Intensität. Je niedriger der Wert, desto schwächer die Intensität.• PHASE...: Zum Einstellen der Farbtöne. Je höher die Einstellung, desto stärker werden die Grüntöne betont. Je niedriger der Wert, desto stärker werden die Rottöne betont.• APERTUR...: Zum Einstellen der Bildschärfe. Je höher der Wert, desto schärfer die Bildkonturen.• LAUTSTÄRKE...: Zum Einstellen des Tonpegels.

Menü BENUTZERKONFIG. (1/2, 2/2)

Im Menü BENUTZERKONFIG. wählen Sie die Sprache für die Menüanzeigen und Bildschirrmeldungen aus und definieren die Videosignale, die an den RGB/COMPONENT-Anschlüssen eingehen.

Untermenü	Einstellung
RGB SYSTEM (1/2)	Wenn ein über die RGB/COMPONENT-Anschlüsse eingespeistes Signal am Monitor angezeigt wird, wählen Sie je nach Eingangssignal RGB/INT, RGB/EXT, KOMP/INT oder KOMP/EXT.
OPT RGB-S (1/2)	Die Anzeige hängt von der installierten Zusatzkarte ab. Näheres dazu finden Sie in den Erläuterungen zu den Einstellungen für Zusatzkarten.
SPRACHE (2/2)	Für die Menüoptionen und Meldungen können Sie eine der folgenden sieben Sprachen auswählen. [中文]: Chinesisch [ENGLISH]: Englisch [DEUTSCH]: Deutsch [FRANÇAIS]: Französisch [ITALIANO]: Italienisch [ESPAÑOL]: Spanisch [日本語]: Japanisch
CHROMA/PHASE AUTOM. (2/2)	Dient zum Einstellen der Farbintensität (CHROMA) und der Farbtöne (PHASE). <ul style="list-style-type: none">• EIN: Wenn Sie EIN wählen, werden CHROMA und PHASE auf automatische Einstellwerte gesetzt.• AUS: Wenn Sie AUS wählen, werden CHROMA und PHASE auf die werkseitigen Einstellungen gesetzt.

Menü FERN

Untermenü	Einstellung
PARALLEL FERNB...	Im Menü FERN können Sie den Stiften am Anschluss PARALLEL FERNB... Funktionen zuweisen. Sie können die Belegung von Stift 1 bis 4 sowie Stift 6 bis 8 festlegen. Im Folgenden sind die Funktionen, die Sie den Stiften zuweisen können, aufgelistet. <ul style="list-style-type: none">• -- Dem Stift ist keine Funktion zugeordnet.• LINE A• LINE B• RGB/COMP• OPTION 1• OPTION 2• KONTROLLE• VERKLEINERUNG• VERGRÖßERUNG• ENTMAGNET.
Hinweis Wenn Sie die Funktion PARALLEL FERNB... verwenden, müssen Sie entsprechende Kabel anschließen. <i>Erläuterungen dazu finden Sie auf Seite 63.</i>	
SER. FERNB	Wählen Sie einen der folgenden drei Modi. FERNB AUS: Sie können Einstellungen mithilfe der Tasten und der anderen Bedienelemente am Bedienfeld vornehmen. Der RS-232C-Anschluss funktioniert nicht. FERNB EIN: Sie können Einstellungen über den RS-232C-Anschluss vornehmen. Die Tasten und die anderen Bedienelemente am Bedienfeld, mit Ausnahme der Menütasten, funktionieren nicht. FERN+LOKAL Sie können Einstellungen über den RS-232C-Anschluss und die Tasten am Bedienfeld vornehmen. Die anderen Bedienelemente am Bedienfeld funktionieren nicht.

Menü BENUTZERSERVICE

Das Menü BENUTZERSERVICE steht für andere als die oben genannten Einstellungen zur Verfügung. Um das Menü BENUTZERSERVICE aufzurufen, halten Sie bei angezeigtem Menü die Taste MENU/EXIT gedrückt, bis das Menü BENUTZERSERVICE (siehe unten) angezeigt wird.

Untermenü	Einstellung
FORMATANZ.	Legen Sie fest, ob das Format eines Eingangssignals auf dem Bildschirm angezeigt werden soll oder nicht. EIN: Das Format wird immer angezeigt. AUTO: Wenn ein Signal eingespeist wird, wird das Format dieses Signals etwa 10 Sekunden lang angezeigt. AUS: Das Format wird nicht angezeigt.
KOMP. -PEGEL	Wählen Sie den Signalpegel aus den folgenden drei Modi aus. SMPTE: für ein 100/0/100/0-Signal BETA 7.5: für ein 100/7.5/75/7.5-Signal BETA 0: für ein 100/0/75/0-Signal
NTSC-PEGEL	Wählen Sie den NTSC-Pegel aus den folgenden zwei Modi aus. Der Pegel 7.5 wird hauptsächlich in Nordamerika verwendet. Der Pegel 0 wird hauptsächlich in Japan verwendet.
ENTMAG. -VERZÖG.	Stellen Sie für die automatische Entmagnetisierung eine Verzögerungszeit ein. Wenn Sie das Gerät einschalten, beginnt die Entmagnetisierung nach dieser Zeit. Als Verzögerungszeit können Sie einen Wert zwischen 0 und 99 Sekunden einstellen.
BENUTZER FARBTEMP.	Der in diesem Menü eingestellte Wert gilt nur, wenn Sie im Menü FARBTEMP. die Einstellung BENUTZER auswählen. • GAIN EINSTELLEN... : Dient zum Einstellen der Farbbalance (GAIN). • BIAS EINSTELLEN... : Dient zum Einstellen der Farbbalance (BIAS). • KOPIEREN VON: Wenn Sie mit der Taste \uparrow /+ oder \downarrow /– die Einstellung D65, D56 oder D93 wählen, werden die Weißwertdaten der gewählten Farbtemperatur in die Einstellung BENUTZER übernommen.

Untermenü	Einstellung
ZUSATZSTEUERUNG	Sie können die Regler am Bedienfeld feineinstellen. Die Regler CONTRAST, PHASE, CHROMA und BRIGHT weisen in der Mitte des Einstellbereichs eine Klickposition auf. Mithilfe dieser Funktion können Sie die Einstellung für die Klickposition ändern.

Störungsbehebung

Sie können die Ursache eines Problems gegebenenfalls anhand dieses Abschnitts erkennen und beheben, ohne dass Sie sich an den Kundendienst wenden müssen.

- **Das Bild erscheint grün oder rot** → Wählen Sie mit einer der Tasten für die Eingangswahl den richtigen Eingang aus.
- **Das Signal, das an den RGB/COMPONENT-Eingängen eingespeist wird, wird nicht am Bildschirm angezeigt** → Setzen Sie RGB SYSTEM im Menü BENUTZERKONFIG. ordnungsgemäß auf den Typ des Eingangssignals.

Technische Daten

Allgemeines

PVM-14L2MD

Kathodenstrahlröhre: Trinitron, Leuchtmaterial P22
Betriebsspannung: 100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 85 W, 0,9 bis 0,4 A (wenn die gesondert erhältliche Karte BKM-150CP installiert ist)

Standard: 75 W, 0,8 bis 0,35 A (ohne Zusatzkarte)

Spitzenstrom: (1) Einschaltstrom, Stromsonde: 53 A (240 V)

(2) Einschaltstoßstrom, gemessen nach der europäischen Norm EN55103-1: 35 A (230 V)

Abmessungen (max.):

ca. 346 × 340 × 430 mm (B/H/T)

Gewicht: ca. 18,0 kg

PVM-20L2MD

Kathodenstrahlröhre: Trinitron, Leuchtmaterial P22
Betriebsspannung: 100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz

Leistungsaufnahme:

max. 108 W, 1,1 bis 0,5 A (wenn die
gesondert erhältliche Karte BKM-
150CP installiert ist)

Standard: 98 W, 1,0 bis 0,4 A (ohne
Zusatzkarte)

Spitzenstrom: (1) Einschaltstrom, Stromsonde:
53 A (240 V)
(2) Einschaltstoßstrom, gemessen nach
der europäischen Norm EN55103-1:
35 A (230 V)

Abmessungen (max.):
ca. 450 × 457 × 529 mm
(B/H/T)

Gewicht: ca. 33,0 kg

Ein-/Ausgänge

Eingänge

LINE A-Eingänge

Eingang Y/C, 4-polig, Mini-DIN (1)

Eingang VIDEO
BNC-Anschluss (1), 1 Vp-p +3 dB
-6 dB, negative Synchronisation

Eingang AUDIO
Cinchruchse (1), -5 dBu, 47 kΩ oder
mehr

LINE B-Eingänge

Eingang VIDEO
BNC-Anschluss (1), 1 Vp-p +3 dB
-6 dB, negative Synchronisation

Eingang AUDIO
Cinchruchse (1), -5 dBu, 47 kΩ oder
mehr

RGB/COMPONENT-Eingänge

BNC-Anschlüsse (3)

Eingang RGB, 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (Grünsignal
mit Synchronisation, 0,3 Vp-p,
negative Synchronisation)

Eingang COMPONENT
0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (75%
Chrominanz,
Standardfarbbalkensignal)

Eingang AUDIO
Cinchruchse (1), -5 dBu, 47 kΩ oder
mehr

Extern synchronisierter Eingang

BNC-Anschluss (1), 0,3 bis 8 Vp-p
± bipolar ternär oder negativ polar
binär

Optionale AUDIO-Eingänge

Cinchruchsen (2), -5 dBu, 47 kΩ oder
mehr

Fernbedienungseingang

PARALLEL REMOTE
Modularer Anschluss, 8-polig (1)

Ausgänge

LINE A-Ausgänge

Ausgang Y/C, 4-polig, Mini-DIN (1),
Durchschleifanschluss mit
automatischem
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang VIDEO
BNC-Durchschleifanschluss mit
automatischem
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO
Cinch-Durchschleifanschluss (1)

LINE B-Ausgänge

Ausgang VIDEO
BNC-Durchschleifanschluss mit
automatischem
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO
Cinch-Durchschleifanschluss (1)

RGB/COMPONENT-Ausgänge

Ausgang RGB/COMPONENT
BNC-Durchschleifanschluss (3) mit
automatischem
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Ausgang AUDIO
Cinch-Durchschleifanschluss (1)

Extern synchronisierter Ausgang
BNC-Durchschleifanschluss (1) mit
automatischem
Abschlusswiderstand (75 Ω)

Leistungsabgabe des eingebauten Lautsprechers
0,8 W (monaural)

Videosignal

Frequenzgang
50 Hz bis 10 MHz (0 dB/-3 dB)
Aperturkompensation¹⁾
AUS: 0 dB
EIN: 2 dB bis 6 dB

Bildleistung

Normaler Modus 7% Vergrößerung des effektiven
Anzeigebereichs der
Kathodenstrahlröhre

Underscan-Modus 5% Verkleinerung des effektiven
Anzeigebereichs der
Kathodenstrahlröhre

Overscan-Modus 20% Vergrößerung des effektiven
Anzeigebereichs der
Kathodenstrahlröhre

Linearität PVM-14L2MD
H: 4% oder weniger
V: 4% oder weniger
PVM-20L2MD
H: 5% oder weniger
V: 5% oder weniger

1) Bei RGB-Eingangssignalen ist eine Aperturkompensation nicht möglich.

Farbtemperatur

D65, D56, D93, BENUTZER
(einstellbare Farbtemperatur:
5000 K bis 10000 K)

Konvergenzfehler

PVM-14L2MD
Mitte: höchstens 0,4 mm
Randbereich: höchstens 0,5 mm
PVM-20L2MD
Mitte: höchstens 0,5 mm
Randbereich: höchstens 0,7 mm

Rastergrößenstabilität

H: 1,0%
V: 1,0%

Auflösung (Bildschirmmitte)

600 Fernsehzeilen

Betriebsbedingungen

Temperatur 0 °C bis 40 °C
Luftfeuchtigkeit 30% bis 85% (nicht kondensierend)
Luftdruck 700 hPa bis 1060 hPa

Bedingungen bei Lagerung und Transport

Temperatur -10 °C bis 40 °C
Luftfeuchtigkeit 0% bis 90%
Luftdruck 700 hPa bis 1060 hPa

Mitgeliefertes Zubehör

Netzkabel (1)
Netzsteckerhalter (1)
Bedienungsanleitung (1)

Der PVM-14L2MD/PVM-20L2MD ist ein Trinitron-Farbvideomonitor für den professionellen Gebrauch.

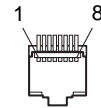
Geräteklassifikation

- Geprüft nach EN60601-1, EN60601-1-2, UL2601-1 (Zweite Ausgabe), CSA601.1, 89/336/EEC, 73/23/EEC, 93/42/EEC
- GERÄT nicht geeignet zur Verwendung bei Vorhandensein von BRENNBAREM, ANÄSTHETISCHEM GEMISCH MIT LUFT oder MIT SAUERSTOFF oder MIT DISTICKSTOFFOXID (LACHGAS).

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

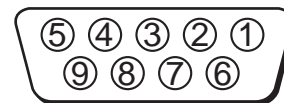
Anschluss PARALLEL REMOTE Modularer Anschluss (8-polig)



Stift Nr.	Funktionen
1	Stellt LINE A als Eingang ein
2	Stellt LINE B als Eingang ein
3	Stellt RGB/COMP als Eingang ein
4	Stellt OPTION 1 als Eingang ein
5	Masse
6	Schaltet die Kontrollanzeige ein oder aus
7	Wählt Verkleinerung (Underscan)
8	Wählt Vergrößerung (Overscan)

Sie können die entsprechenden Funktionen im Menü FERN zuweisen.

Anschlüsse RS-232C (9-polige D-Sub)



Stift Nr.	Funktionen
1	Nicht angeschlossen
2	RX (Empfangen)
3	TX (Senden)
4	Nicht angeschlossen
5	Masse
6	Nicht angeschlossen
7	RTS (Sendeanforderung)
8	CTS (Sendebereitschaft)
9	Nicht angeschlossen

Für die Fernbedienung erforderliche Verdrahtung

Verbinden Sie die Funktion, die über die Fernbedienung zur Verfügung stehen soll, mit der Masse (Stift 5).

ADVERTENCIA

Para evitar incendios o el riesgo de electrocución, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Dentro de la unidad existen altas tensiones peligrosas. No la abra. En caso de avería, solicite los servicios de personal cualificado.

En caso de mal funcionamiento o cuando sea necesario el servicio de mantenimiento, consulte a su proveedor Sony.

ATENCIÓN – cuando se instala el producto en un soporte:

a) Temperatura ambiente de funcionamiento elevada

Si se instala en un conjunto de soportes múltiples o en uno de cerrado, la temperatura ambiente de funcionamiento del entorno del soporte puede ser mayor que la de la habitación en la que se encuentre. Por lo tanto, se debe tener en cuenta e instalar el equipo en un entorno compatible con la temperatura ambiente máxima establecida por el fabricante (Temp: 0°C a 40°C (32°F a 104°F)).

b) Circulación reducida de aire

La instalación del equipo en un soporte debe realizarse de tal modo que la cantidad de aire en circulación cumpla con la requerida para un funcionamiento seguro del equipo.

c) Carga mecánica

El montaje del equipo en un soporte debe realizarse de modo que no se produzcan situaciones de peligro debido a una carga mecánica irregular.

d) Sobrecarga del circuito

Se debe tener en cuenta la conexión del equipo al circuito de alimentación y el efecto que la sobrecarga de circuitos puede tener sobre la protección y los cables de suministro.

Se deben tener en cuenta los índices de la placa del equipo cuando se considere este asunto.

e) Toma de tierra segura

Se debe contar con una toma de tierra segura para el equipo montado en el soporte. Se debe prestar una atención especial a las conexiones de suministro distintas de las conexiones al circuito filial (por ejemplo, la utilización de bases para tomas de alimentación).

f) Márgenes de espacio

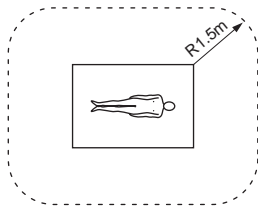
El espacio inferior y superior del equipo montado en un soporte debe ser de 44 mm (1 ³/₄ pulgadas).

ADVERTENCIA

Protecciones de seguridad/advertencias importantes de uso en entornos médicos

- 1 Todos los equipos conectados a esta unidad deben cumplir las normas IEC601-1, IEC950, IEC65 u otras normas IEC/ISO aplicables a los equipos.
- 2 Si esta unidad se utiliza junto con otro equipo en la zona de pacientes*, dicho equipo debe alimentarse con un transformador de aislamiento, o conectarse mediante un terminal de tierra de protección adicional a un sistema de toma de tierra, a no ser que cumpla las normas IEC601-1 y IEC601-1-1.

* Zona de pacientes



- 3 La corriente de fugas podría aumentar si se conecta a otro equipo.
- 4 El operador debe tomar las precauciones pertinentes para evitar tocar la entrada del panel posterior y la circuitería de salida y al paciente al mismo tiempo.
- 5 El modelo PVM-14L2MD/PVM-20L2MD es un monitor de vídeo para uso en centros médicos que muestra imágenes de vídeo de cámaras u otro sistema de vídeo. Estos modelos no son equipos de atención sanitaria hospitalaria en lo que al requisito de corriente de fuga se refiere.

Símbolos de la unidad

Símbolo	Ubicación	Significado
	Panel frontal	Conmutador de alimentación principal. Púlselo para encender o apagar el monitor.
	Panel posterior	Terminal equipotencial. Iguala el voltaje de los distintos componentes de un sistema.
	Panel posterior	Terminal funcional de puesta a tierra.
	Panel posterior	Corriente alterna.
	Panel posterior	Atención, consulte la documentación adjunta.

Aviso sobre la conexión de alimentación

Emplee un cable de alimentación adecuado al suministro local de alimentación

	Estados Unidos	Canadá	Europe continental	Japón
Tipo de enchufe	TIPO PARA HOSPITAL	TIPO PARA HOSPITAL	LP-34A	VM1050
Extremo hembra	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
Tipo de cable	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
Potencia nominal mínima del juego de cables	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
Longitud del cable	Max.4,5 m	Max.4,5 m	-	-
Aprobación de seguridad	UL	CSA	VDE	DENAN-HO

Índice

Precaución	67
Seguridad	67
Instalación	67
Limpieza de la superficie del TRC	67
Limpieza	67
Reembalaje	67
Montaje en un soporte	67
Características	67
Conexiones	69
Conexión del cable de alimentación de CA	69
Localización y funciones de las piezas y los controles	69
Panel de control	69
Panel trasero	71
Selección del idioma del menú	72
Uso del menú	73
Ajuste mediante los menús	74
Elementos	74
Ajuste y cambio de los valores	75
Menú ESTADO	75
Menú TEMP COLOR	75
Menú USUARIO PRESINTONIZAR	75
Menú CONFIG USUARIO (1/2, 2/2)	76
Menú REMOTO	76
Menú SERVICIO AL USUARIO	77
Solución de problemas	77
Especificaciones	77
Dimensiones	i

Las explicaciones proporcionadas en este manual son aplicables a los modelos siguientes si no se indica lo contrario.

Si la explicación difiere entre los modelos, se indicará claramente en este manual.

- PVM-14L2MD (monitor de 14 pulgadas)
- PVM-20L2MD (monitor de 20 pulgadas)

A menos que se indique lo contrario, las ilustraciones del monitor de vídeo corresponden al modelo PVM-14L2MD.

Precaución

Seguridad

- Utilice la unidad sólo con una fuente de alimentación, tal como se indica en la sección “Especificaciones”.
- En el panel trasero de la unidad se encuentra una placa de características que indica la tensión de alimentación, el consumo energético, etc.
- Si cae algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y solicite ayuda a un técnico especializado antes de proseguir con su uso.
- No deje caer el cable de alimentación ni coloque objetos pesados encima del mismo. Si el cable de alimentación se daña, apague la alimentación de inmediato, ya que es peligroso usar la unidad con un cable de alimentación dañado.
- Desconecte la unidad de la toma de pared cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Desconecte el cable de alimentación de la toma de CA agarrando el enchufe, pero sin tirar del cable.
- La toma de corriente debe estar instalada cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Instalación

- Permita que el aire circule adecuadamente para evitar el recalentamiento interno.
No instale la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de telas (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en las proximidades de fuentes de calor, como radiadores o conductos de aire, ni en lugares expuestos a luz solar directa, polvo excesivo, vibraciones mecánicas o golpes.

Limpieza de la superficie del TRC

- Limpie el TRC con un paño suave.
Si el TRC se ensucia con huellas dactilares o grasa, límpielo con un paño suave humedecido con una solución de detergente poco concentrada.
- No utilice líquidos limpiadores abrasivos, jabón alcalino, disolventes fuertes como alcohol, diluyentes o gasolina, ya que podrían dañar la superficie.
- No frote ni golpee la superficie del TRC con un objeto sólido.

Limpieza

Para mantener la unidad como nueva, límpiela periódicamente con una solución de detergente poco concentrada. No utilice nunca disolventes fuertes, como diluyentes o gasolina, ni limpiadores abrasivos, ya que pueden dañar la unidad. Como medida de seguridad, desconecte la unidad antes de limpiarla.

Reembalaje

No tire la caja ni los materiales de embalaje. Son un contenedor ideal para transportar la unidad. Cuando transporte la unidad a otra ubicación, vuélvala a empacar como se ilustra en la caja.

Montaje en un soporte

Deje un espacio de 1U encima y debajo del monitor para garantizar una adecuada circulación del aire o instale un ventilador para conservar su rendimiento.

Si tiene preguntas relacionadas con esta unidad, póngase en contacto con su proveedor autorizado Sony.

Características

Imagen

Tubo de imagen Trinitron¹⁾

El tubo Trinitron proporciona una imagen cuya resolución horizontal es superior a 600 líneas de TV en el centro de la imagen (sólo para los modelos PVM-14L2MD/PVM-20L2MD).

Filtro en peine

Cuando se reciben señales de vídeo NTSC, se activa un filtro en peine que proporciona una separación Y/C más exacta. Esto garantiza una menor disminución de la resolución y una menor presencia de fenómenos de diacromía y de luminancia.

Circuito de retroalimentación automática de corriente de haz

El circuito interno de retroalimentación automática de corriente de haz garantiza un balance de blancos estable.

Dos sistemas de color disponibles

El monitor puede mostrar señales NTSC y PAL. El sistema de color de la señal de entrada se detecta automáticamente.

1) “Trinitron” es una marca comercial registrada de Sony Corporation.

Entrada

Conectores de entrada de componente o RGB analógicas

Las señales de componente (Y, P_B, P_R) o RGB analógicas provenientes de equipos de vídeo pueden recibirse por medio de estos conectores. Pulse el botón RGB/COMPONENT en el panel de control para supervisar la señal.

Conector de entrada Y/C (conector de entrada S)

Puede introducirse una señal de vídeo, dividida en un componente de luminancia (Y) y uno de crominancia (C), mediante este conector para evitar que se generen interferencias entre ambos componentes y garantizar la calidad de la imagen.

Capacidad de entrada ampliable

Es muy fácil ampliar la capacidad de entrada si se instala una placa opcional (no incluida) en la ranura opcional situada en el panel trasero. Sólo se puede instalar una placa cada vez para ampliar la capacidad de entrada.

Entrada de sincronización externa

Al seleccionar el elemento RGB/EXT de SIS. RGB en la pantalla Menú se habilita el monitor para que funcione con una señal de sincronización suministrada desde un generador de sincronización externa.

Si desea obtener más información, consulte la página 76.

Terminación automática (sólo para conectores con la marca)

El conector de entrada se termina internamente con 75 ohmios cuando no hay ningún dispositivo conectado al conector de salida. Si hay un cable conectado al conector de salida, el terminal interno se libera automáticamente y las señales que recibe el conector de entrada se emiten por el conector de salida (derivada).

Funciones

Función de fase cromática automática

El croma y la fase se ajustan automáticamente.

Modo de sobreexploración

El tamaño de la imagen de la pantalla aumenta un 20% para que el centro de la imagen se visualice más fácilmente.

Modo de subexploración

En el modo de subexploración, las líneas que habitualmente se exploran en el área invisible están visibles, de modo que pueda supervisar toda el área de la pantalla.

Nota

Cuando el monitor se encuentra en modo de subexploración, aparecen líneas de exploración RGB oscuras en la parte superior de la pantalla. Éstas tienen su origen en una señal de prueba interna.

Desmagnetización automática/manual

El monitor se desmagnetiza automáticamente cuando se enciende la alimentación. Puede desmagnetizar manualmente el monitor pulsando el botón DEGAUSS. Con el menú puede ajustar una hora para que el monitor se desmagnetice automáticamente después de que la alimentación haya estado activada durante un tiempo.

Menús en pantalla

Puede ajustar la temperatura del color, realizar un ajuste de croma y configurar otros parámetros utilizando los menús en pantalla.

Opciones

Abrazadera de montaje del soporte EIA de 19 pulgadas

El monitor puede montarse en un soporte estándar EIA de 19 pulgadas mediante las abrazaderas de montaje o los rieles deslizables siguientes.

Para el modelo PVM-14L2MD: MB-502B (en Europa, utilice el MB-502C)

Para el modelo PVM-20L2MD: SLR-103A (en Europa, utilice el SLR-103C)

Para obtener más información sobre el montaje del monitor en el soporte, consulte el manual del usuario de la abrazadera de montaje o del raíl deslizable.

Conexiones

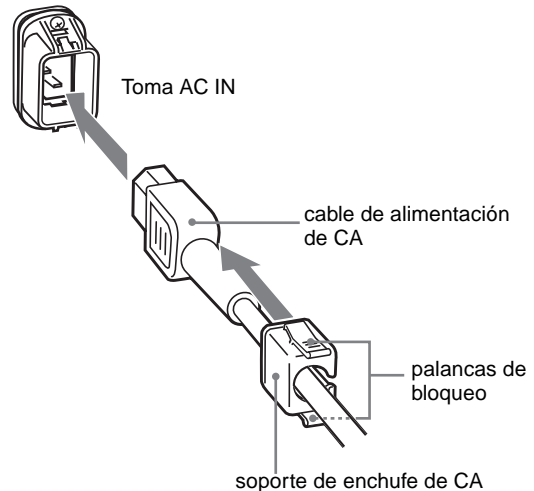
Conexión del cable de alimentación de CA

Para conectar el cable de alimentación de CA

Enchufe el cable de alimentación de CA a la toma AC IN. A continuación, conecte el soporte del enchufe de CA (incluido) al cable de alimentación de CA y deslícelo a lo largo del cable hasta que se bloquee.

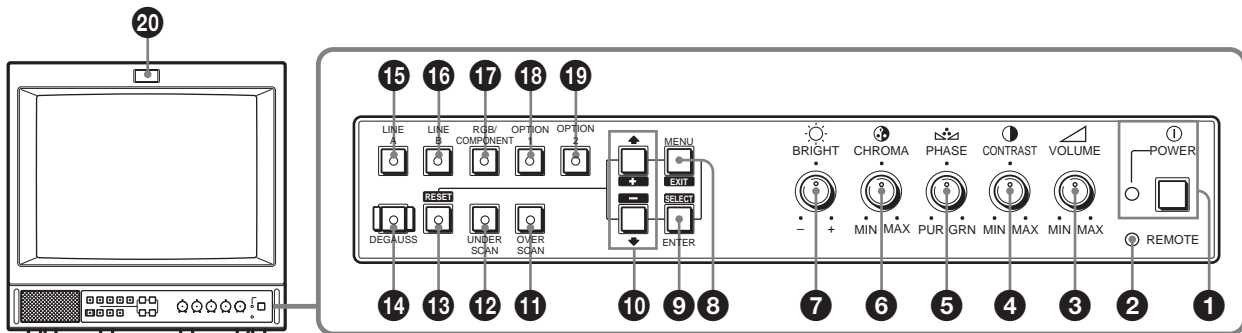
Para retirar el cable de alimentación de CA

Tire del soporte del enchufe de CA al mismo tiempo que pulsa las palancas de bloqueo.



Localización y funciones de las piezas y los controles

Panel de control



1 Interruptor y lámpara POWER ①

Pulse este interruptor para encender el monitor. La lámpara se encenderá. Pulse este interruptor de nuevo para apagar el monitor. La lámpara se apagará.

2 Indicador REMOTE

Este indicador se ilumina en las siguientes situaciones:

- Cuando PRESINTONIZAR está ajustado en ACT. en el menú.
- Si elige SERIE REM. en el menú REMOTO (RS-232C) del menú de pantalla y ha ajustado REMOT.ACT. o REM.Y LOC.

3 Control VOLUME

4 Control CONTRAST

5 Control PHASE

Nota

Si utiliza una señal RGB, de componente o PAL, no podrá ajustar la fase.

6 Control CHROMA

7 Control BRIGHT (brillo)

8 Botón MENU/EXIT

Pulse este botón para mostrar u ocultar los menús en pantalla.

9 Botón ENTER/SELECT

Pulse este botón para confirmar la selección de un elemento en el menú.

10 Botón ↑/+ (mover el cursor hacia arriba/ajustar el valor)

Botón ↓/- (mover el cursor hacia abajo/ajustar el valor)

Pulse estos botones para mover el cursor o para ajustar un elemento seleccionado en el menú.

11 Botón y lámpara OVERSCAN

Pulse este botón para cambiar al modo de sobreexploración. El tamaño de visualización aumenta un 20% aproximadamente, de modo que el área central de la pantalla es más fácil de visualizar.

Para volver al tamaño original de visualización, pulse este botón otra vez.

12 Botón y lámpara UNDERSCAN

Pulse este botón para la subexploración. El tamaño de la visualización se reducirá aproximadamente en un 5%, por lo que serán visibles las cuatro esquinas de la imagen.

Para volver al tamaño original de visualización, pulse este botón otra vez.

13 Botón y lámpara RESET

Puede restablecer el ajuste anterior del elemento del menú si pulsa el botón RESET mientras selecciona y ajusta el nuevo elemento.

14 Botón y lámpara DEGAUSS

Pulse este botón sólo una vez. La pantalla se desmagnetizará. Espere como mínimo 10 minutos antes de volver a emplear este botón.

Nota

El botón DEGAUSS está desactivado mientras se muestra el menú en pantalla.

Para desmagnetizar manualmente el monitor, salga del menú de pantalla pulsando el botón MENU/EXIT.

15 Botón y lámpara LINE A

Pulse este botón para controlar la señal que se recibe a través de los conectores LINE A.

16 Botón y lámpara LINE B

Pulse este botón para controlar la señal que se recibe a través de los conectores LINE B.

17 Botón y lámpara RGB/COMPONENT

Pulse este botón para controlar la señal que se recibe a través de los conectores RGB/COMPONENT.

18 Botón y lámpara OPTION 1

Este botón funciona cuando se ha instalado una placa opcional en la ranura opcional del panel trasero. Pulse este botón para controlar la señal de vídeo que se recibe a través de la entrada 1 de la placa opcional y la señal de audio que se recibe a través de la toma OPTION AUDIO INPUT 1.

19 Botón y lámpara OPTION 2

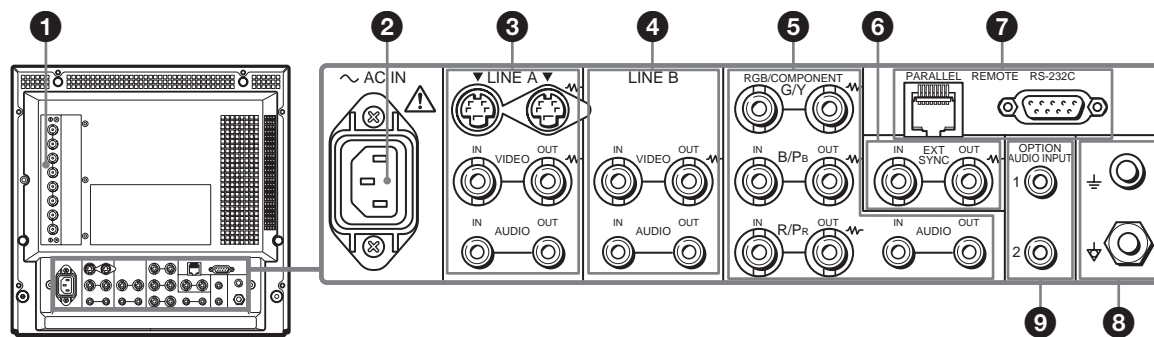
Este botón funciona cuando se ha instalado una placa opcional en la ranura opcional del panel trasero. Púlselo para controlar la señal de vídeo que se recibe a través de la entrada 2 de la placa opcional y la señal de audio que se recibe a través de la toma OPTION AUDIO INPUT 2.

20 Lámpara indicadora

Se enciende cuando se selecciona una videocámara conectada a este monitor. Para que la lámpara indicadora funcione correctamente, se requiere un cableado determinado.

Para obtener más detalles sobre este cableado, consulte la página 79.

Panel trasero



1 Ranura OPTION (opcional) (BKM-129X)

Si instala otra placa opcional, retire la BKM-129X y, a continuación, insértela de nuevo.

Conectores RGB/COMPONENT IN/conectores EXT SYNC (sincronización externa) IN/OUT

Son los conectores de salida y entrada para señales RGB analógicas o de componente (Y, P_B, P_R). Puede controlarlos utilizando el botón OPTION 1 en el panel de control. Para el audio, utilice los conectores OPTION AUDIO INPUT. Cuando utilice una señal de sincronización externa, ajuste RGB/EXT o COMP/EXT de SIS. RGB en el menú CONFIG USUARIO (1/2). Puede instalar una placa opcional en esta ranura. Si instala dos placas, éstas no funcionarán.

Para obtener más detalles sobre cómo instalar una placa, consulta el manual de instalación suministrado con la placa opcional.

2 Toma AC IN

Conecte el cable de alimentación de CA incluido a esta toma y, a continuación, a una toma de pared.

3 Conectores LINE A

Conectores de entrada de línea para señales Y/C separadas, de audio y vídeo compuestas y sus conectores de salida derivada.

Pulse el botón LINE A en el panel de control para supervisar la señal de entrada por estos conectores. Si envía señales tanto a Y/C IN como a VIDEO IN, se selecciona la señal enviada a Y/C IN.

Y/C IN/OUT (Mini DIN de 4 pines)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de Y/C separada. Conéctelos a los conectores de entrada y salida de Y/C separada de equipos como una videogradora, una videocámara u otro monitor.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de vídeo compuesto. Conéctelos a los conectores de entrada y salida de vídeo compuesto de equipos como una videogradora, una videocámara u otro monitor.

AUDIO IN/OUT (toma fonográfica)

Son las tomas de entrada y salida para una señal de audio. Conéctelas a las tomas de entrada y salida de audio de equipos como una videogradora.

4 Conectores LINE B

Conectores de entrada de línea para señales de audio y vídeo compuesto y sus conectores de salida derivada. Pulse el botón LINE B en el panel de control para supervisar la señal que se recibe a través de estos conectores.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de vídeo compuesto. Conéctelos a los conectores de entrada y salida de vídeo compuesto de equipos como una videogradora, una videocámara u otro monitor.

AUDIO IN/OUT (toma fonográfica)

Son las tomas de entrada y salida para una señal de audio. Conéctelas a las tomas de entrada y salida de audio de equipos como una videogradora.

5 Conectores RGB/COMPONENT

Son los conectores de entrada de señal RGB analógica o de componente (Y, P_B, P_R) y sus conectores de salida derivada.

Pulse el botón RGB/COMPONENT en el panel de control para supervisar la señal que se recibe a través de estos conectores.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal RGB analógica y de componente (Y, P_B, P_R). A menos que reciba una señal de sincronización externa, el monitor se sincroniza con la señal de sincronización contenida en la señal G/Y.

AUDIO IN/OUT (toma fonográfica)

Al usar una señal RGB analógica o de componente como señal de vídeo, use estas tomas para la entrada o salida de una señal de audio. Conéctelas a las tomas de entrada y salida de audio de equipos como una videogradora.

6 Conectores EXT SYNC (sincronización externa)

Para utilizar una señal de sincronización externa, seleccione RGB/EXT en SIS. RGB de la pantalla Menú.

IN/OUT (BNC)

Son los conectores de entrada y salida para una señal de sincronización externa. Envíe una señal de referencia producida por un generador de sincronización al conector IN. Conecte el conector OUT a una entrada de señal de sincronización externa del equipo que desea sincronizar con este monitor.

7 Terminal REMOTE

PARALLEL REMOTE (conector modular de 8 pines)

Forma un interruptor paralelo y controla el monitor externamente.

Para obtener más información sobre la asignación de pines y la función configurada de fábrica de cada pin, consulte la página 79.

Conector RS-232C (remoto serie) (D-Sub de 9 pines)

Se conecta al conector de control RS-232C en un equipo externo conectado al monitor. El monitor podrá utilizarse según los comandos de control enviados desde un equipo externo conectado al mismo.

Para obtener más detalles, consulte el Interface Manual for Programmers (Manual de la interfaz para programadores).

8 Terminal de tierra (⏏/⏚)

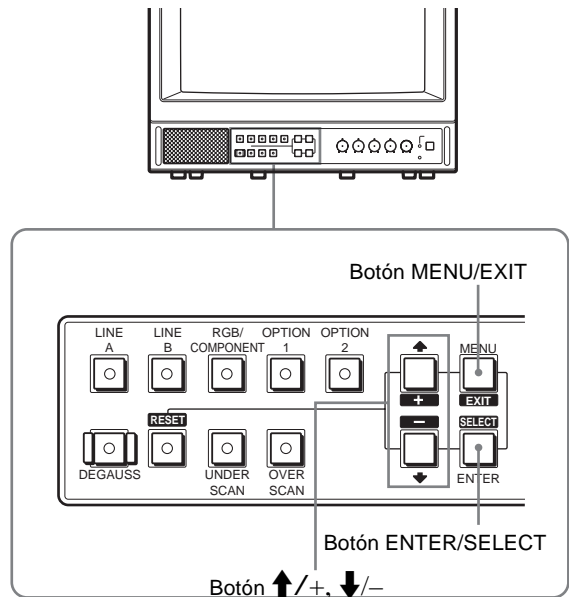
Conecte un cable GND.

9 Conectores de entrada OPTION AUDIO INPUT 1, 2

Si se ha instalado una placa opcional en la ranura opcional, envíe una señal de audio a estos conectores. Puede conectar hasta 2 sistemas. Para controlar las señales de audio que se reciben a través de OPTION AUDIO INPUT 1 ó 2, pulse el botón OPTION 1 o el OPTION 2.

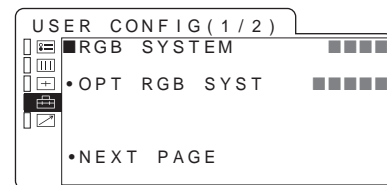
Selección del idioma del menú

Puede seleccionar uno de siete idiomas (inglés, alemán, francés, italiano, español, japonés o chino) para visualizar los menús y otros mensajes en pantalla. El idioma predeterminado de fábrica es ENGLISH (inglés).

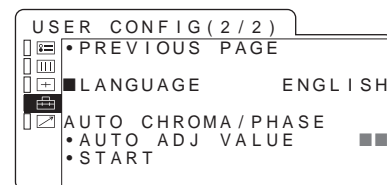


Los ajustes actuales aparecen en el área indicada mediante las marcas ■ en las ilustraciones de la pantalla del menú.

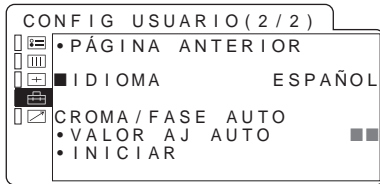
- 1 Pulse el botón MENU/EXIT para mostrar la pantalla del menú y pulse los botones ↑/+ o ↓/- para seleccionar (USER CONFIG). A continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. Aparecerá el menú USER CONFIG (1/2).



- 2 Si tras pulsar el botón ↓/- para seleccionar NEXT PAGE, se pulsa el botón ENTER/SELECT, aparecerá USER CONFIG (2/2).
- 3 Pulse los botones ↑/+ o ↓/- para seleccionar "LANGUAGE" y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El elemento seleccionado se visualiza en amarillo.



- 4 Pulse el botón ↑/+ o ↓/- para seleccionar el idioma deseado. El idioma en pantalla cambia al idioma que ha seleccionado. A continuación, pulse el botón ENTER/SELECT para finalizar el ajuste.



Para que el menú desaparezca

Pulse el botón MENU/EXIT.

El menú desaparecerá automáticamente si no pulsa ningún botón durante un minuto.

Uso del menú

El monitor está equipado con un menú en pantalla para realizar varios ajustes y configuraciones, como el control de imagen, la configuración de entrada y cambios de configuración, etc.

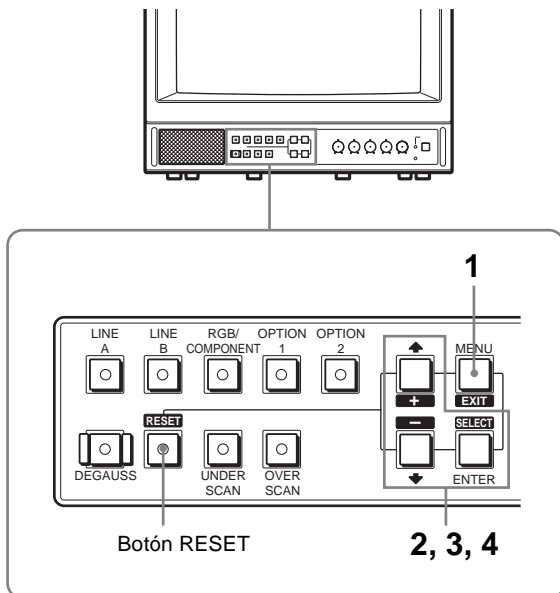
Siga las instrucciones que aparecen abajo para realizar ajustes o cambiar la configuración.

Para obtener más información sobre los elementos del menú, consulte "Ajuste mediante los menús" en la página 74.

También puede cambiar el idioma del menú en pantalla.

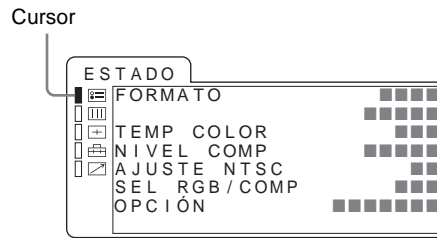
Para cambiar el idioma del menú, consulte "Selección del idioma del menú" en la página 72.

Los ajustes actuales aparecen en el área indicada mediante las marcas ■ en las ilustraciones de la pantalla del menú.

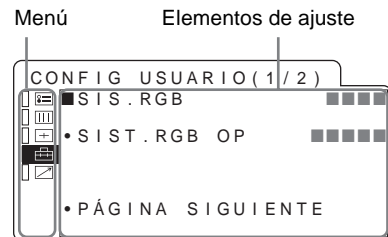


- 1 Pulse el botón MENU/EXIT. Aparecerá el menú.

El menú actualmente seleccionado se indica con un cursor amarillo.



- 2 Pulse el botón ↑/+ o ↓/- para seleccionar un menú y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El icono del menú seleccionado se visualizará en color amarillo y se mostrarán los elementos de ajuste.



- 3 Use los botones ↑/+ o ↓/- para seleccionar el elemento deseado y, a continuación, pulse el botón ENTER/SELECT. El elemento que se debe cambiar se muestra en amarillo.
- 4 Realice los ajustes en el elemento.

Al cambiar el nivel de ajuste:

Para aumentar el número, pulse el botón ↑/+.

Para disminuir el número, pulse el botón ↓/-.

Pulse el botón ENTER/SELECT para confirmar el número y, a continuación, restaure la pantalla original.

Al cambiar el ajuste:

Pulse el botón ↑/+ o ↓/- para cambiar el ajuste.

Pulse el botón ENTER/SELECT para confirmar el ajuste.

Nota

No se puede acceder a los elementos que se muestran en azul. Puede acceder al elemento si aparece en color blanco.

Para que el menú desaparezca

Pulse el botón MENU/EXIT.

El menú desaparecerá automáticamente si no pulsa ningún botón durante un minuto.

Conservar los ajustes

Los ajustes se almacenan automáticamente en la memoria del monitor.

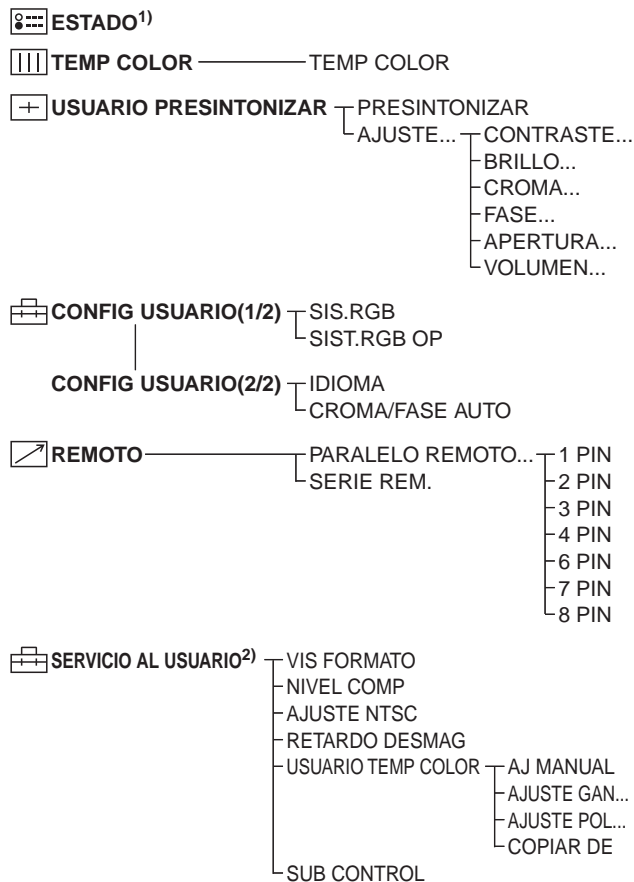
Para restaurar los elementos que está ajustando

Pulse el botón RESET mientras selecciona y ajusta el nuevo elemento del menú. Se ignorará cualquier cambio que se haya realizado en el ajuste del nuevo elemento y se restablecerá el anterior.

Ajuste mediante los menús

Elementos

El menú en pantalla de este monitor consta de los elementos siguientes.



1) Los elementos del menú ESTADO indican los ajustes vigentes.

2) Para obtener más información sobre cómo acceder al menú SERVICIO AL USUARIO, consulte la página 77.

Ajuste y cambio de los valores

Menú ESTADO

El menú ESTADO se utiliza para mostrar el estado actual del monitor.

Submenú	Ajuste
FORMATO	Sólo mostrar
TEMP COLOR	Sólo mostrar
NIVEL COMP	Sólo mostrar
AJUSTE NTSC	Sólo mostrar
SEL RGB/COMP	Sólo mostrar
OPCIÓN	Sólo mostrar

Menú TEMP COLOR

El menú TEMP COLOR se utiliza para ajustar el balance de blancos de la imagen.

Para ajustar el balance de blancos deberá utilizar un instrumento de medición.

Submenú	Ajuste
TEMP COLOR	Seleccione la temperatura de color entre D65, D56, D93 y el ajuste de USUARIO. Si selecciona una temperatura de color con USUARIO, podrá ajustarla. (Para ajustar la temperatura de color se requiere un instrumento de medición.)

Notas

- La temperatura de color ajustada con USUARIO puede incluir un rango entre 5.000 K y 10.000 K.
- Para utilizar el monitor con un endoscopio necesitará realizar un ajuste de D65.
- Para utilizar el monitor con un microscopio biológico necesitará realizar un ajuste de D56.
- Puede ajustar un valor con USUARIO en el menú USUARIO TEMP COLOR del menú SERVICIO AL USUARIO.

Para obtener más información, consulte el menú SERVICIO AL USUARIO de la página 77.

Menú USUARIO PRESINTONIZAR

El menú USUARIO PRESINTONIZAR se usa para ajustar la imagen.

Los elementos que no se pueden ajustar dependiendo de la señal de entrada se visualizan en azul.

Submenú	Ajuste
PRESINTONIZAR	Cuando ajuste esta opción en ACT., todos los controles del panel de control se desactivarán (el indicador REMOTE se ilumina) y los valores predeterminados de la memoria interna del monitor (los valores de fábrica) se activarán.
AJUSTE...	<ul style="list-style-type: none">• CONTRASTE...: Ajusta el contraste de la imagen.• BRILLO...: Ajusta el brillo de la imagen.• CROMA...: Ajusta la intensidad del color. Cuanto mayor sea el valor, mayor será la intensidad. Cuanto menor sea el ajuste, menor será la intensidad.• FASE...: Ajusta los tonos de color. Cuanto mayor sea el ajuste, la imagen adquirirá un tono más verdoso. Cuanto menor sea el ajuste, la imagen adquirirá un tono más morado.• APERTURA...: Ajusta la nitidez de la imagen. Cuanto mayor sea el ajuste, mayor será la nitidez de la imagen.• VOLUMEN: Ajuste el nivel de audio.

Menú CONFIG USUARIO (1/2, 2/2)

El menú CONFIG USUARIO se emplea para seleccionar un idioma para los menús y los mensajes en pantalla o para determinar el tipo de señal de vídeo aceptable en los conectores RGB/COMPONENT.

Submenú	Ajuste
SIS. RGB (1/2)	Cuando se controla una entrada de señal a través del conector RGB/COMPONENT, basado en la señal que se recibe, seleccione RGB/INT, RGB/EXT, COMP/INT o COMP/EXT.
SIST. RGB OP (1/2)	La pantalla varía en función de la placa opcional instalada. Para obtener más información, consulte los ajustes de opciones.
IDIOMA (2/2)	El idioma que se debe utilizar para visualizar los mensajes y los elementos del menú se puede seleccionar de entre las siguientes siete opciones. [中文]: Chino [ENGLISH]: Inglés [DEUTSCH]: Alemán [FRANÇAIS]: Francés [ITALIANO]: Italiano [ESPAÑOL]: Español [日本語]: Japonés
CROMA/FASE AUTO (2/2)	Ajusta la intensidad de color (CROMA) y los tonos (FASE). <ul style="list-style-type: none">• ACT.: Cuando ajuste las opciones CROMA y FASE en ACT., éstas se ajustarán en los valores de ajuste automático.• DESACT: Cuando ajuste las opciones CROMA y FASE en DESACT, éstas se ajustarán en los valores de fábrica.

Menú REMOTO

Submenú	Ajuste
PARALELO REMOTO...	El menú REMOTO se emplea para asignar las funciones a los pines del terminal PARALELO REMOTO.... Se pueden usar los pines 1 a 4 y 6 a 8. A continuación se indican las funciones que puede asignar a los pines <ul style="list-style-type: none">• -- (No se ha asignado ninguna función.)• LINE A• LINE B• RGB/COMP• OPTION 1• OPTION 2• INDICADOR• SUBEXPLO• SOBREEXPLO• DESMAGNET
Nota	
Si utiliza la función PARALELO REMOTO..., deberá conectar los cables. <i>Para obtener más información, consulte la página 79.</i>	
SERIE REM.	Seleccione uno de los tres modos siguientes. REMOT. DES.: Puede configurar los ajustes y controles con los botones y controles del panel de control. El conector RS-232C no funciona. REMOT. ACT.: Puede configurar los ajustes y controles mediante el conector RS-232C. Los botones y controles del panel de control, excepto aquellos que permiten el funcionamiento del menú, no funcionan. REM. Y LOC.: Puede configurar los ajustes y controles mediante el conector RS-232C y los botones del panel de control. Los controles del panel de control no funcionan.

Menú SERVICIO AL USUARIO

El menú SERVICIO AL USUARIO se utiliza para cualquier ajuste o configuración, excepto los enumerados anteriormente.

Para acceder al menú SERVICIO AL USUARIO, mantenga pulsado el botón MENU/EXIT hasta que aparezca el menú SERVICIO AL USUARIO.

Submenú	Ajuste
VIS FORMATO	Determina si el formato de una señal de entrada se muestra o no en la pantalla. ACT.: Siempre se muestra el formato. AUTO: El formato se muestra durante aproximadamente 10 segundos cuando comienza la recepción de la señal. DESACT: Siempre se oculta el formato.
NIVEL COMP	Seleccione el nivel de componente de entre los tres modos. SMPTE: Señal 100/0/100/0 BETA 7.5: Señal 100/7.5/75/7.5 BETA 0: Señal 100/0/75/0
AJUSTE NTSC	Seleccione el nivel de ajuste NTSC de entre dos modos. El nivel de configuración 7.5 se usa principalmente en América del Norte. El nivel de configuración 0 se usa principalmente en Japón.
RETARDO DESMAG	Ajusta el tiempo para que la desmagnetización automática empiece a funcionar una vez que se encienda la alimentación. Este tiempo puede fijarse entre 0 y 99 segundos.
USUARIO TEMP COLOR	El valor de ajuste de este menú sólo funciona cuando se ha seleccionado USUARIO en el menú TEMP COLOR. <ul style="list-style-type: none">• AJUSTE GAN...: Ajusta el balance de color (GANANCIA).• AJUSTE POL...: Ajusta el balance de color (POL).• COPIAR DE: Si selecciona D65, D56 o D93 con el botón \uparrow/+ o \downarrow/-, los datos del balance de blancos correspondientes a la temperatura de color se copiarán en USUARIO.
SUB CONTROL	Puede ajustar con precisión los controles del panel frontal. Los controles de CONTRAST, PHASE, CHROMA y BRIGHT presentan una marca en el centro del rango de ajuste. Con esta función podrá ajustar la posición de la marca.

Solución de problemas

Este apartado le puede ayudar a averiguar el motivo de un problema para evitar tener que solicitar asistencia técnica.

- **La pantalla es de color verde o púrpura** → Seleccione la entrada correcta pulsando uno de los botones relacionados con la entrada.
- **La señal que se recibe a través de los conectores de entrada RGB/COMPONENT no aparece en la pantalla** → Ajuste correctamente SIS. RGB en el menú CONFIG USUARIO según el tipo de señal de entrada.

Especificaciones

Generales

PVM-14L2MD

TRC: Trinitron, material luminiscente P22

Alimentación: CA de 100 a 240 V, 50/60 Hz.

Consumo de energía:

Máximo de 85 W. De 0,9 a 0,4 A
(cuando se ha instalado la placa
opcional BKM-150CP)

Estándar: 75 W. De 0,8 a 0,35 A (sin
placa opcional)

Corriente de irrupción pico:

(1) Alimentación activada, método de
sondeo de corriente: 53 A (240 V)

(2) Corriente de irrupción de
conmutación en caliente, medida de
acuerdo con el estándar europeo
EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensiones (máx.):

Aprox. 346 × 340 × 430 mm
(13 ⁵/₈ × 13 ¹/₂ × 17 pulgadas)
(an/al/prf)

Peso:

Aprox. 18,0 kg (39 lb. 11 oz.)

PVM-20L2MD

TRC: Trinitron, material luminiscente P22

Alimentación: CA de 100 a 240 V, 50/60 Hz.

Consumo de energía:

Máximo de 108 W. De 1,1 a 0,5 A
(cuando se ha instalado la placa
opcional BKM-150CP)

Estándar: 98 W. De 1,0 a 0,4 A (sin
placa opcional)

Corriente de irrupción pico:

(1) Alimentación activada, método de
sondeo de corriente: 53 A (240 V)

(2) Corriente de irrupción de conmutación en caliente, medida de acuerdo con el estándar europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensiones (máx.):

Aprox. 450 × 457 × 529 mm
(17 ³/₄ × 18 × 20 ⁷/₈ pulgadas)
(an/al/prf)

Peso: Aprox. 33,0 kg (72 lb. 12 oz.)

Conectores de entrada/salida

Entrada

Conectores de entrada LINE A

Entrada Y/C mini DIN (1) de 4 pines

Entrada VIDEO

Tipo BNC (1) sincronización negativa
1 Vp-p +3 dB -6 dB

Entrada AUDIO

Toma fonográfica (1) -5 dBu 47 kΩo superior

Conectores de entrada LINE B

Entrada VIDEO

Tipo BNC (1) sincronización negativa
1 Vp-p +3 dB -6 dB

Entrada AUDIO

Toma fonográfica (1) -5 dBu 47 kΩo superior

Conectores de entrada RGB/componente

Tipo BNC (3)

Entrada RGB 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (sinc. en verde, sinc. negativa de 0,3 Vp-p)

Entrada de componente

0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (señal de barras de color estándar con 75% de crominancia)

Entrada AUDIO

Toma fonográfica (1) -5 dBu 47 kΩo superior

Conector de entrada sincronizada externamente

Tipo BNC (1) 0,3 a 8 Vp-p
bipolaridad ternaria ± o polaridad binaria negativa

Tomas de entrada AUDIO opcionales

Toma fonográfica (2) -5 dBu 47 kΩo superior

Terminal de entrada remota

Remota paralela

Conector modular de 8 pines (1)

Salida

Conectores de salida LINE A

Salida Y/C mini DIN de cuatro pines (1) derivada con función de terminal automática de 75 Ω

Salida VIDEO

Tipo BNC (1) derivada con función de terminal automática de 75 Ω

Salida AUDIO

Toma fonográfica (1) derivada

Conectores de salida LINE B

Salida VIDEO

Tipo BNC (1) derivada con función de terminal automática de 75 Ω

Salida AUDIO

Toma fonográfica (1) derivada

Conectores de salida de RGB/componente

Salida de RGB/componente

Tipo BNC (3) derivada con función de terminal automática de 75 Ω

Salida AUDIO

Toma fonográfica (1) derivada

Conector de salida sincronizada externamente

Tipo BNC (1) derivada con función de terminal automática de 75 Ω

Salida de altavoz incorporado

0,8 W (monoaural)

Señal de vídeo

Frecuencia de respuesta

50 Hz a 10 MHz (0 dB/-3 dB)

Compensación de apertura¹⁾

DESACT: 0 dB

ACT.: 2 dB a 6 dB

Rendimiento de la imagen

Exploración normal

7% de sobreexploración del área de pantalla efectiva del TRC

Subexploración 5% de subexploración del área de pantalla efectiva del TRC

Sobreexploración

20% de sobreexploración del área de pantalla efectiva del TRC

Linealidad

PVM-14L2MD

H: 4% o menos

V: 4% o menos

PVM-20L2MD

H: 5% o menos

V: 5% o menos

Temperatura de color

D65, D56, D93, USUARIO

(Temperatura de color ajustable:

5000 K y 10000 K)

Error de convergencia

PVM-14L2MD

Central: 0,4 mm (1/32 pulgadas) o menos

Periférico: 0,5 mm (1/32 pulgadas) o menos

1) La abertura no se puede compensar para las señales de entrada RGB.

PVM-20L2MD

Central: 0,5 mm (1/32 pulgadas) o menos
Periférico: 0,7 mm (1/32 pulgadas) o menos

Estabilidad del tamaño de trama

H: 1,0%

V: 1,0%

Resolución (en el centro de la pantalla)

600 líneas de TV

Condiciones de funcionamiento

Temperatura 0 °C a 40 °C (32 °F a 104 °F)

Humedad 30% a 85% (sin condensación)

Presión 700 hPa a 1060 hPa

Condiciones de almacenamiento y transporte

Temperatura -10 °C a 40 °C (14 °F a 104 °F)

Humedad 0% a 90%

Presión 700 hPa a 1060 hPa

Accesorios suministrados

Cable de alimentación de CA (1)

Soporte de enchufe de CA (1)

Manual de instrucciones (1)

El modelo PVM-14L2MD/PVM-20L2MD es un monitor de vídeo en color Trinitron para uso profesional.

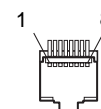
El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Clasificación del equipo

- Evaluado de acuerdo con EN60601-1, EN60601-1-2, UL2601-1 (Segunda edición), CSA601.1, 89/336/EEC, 73/23/EEC, 93/42/EEC
- Se recomienda no utilizar este EQUIPO con una MEZCLA ANESTÉSICA INFLAMABLE CON AIRE, CON OXÍGENO O CON ÓXIDO NITROSO

Asignación de pines

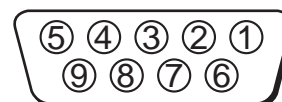
Terminal PARALLEL
REMOTE Conector modular
(8 pines).



Número de pin	Funciones
1	Configurar la señal de entrada LINE A
2	Configurar la señal de entrada LINE B
3	Configurar la señal de entrada RGB/COMP
4	Configurar la señal de entrada OPTION 1
5	GND
6	Activar o desactivar la lámpara indicadora
7	Seleccionar la subexploración
8	Seleccionar la sobreexploración

Puede asignar las funciones usando el menú REMOTO.

Conector RS-232C (9 terminales D-sub)



Número de pin	Funciones
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

Para utilizar el mando a distancia debe disponer de un conjunto de cables

Conecte a tierra (pin 5) la función que desea utilizar con un mando a distancia.

ATTENZIONE

Per evitare incendi o cortocircuiti, l'apparecchio non deve essere esposto alla pioggia o all'umidità.

All'interno del televisore sono presenti tensioni pericolosamente alte. Non aprire l'apparecchio. Per le riparazioni, rivolgersi esclusivamente a personale specializzato.

Nel caso di malfunzionamenti o di necessarie riparazioni dell'apparecchio, consultare un rivenditore autorizzato Sony.

ATTENZIONE – Se il prodotto viene installato su un rack:

a) Temperatura ambientale di utilizzo elevata

Se installato in un rack chiuso o per più apparecchi, la temperatura ambientale di funzionamento del rack potrebbe essere superiore a quella della stanza. Pertanto, prestare attenzione ad installare l'apparecchio in un ambiente compatibile con la temperatura nominale massima dell'ambiente indicata dal produttore (da 0°C a 40°C).

b) Flusso dell'aria ridotto

L'installazione dell'apparecchio all'interno di un rack non deve impedire il ricircolo dell'aria necessaria per il funzionamento sicuro dell'apparecchio.

c) Carico meccanico

L'installazione dell'apparecchio in un rack deve impedire il verificarsi di condizioni di rischio dovute ad un carico meccanico impari.

d) Sovraccarico del circuito

Prestare particolare attenzione al collegamento dell'apparecchio al circuito di alimentazione e agli effetti che il sovraccarico dei circuiti potrebbero avere sulla protezione da sovracorrente e sui cavi di alimentazione.

A tale proposito, fare riferimento a quanto indicato nella targhetta indicante la potenza nominale dell'apparecchio.

e) Messa a terra affidabile

Mantenere la messa a terra dell'apparecchio montato su rack ad un elevato livello di affidabilità. Prestare particolare attenzione ai collegamenti all'alimentazione oltre ai collegamenti diretti al circuito secondario (p. es. utilizzo di ciabatte).

f) Spazio

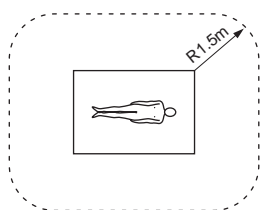
Lo spazio sottostante e soprastante l'apparecchio montato sul rack deve essere pari a 44 mm.

ATTENZIONE

Informazioni importanti per la sicurezza nell'uso in ambiente sanitario

- 1 Tutte le apparecchiature collegate a questo apparecchio dovranno essere in possesso di certificazione in conformità alle norme IEC601-1, IEC950, IEC65 o altre norme IEC/ISO applicabili.
- 2 In caso di utilizzo in aree destinate a pazienti* l'apparecchio dovrà essere dotato di trasformatore oppure dovrà essere collegato mediante un terminale di terra supplementare all'impianto di messa a terra, a meno che già in possesso di certificazione conforme alla norme IEC601-1 e IEC601-1-1.

* Aree destinate a pazienti



- 3 La corrente di perdita può aumentare se collegato ad altre apparecchiature.
- 4 L'operatore deve fare attenzione a non toccare contemporaneamente i circuiti di entrata e uscita del pannello posteriore e il paziente.
- 5 Il modello PVM-14L2MD/PVM-20L2MD è un monitor concepito per l'impiego nel settore medico. La sua funzione è visualizzare immagini provenienti da videocamere o altri sistemi video. Questi modelli non sono progettati per le aree di cura dei pazienti per quanto riguarda le norme relative alla dispersione di corrente.

Simboli sull'apparecchio

Simbolo	Posizione	Significato
	Pannello anteriore	Interruttore principale di alimentazione. Premere questo tasto per spegnere o accendere il monitor.
	Pannello anteriore	Il terminale equipotenziale che porta il potenziale delle varie parti di un sistema allo stesso livello.
	Pannello posteriore	Terminale funzionale di terra.
	Pannello posteriore	Corrente alternata.
	Pannello posteriore	Attenzione, consultare la documentazione correlata.

Avvertenza sui collegamenti

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato all'alimentazione del Paese in cui ci si trova.

	Stati Uniti	Canada	Europe continentale	Giappone
Tipo di spina	PER L'USO IN OSPEDALE	PER L'USO IN OSPEDALE	LP-34A	VM1050
Terminale femmina	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
Tipo di cavo	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
Potenza nominale dei cavi minima	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
Lunghezza del cavo	Max. 4,5 m	Max. 4,5 m	-	-
Norme di sicurezza	UL	CSA	VDE	DENAN-HO

Indice

Precauzioni	83
Sicurezza	83
Installazione	83
Pulizia della superficie del tubo a raggi catodici	83
Pulizia	83
Reimballaggio	83
Installazione su un rack	83
Caratteristiche	83
Collegamenti	85
Collegamento del cavo di alimentazione CA ...	85
Individuazione e funzione delle parti e dei comandi	85
Pannello di controllo	85
Pannello posteriore	87
Selezione della lingua dei menu	88
Uso del menu	89
Regolazioni mediante i menu	90
Voci	90
Regolazione e modifica delle impostazioni	91
Menu STATO	91
Menu TEMP. COLORE	91
Menu UTENTE PRESELEZIONE	91
Menu CONFIG UTENTE (1/2, 2/2)	92
Menu REMOTO	92
Menu ASSISTENZA UTENTE	93
Guida alla soluzione dei problemi	93
Caratteristiche tecniche	94
Dimensioni	i

Le istruzioni contenute in questo manuale si riferiscono ai modelli descritti di seguito, salvo diverso avvertimento.

Nel caso in cui vi siano differenze tra i modelli, queste vengono indicate chiaramente nel manuale.

- PVM-14L2MD (monitor 14 pollici)
- PVM-20L2MD (monitor 20 pollici)

Salvo diversamente indicato, le illustrazioni del monitor video si riferiscono al modello PVM-14L2MD.

Precauzioni

Sicurezza

- Utilizzare l'apparecchio solo con una fonte di alimentazione tra quelle specificate nella sezione "Caratteristiche tecniche".
- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico e così via è situata nella parte posteriore.
- Nel caso in cui oggetti solidi o liquidi dovessero penetrare all'interno del rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di riutilizzarlo.
- Non far cadere o collocare oggetti pesanti sul cavo di alimentazione. Se il cavo di alimentazione è danneggiato, disattivare subito l'alimentazione, in quanto l'uso dell'apparecchio potrebbe essere pericoloso.
- Se l'apparecchio non viene utilizzato per diversi giorni, scollegarlo dalla presa a muro.
- Scollegare il cavo di alimentazione dalla presa CA afferrandolo per la spina e mai per il cavo.
- La presa per l'alimentazione deve essere situata vicino all'apparecchio e di facile accesso.

Installazione

- Consentire una circolazione di aria adeguata per prevenire il surriscaldamento interno. Non collocare l'apparecchio su superfici quali stoffe e coperte o vicino a materiali quali tessuti e tendaggi, che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio vicino a fonti di calore quali termosifoni o condotti d'aria né in luoghi soggetti a luce solare diretta, polvere eccessiva, urti o vibrazioni meccaniche.

Pulizia della superficie del tubo a raggi catodici

- Pulire il tubo a raggi catodici con un panno morbido. Se il tubo a raggi catodici è unto o vi sono impronte, pulirlo utilizzando un panno morbido inumidito con una soluzione detergente neutra.
- Non utilizzare detersivi abrasivi, sapone alcalino, né solventi quali alcol, acquaragia o benzene, onde evitare di danneggiare la superficie.
- Non strofinare la superficie del tubo a raggi catodici con oggetti solidi né colpirlo con alcunché.

Pulizia

Per mantenere nuovo l'aspetto dell'apparecchio, pulirlo periodicamente con una soluzione detergente delicata. Non utilizzare mai prodotti aggressivi quali benzina o solventi né prodotti di pulizia abrasivi che potrebbero danneggiare il rivestimento. Per una maggiore sicurezza, scollegare l'apparecchio prima di effettuare la pulizia.

Reimballaggio

Non gettare via la scatola e il materiale di imballaggio, in quanto possono essere riutilizzati per trasportare l'apparecchio. Se occorre spedire l'apparecchio in un altro luogo, reimballarlo come illustrato sulla scatola.

Installazione su un rack

Lasciare libero almeno uno scomparto del rack al di sopra e al di sotto del monitor, per garantire un'adeguata circolazione dell'aria o installare una ventola per mantenerne le prestazioni elevate.

Per eventuali domande, rivolgersi al rivenditore Sony autorizzato.

Caratteristiche

Immagine

Cinescopio a colori Trinitron¹⁾

Il cinescopio Trinitron fornisce un'immagine con risoluzione orizzontale superiore a 600 linee TV al centro dell'immagine (solo per PVM-14L2MD/PVM-20L2MD).

Filtro a pettine

Quando vengono ricevuti segnali video NTSC, si attiva un filtro a pettine che consente una separazione Y/C più accurata. Questa funzione contribuisce a diminuire i problemi di risoluzione, le interferenze a colori sovrapposti e i disturbi relativi alla luminanza.

Circuito BCF

Il circuito BCF (Beam Current Feedback, corrente del fascio di reazione) incorporato assicura un bilanciamento del bianco stabile.

Disponibilità di due sistemi di colore

Il monitor è in grado di visualizzare segnali NTSC e PAL. Il sistema di colore appropriato viene selezionato automaticamente.

1) "Trinitron" è un marchio di fabbrica registrato di Sony Corporation

Ingresso

Connettori di ingresso analogico RGB/ componente

I segnali analogici RGB o componente (Y, P_B, P_R) trasmessi dall'apparecchiatura video possono essere immessi attraverso questi connettori. Premere il tasto RGB/COMPONENT sul pannello di controllo per controllare il segnale.

Connettori di ingresso Y/C (connettore di ingresso S)

Il segnale video, diviso in segnale di luminanza (Y) e segnale di cromaticanza (C), può essere immesso attraverso questo connettore, eliminando l'interferenza tra i due componenti e garantendo la qualità del video.

Capacità di ingresso espandibile

È possibile espandere facilmente la capacità di ingresso installando una scheda opzionale (non in dotazione) nell'alloggiamento opzionale situato nel pannello posteriore. Per espandere la capacità di ingresso, è possibile installare una sola scheda per volta.

Ingresso sincrono esterno

Selezionando la voce RGB/EXT di SIS. RGB nella schermata dei menu, il monitor funziona in base al segnale sincrono fornito da un generatore di sincronizzazione esterno.

Per ulteriori informazioni, vedere a pagina 92.

Terminazione automatica (solo per i connettori contrassegnati da)

Quando non vi sono collegamenti con il connettore di uscita, il connettore di ingresso viene terminato a 75 ohm internamente. Se al connettore di uscita viene collegato un cavo, il terminale interno viene rilasciato automaticamente e i segnali immessi nel connettore di ingresso vengono inviati al connettore di uscita (circuito aperto).

Funzioni

Funzione fase e colore automatica

Il colore e la fase vengono regolati automaticamente.

Modo di sovrascansione

Le dimensioni dell'immagine sullo schermo vengono aumentate di circa il 20% per rendere visibile in modo più chiaro la parte centrale dell'immagine.

Modo di sottoscansione

Nel modo di sottoscansione, le linee solitamente scansionate al di fuori dell'area di visualizzazione normale diventano visibili così da rendere possibile il controllo dell'intera area dello schermo.

Nota

Quando il monitor è nel modo di sottoscansione, sul bordo superiore dello schermo potrebbero apparire le linee di scansione RGB scure. Tali linee sono provocate da un segnale di prova interno.

Smagnetizzazione automatica e manuale

Il monitor viene automaticamente smagnetizzato quando si attiva l'alimentazione. È possibile smagnetizzare manualmente il monitor premendo il tasto DEGAUSS.

Tramite il menu, è possibile selezionare un valore temporale per impostare la smagnetizzazione automatica dopo l'attivazione dell'alimentazione.

Menu a schermo

Tramite i menu a schermo, è possibile effettuare l'impostazione della temperatura di colore, del colore e altre impostazioni.

Opzioni

Possibilità di utilizzo di una staffa di montaggio su rack da 19 pollici conforme a EIA

Il monitor può essere montato su un rack da 19 pollici conforme a EIA mediante le seguenti staffe di montaggio o guide a scorrimento.

Per il modello PVM-14L2MD: MB-502B (in Europa, utilizzare il modello MB-502C)

Per il modello PVM-20L2MD: SLR-103A (in Europa, utilizzare il modello SLR-103C)

Per ulteriori informazioni sul montaggio del monitor sul rack, consultare le istruzioni per l'uso della staffa di montaggio o della guida a scorrimento.

Collegamenti

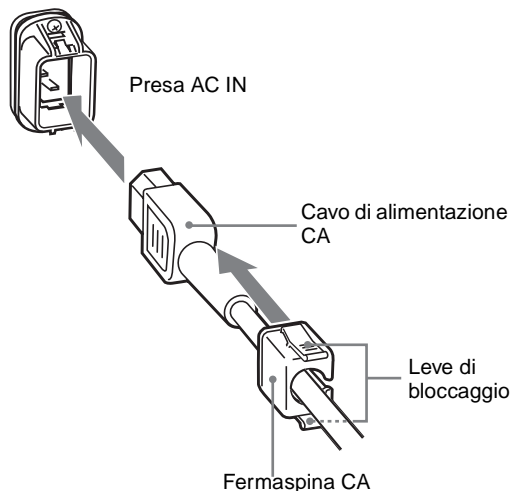
Collegamento del cavo di alimentazione CA

Per collegare il cavo di alimentazione CA

Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi, applicare al cavo di alimentazione CA l'apposito fermaspina (in dotazione) e farlo scorrere lungo il cavo fino a bloccarlo in posizione.

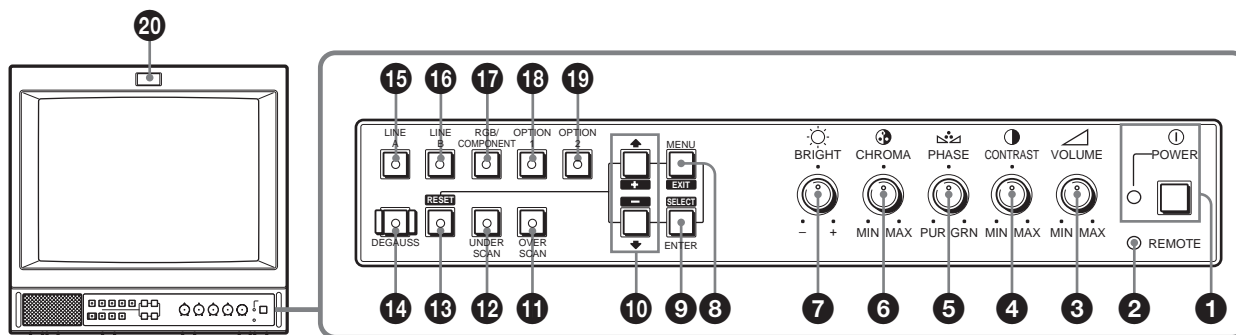
Per rimuovere il cavo di alimentazione CA

Estrarre il fermaspina CA tenendo premute le leve di bloccaggio.



Individuazione e funzione delle parti e dei comandi

Pannello di controllo



1 Interruttore e spia ①POWER

Premere l'interruttore per accendere il monitor. La spia si illumina. Premere di nuovo l'interruttore per spegnere il monitor.

La spia si disattiva.

2 Indicatore REMOTE

Tale indicatore si illumina se:

- PRESELEZIONE viene impostato su ON nel menu
- TRM. RM. SER viene selezionato nel menu REMOTO (RS-232C) del menu a schermo e sono stati impostati FN. REM. ATT o FN. REM/LOC.

3 Comando \triangle VOLUME

4 Comando \odot CONTRAST

5 Comando ☞ PHASE

Nota

Se viene utilizzato un segnale PAL, componente o RGB, non è possibile regolare la fase.

6 Comando ⊕ CHROMA

7 Comando ☼ BRIGHT (luminosità)

8 Tasto MENU/EXIT

Premere questo tasto per visualizzare o disattivare il menu.

9 Tasto ENTER/SELECT

Premere questo tasto per confermare una voce selezionata in un menu.

- 10 Tasto ↑/+ (consente di spostare il cursore verso l'alto/regolare il valore)**
Tasto ↓/- (consente di spostare il cursore verso il basso/regolare il valore)

Premere questi tasti per spostare il cursore o regolare una voce selezionata in un menu.

11 Tasto e spia OVERSCAN

Premere questo tasto per modificare il modo di sovrascansione. Le dimensioni dell'area di visualizzazione vengono aumentate di circa il 20%, affinché la parte centrale dello schermo diventi visibile in modo più chiaro.

Per tornare alle dimensioni originali, premere di nuovo questo tasto.

12 Tasto e spia UNDERSCAN

Premere questo tasto per eseguire una sottoscansione. La dimensione dell'area di visualizzazione viene ridotta di circa il 5% in modo tale da rendere visibili quattro angoli dell'immagine.

Per tornare alle dimensioni originali, premere di nuovo questo tasto.

13 Tasto e spia RESET

È possibile ripristinare l'impostazione di una voce di menu su quella precedente premendo il tasto RESET durante le operazioni di selezione e regolazione della nuova voce.

14 Tasto e spia DEGAUSS

Premere questo tasto una volta per smagnetizzare lo schermo. Prima di utilizzare nuovamente il tasto, attendere almeno 10 minuti.

Nota

Il tasto DEGAUSS non è disponibile durante la visualizzazione del menu a schermo.

Per smagnetizzare manualmente il monitor, chiudere il menu a schermo premendo il tasto MENU/EXIT.

15 Tasto e spia LINE A

Premere questo tasto per controllare i segnali trasmessi mediante i connettori LINE A.

16 Tasto e spia LINE B

Premere questo tasto per controllare i segnali trasmessi mediante i connettori LINE B.

17 Tasto e spia RGB/COMPONENT

Premere questo tasto per controllare i segnali trasmessi mediante i connettori RGB/COMPONENT.

18 Tasto e spia OPTION 1

Questo tasto è disponibile solo se è stata installata una scheda opzionale nell'alloggiamento opzionale del pannello posteriore. Premere questo tasto per controllare il segnale video trasmesso mediante l'ingresso 1 della scheda opzionale e il segnale audio trasmesso dalla presa OPTION AUDIO INPUT 1.

19 Tasto e spia OPTION 2

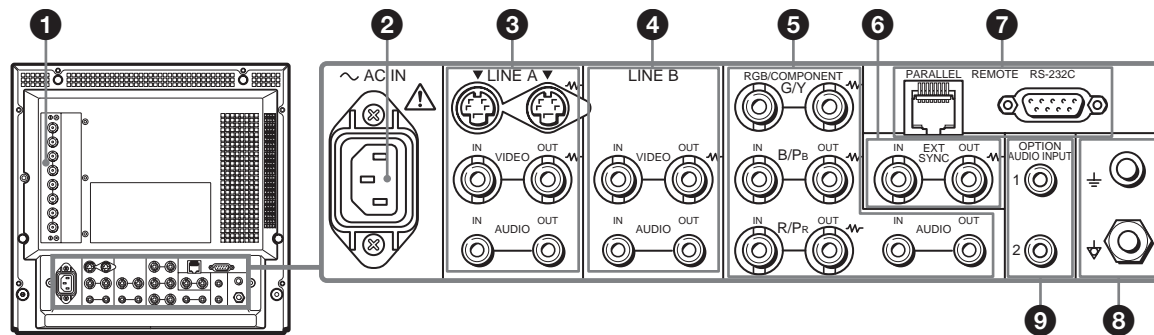
Questo tasto è disponibile solo se è stata installata una scheda opzionale nell'alloggiamento opzionale del pannello posteriore. Premere questo tasto per controllare il segnale video trasmesso mediante l'ingresso 2 della scheda opzionale e il segnale audio trasmesso dalla presa OPTION AUDIO INPUT 2.

20 Spia di controllo

Si illumina quando viene selezionata una videocamera collegata al monitor. Per garantire il funzionamento corretto della spia, è necessario eseguire un collegamento specifico.

Per ulteriori informazioni, vedere a pagina 95.

Pannello posteriore



1 Alloggiamento OPTION (opzionale) (BKM-129X)

Se viene installata un'altra scheda opzionale, rimuovere, quindi reinserire la scheda BKM-129X.

Connettori RGB/COMPONENT IN/Connettori EXT SYNC (sincronizzazione esterna) IN/OUT

I segnali analogici RGB o componente (Y, PB, PR) possono essere immessi o trasmessi tramite questi connettori. È possibile controllare il segnale mediante il tasto OPTION 1 del pannello di controllo. Per l'audio, utilizzare i connettori OPTION AUDIO INPUT. Se viene utilizzato un segnale di sincronizzazione esterna, impostare SIS. RGB su RGB/EXT o COMP/EXT nel menu CONFIG UTENTE (1/2).

In questo alloggiamento, è possibile installare una scheda opzionale. Due schede installate contemporaneamente non funzionano.

Per ulteriori informazioni sull'installazione della scheda, fare riferimento al manuale di installazione in dotazione con la scheda opzionale.

2 Presa AC IN

Collegare il cavo di alimentazione CA alla presa, quindi alla presa di rete.

3 Connettori LINE A

Connettori di ingresso di linea per i segnali Y/C separati, video composito e audio e relativi connettori di uscita a circuito aperto.

Premere il tasto LINE A sul pannello di controllo per controllare il segnale immesso mediante tali connettori. Se i segnali vengono immessi sia mediante Y/C IN sia mediante VIDEO IN, viene selezionato il segnale trasmesso a Y/C IN.

Y/C IN/OUT (mini DIN a 4 piedini)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali separati Y/C. Collegare questi connettori ai connettori di ingresso/uscita per i segnali separati Y/C di un videoregistratore, una video camera o un altro monitor.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali video compositi. Collegare questi connettori ai connettori di ingresso/uscita per i segnali video di un videoregistratore, una video camera o un altro monitor.

AUDIO IN/OUT (presa fon)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali audio. Collegare questi connettori alle prese di ingresso/uscita audio, ad esempio, di un videoregistratore.

4 Connettori LINE B

Connettori di ingresso di linea per i segnali video e audio e relativi connettori di uscita a circuito aperto. Premere il tasto LINE B sul pannello di controllo per controllare il segnale immesso mediante tali connettori.

VIDEO IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali video compositi. Collegare questi connettori ai connettori di ingresso/uscita per i segnali video di un videoregistratore, una video camera o un altro monitor.

AUDIO IN/OUT (presa fon)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali audio. Collegare questi connettori alle prese di ingresso/uscita audio, ad esempio, di un videoregistratore.

5 Connettori RGB/COMPONENT

Connettori di ingresso del segnale analogico RGB o componente (Y, P_B, P_R) e relativi connettori di uscita a circuito aperto.

Premere il tasto RGB/COMPONENT sul pannello di controllo per controllare il segnale immesso mediante tali connettori.

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali analogici RGB e componente (Y, P_B, P_R). A meno che non sia immesso un segnale sincrono esterno, il monitor utilizza il segnale di sincronizzazione presente nel segnale G/Y.

AUDIO IN/OUT (presa fono)

Durante l'uso di un segnale analogico RGB o componente come segnale video, utilizzare queste prese per l'ingresso e l'uscita di un segnale audio. Collegare questi connettori alle prese di ingresso/uscita audio, ad esempio, di un videoregistratore.

6 Connettori EXT SYNC (sincronizzazione esterna)

Per utilizzare un segnale di sincronizzazione esterna, nella schermata dei menu selezionare RGB/EXT in SIS. RGB.

IN/OUT (BNC)

Si tratta dei connettori di ingresso/uscita per i segnali di sincronizzazione esterni. Consentono di trasmettere al connettore IN un segnale di riferimento creato da un generatore di sincronizzazione. Collegare il connettore OUT al connettore di ingresso del segnale sincrono esterno presente sull'apparecchio con cui si desidera sincronizzare il monitor.

7 Terminale REMOTE

PARALLEL REMOTE (connettore modulare a 8 piedini)

Rappresenta un interruttore parallelo per la regolazione esterna del monitor.

Per ulteriori informazioni sull'assegnazione dei piedini e sulle funzioni predefinite assegnate a ciascun piedino, vedere a pagina 95.

Connettore RS-232C (remoto seriale) (D-sub a 9 piedini)

Consente il collegamento al connettore di controllo RS-232C di un apparecchio esterno collegato al monitor. È possibile controllare il monitor mediante comandi di controllo inviati da un apparecchio esterno collegato ad esso.

Per ulteriori informazioni, fare riferimento al manuale dell'interfaccia per programmatori.

8 Terminale di terra (⏏/⏚)

Collegare un cavo di terra.

9 Connettori di ingresso 1, 2 OPTION AUDIO INPUT

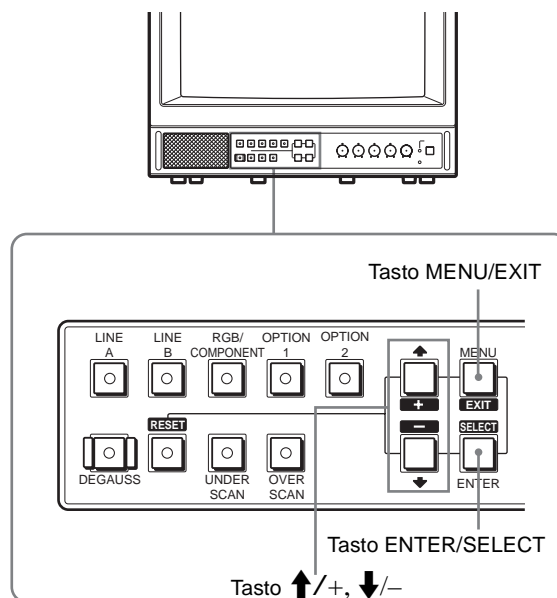
Se nell'alloggiamento opzionale è stata installata una scheda opzionale, immettere un segnale audio in questi connettori. È possibile collegare un massimo di 2 sistemi. Per controllare i segnali audio trasmessi a OPTION AUDIO INPUT 1 o 2, premere il tasto OPTION 1 o OPTION 2.

Selezione della lingua dei menu

È possibile selezionare una delle sette lingue (inglese, tedesco, francese, italiano, spagnolo, giapponese e cinese) per la visualizzazione dei menu e dei messaggi a schermo.

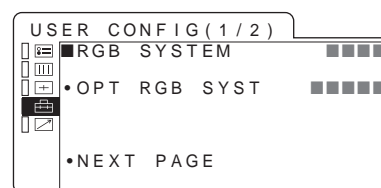
La lingua predefinita è ENGLISH (inglese).

Le impostazioni correnti vengono visualizzate nell'area indicata dai simboli ■ sulle illustrazioni della schermata dei menu.



- 1 Premere il tasto MENU/EXIT per visualizzare la schermata dei menu, il tasto ↑/+ o ↓/- per selezionare ■ (USER CONFIG), quindi il tasto ENTER/SELECT.

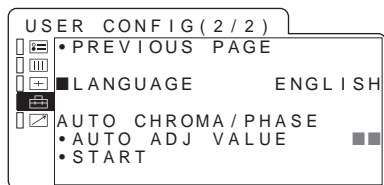
Viene visualizzato il menu USER CONFIG (1/2).



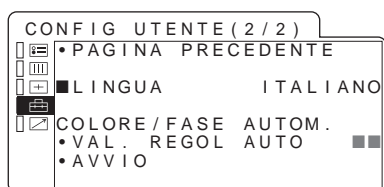
- 2 Premendo il tasto ↓/- per selezionare NEXT PAGE, quindi il tasto ENTER/SELECT, viene visualizzato il menu USER CONFIG (2/2).

- 3 Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare "LANGUAGE", quindi premere il tasto ENTER/SELECT.

La voce selezionata viene visualizzata in giallo.



- 4 Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare la lingua desiderata. La lingua per le indicazioni a schermo viene sostituita da quella selezionata. Quindi, premere il tasto ENTER/SELECT per completare l'impostazione.



Per disattivare il menu

Premere il tasto MENU/EXIT.

Il menu scompare automaticamente se entro un minuto non viene premuto alcun tasto.

Uso del menu

Il monitor è dotato di un menu a schermo per effettuare varie regolazioni e impostazioni quali il controllo dell'immagine, l'impostazione dell'ingresso, la modifica delle impostazioni e così via.

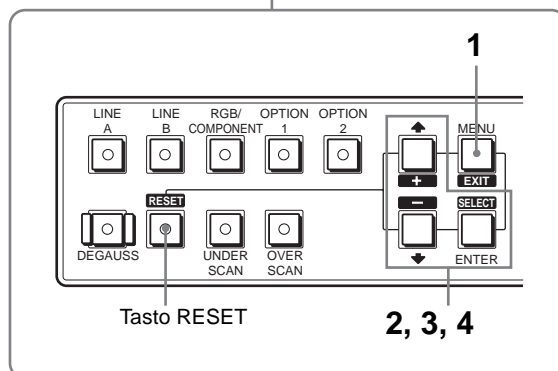
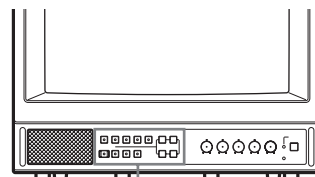
Per modificare regolazioni e impostazioni, attenersi alle istruzioni indicate di seguito.

Per informazioni sulle voci di menu, vedere "Regolazioni mediante i menu" a pagina 90.

È inoltre possibile modificare la lingua del menu visualizzato a schermo.

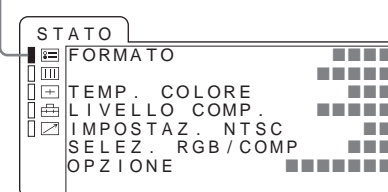
Per modificare la lingua del menu, vedere "Selezione della lingua dei menu" a pagina 88.

Le impostazioni correnti vengono visualizzate nell'area indicata dai simboli ■ sulle illustrazioni della schermata dei menu.

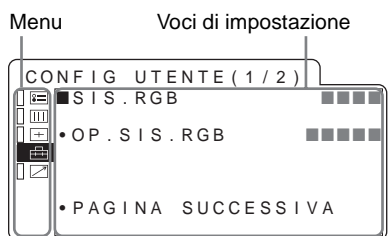


- 1 Premere il tasto MENU/EXIT. Il menu viene visualizzato. Il menu correntemente selezionato viene indicato da un cursore giallo.

Cursore



- 2 Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare un menu, quindi premere il tasto ENTER/SELECT. L'icona del menu correntemente selezionato è visualizzata in giallo e vengono visualizzate le voci di impostazione disponibili.



- 3 Premere il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$ per selezionare la voce desiderata, quindi premere il tasto ENTER/SELECT. La voce da modificare viene visualizzata in giallo.

- 4 Effettuare l'impostazione o la regolazione di una voce.

Quando si modifica il livello di regolazione:
 Per aumentare il numero, premere il tasto ↑/+.
 Per diminuire il numero, premere il tasto ↓/-.
 Premere il tasto ENTER/SELECT per confermare il numero, quindi tornare alla schermata originale.

Quando si modifica l'impostazione:
 Premere il tasto ↑/+ o ↓/- per modificare l'impostazione.
 Premere il tasto ENTER/SELECT per confermare l'impostazione.

Nota

Non è possibile accedere alle voci visualizzate in blu. È possibile accedere alle voci solo se sono visualizzate in bianco.

Per disattivare il menu

Premere il tasto MENU/EXIT.
 Il menu scompare automaticamente se entro un minuto non viene premuto alcun tasto.

Informazioni sulla memoria delle impostazioni

Le impostazioni vengono memorizzate automaticamente nella memoria del monitor.

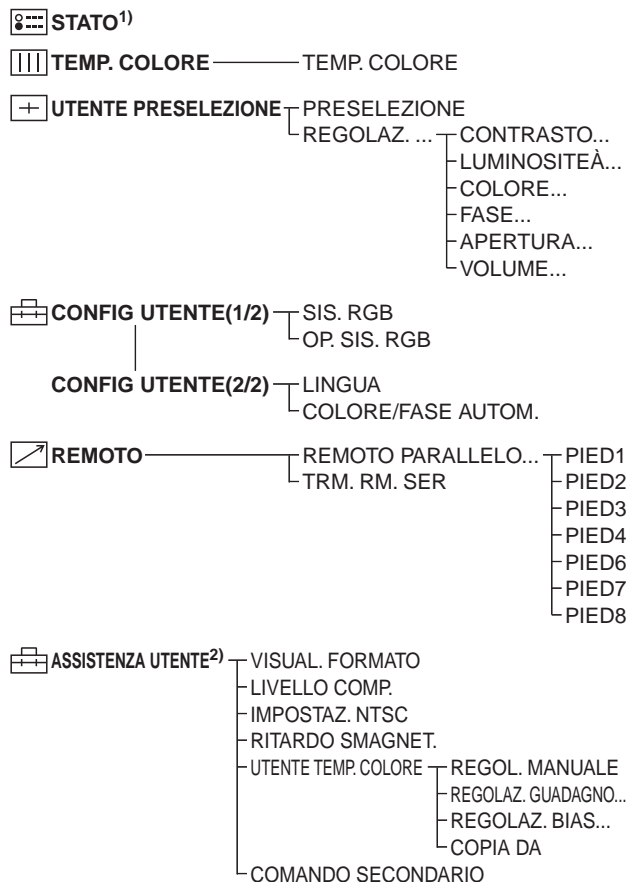
Per reimpostare le voci che sono state regolate

Premendo il tasto RESET durante la selezione e la regolazione delle voci di menu, le modifiche effettuate vengono ignorate e le impostazioni delle voci stesse vengono riportate sui valori precedenti.

Regolazioni mediante i menu

Voci

Il menu a schermo del presente monitor contiene le voci che seguono.



1) Le voci del menu STATO indicano le impostazioni correnti.

2) Per ulteriori informazioni sulle modalità di accesso al menu ASSISTENZA UTENTE, vedere a pagina 93.

Regolazione e modifica delle impostazioni

Menu STATO

Il menu STATO consente di visualizzare lo stato corrente del monitor.

Sottomenu	Impostazione
FORMATO	Sola visualizzazione
TEMP. COLORE	Sola visualizzazione
LIVELLO COMP.	Sola visualizzazione
IMPOSTAZ. NTSC	Sola visualizzazione
SELEZ. RGB/COMP	Sola visualizzazione
OPZIONE	Sola visualizzazione

Menu TEMP. COLORE

Il menu TEMP. COLORE consente di regolare il bilanciamento del bianco dell'immagine.

Per regolare il bilanciamento del bianco occorre utilizzare uno strumento di misurazione.

Sottomenu	Impostazione
TEMP. COLORE	Selezionare la temperatura di colore tra le impostazioni D65, D56, D93 e UTENTE. Selezionando l'opzione UTENTE, è possibile regolare ulteriormente la temperatura di colore. Per regolare la temperatura di colore occorre utilizzare uno strumento di misurazione.

Note

- Mediante l'opzione UTENTE, è possibile impostare la temperatura di colore su un valore compreso tra 5000 K e 10000 K.
- L'opzione D65 è appropriata per l'uso del monitor con un endoscopio.
- L'opzione D56 è appropriata per l'uso del monitor con un microscopio biologico.
- Mediante il menu UTENTE TEMP. COLORE del menu ASSISTENZA UTENTE, è possibile regolare le impostazioni effettuate tramite la voce UTENTE.

Per ulteriori informazioni, vedere il menu ASSISTENZA UTENTE a pagina 93.

Menu UTENTE PRESELEZIONE

Il menu UTENTE PRESELEZIONE consente di regolare l'immagine.

Le voci non regolabili a seconda del segnale di ingresso sono visualizzate in blu.

Sottomenu	Impostazione
PRESELEZIONE	Se tale voce è impostata su ON, tutti i comandi situati sul pannello di controllo sono disattivati (si illumina l'indicatore REMOTE) e i valori di preselezione contenuti nella memoria interna del monitor (le impostazioni predefinite) sono attivati.
REGOLAZ. ...	<ul style="list-style-type: none">• CONTRASTO...: consente di regolare il contrasto dell'immagine.• LUMINOSITÀ ...: consente di regolare la luminosità dell'immagine.• COLORE...: consente di regolare l'intensità del colore. Maggiore è il valore dell'impostazione, superiore è l'intensità. Minore è il valore dell'impostazione, inferiore è l'intensità.• FASE...: consente di regolare i toni del colore. Aumentando il valore dell'impostazione, l'immagine diventa più verdastra. Diminuendo il valore dell'impostazione, l'immagine diventa più violacea.• APERTURA...: consente di regolare la nitidezza dell'immagine. Maggiore è il valore dell'impostazione, superiore è la nitidezza dell'immagine.• VOLUME ...: consente di regolare il livello dell'audio.

Menu CONFIG UTENTE (1/2, 2/2)

Il menu CONFIG UTENTE consente di selezionare la lingua dei menu e dei messaggi a schermo o di indicare il tipo di segnale video accettabile dai connettori RGB/COMPONENT.

Sottomenu	Impostazione
SIS. RGB (1/2)	Per controllare un segnale immesso tramite il connettore RGB/COMPONENT, in base al segnale in ingresso, selezionare RGB/INT, RGB/EXT, COMP/INT o COMP/EXT.
OP. SIS. RGB (1/2)	Il display varia in base alla scheda opzionale installata. Per ulteriori informazioni, fare riferimento alle impostazioni relative alle opzioni.
LINGUA (2/2)	È possibile selezionare la lingua da utilizzare per la visualizzazione delle voci di menu e dei messaggi tra le seguenti sette opzioni. [中文]: cinese [ENGLISH]: inglese [DEUTSCH]: tedesco [FRANÇAIS]: francese [ITALIANO]: italiano [ESPAÑOL]: spagnolo [日本語]: giapponese
COLORE/FASE AUTOM. (2/2)	Consente di regolare l'intensità (COLORE) e le tonalità (FASE) del colore. <ul style="list-style-type: none">• ON: se tale voce è impostata su ON, COLORE e FASE vengono impostate su valori di regolazione automatici.• OFF: se tale voce è impostata su OFF, COLORE e FASE vengono impostate sui valori predefiniti.

Menu REMOTO

Sottomenu	Impostazione
REMOTO PARALLELO...	Il menu REMOTO consente di assegnare le funzioni ai piedini del terminale REMOTO PARALLELO... È possibile utilizzare i piedini da 1 a 4 e da 6 a 8. Di seguito, vengono elencate le funzioni assegnabili ai piedini. <ul style="list-style-type: none">• -- (nessuna funzione assegnata)• LINE A• LINE B• RGB/COMP• OPTION 1• OPTION 2• CONTROLLO• SOTTOSCANSIONE• SOVRASCANSIONE• SMAGNETIZZ.
	Nota Se viene utilizzata la funzione REMOTO PARALLELO..., occorre eseguire il collegamento dei cavi. <i>Per ulteriori informazioni, vedere a pagina 95.</i>
TRM. RM. SER	Selezionare uno dei tre modi riportati di seguito. FN. REM. DIS: È possibile regolare le impostazioni e i comandi mediante i tasti e i comandi presenti sul pannello di controllo. Il connettore RS-232C non è operativo. FN. REM. ATT: È possibile regolare le impostazioni e i comandi mediante il connettore RS-232C. I tasti e i comandi situati sul pannello di controllo, ad eccezione di quelli per l'uso dei menu, non sono operativi. FN. REM/LOC: È possibile regolare le impostazioni e i comandi sia tramite il connettore RS-232C che mediante i tasti presenti sul pannello di controllo. I comandi presenti sul pannello di controllo non sono operativi.

Menu ASSISTENZA UTENTE

Il menu ASSISTENZA UTENTE consente di effettuare regolazioni e impostazioni non comprese tra quelle descritte in precedenza.

Per accedere al menu ASSISTENZA UTENTE, tenere premuto il tasto MENU/EXIT durante la visualizzazione del menu finché non viene visualizzato il menu ASSISTENZA UTENTE indicato di seguito.

Sottomenu	Impostazione
VISUAL. FORMATO	Consente di attivare o meno la visualizzazione sullo schermo del formato del segnale di ingresso. ON: il formato è sempre visualizzato. AUTO: il formato viene visualizzato per circa 10 secondi a partire dall'inizio della trasmissione del segnale. OFF: il formato non viene visualizzato.
LIVELLO COMP.	Selezionare il livello del componente tra i tre modi disponibili. SMPTE: segnale 100/0/100/0 BETA 7.5: segnale 75/7,5/100/7,5 BETA 0: segnale 75/0/100/0
IMPOSTAZ. NTSC	Selezionare il livello di impostazione NTSC tra i due modi disponibili. Il livello di impostazione 7.5 è utilizzato soprattutto nell'America Settentrionale. Il livello di impostazione 0 è utilizzato soprattutto in Giappone.
RITARDO SMAGNET.	Consente di impostare il ritardo di attivazione della smagnetizzazione automatica dopo l'accensione dell'apparecchio. Il ritardo può essere impostato tra 0 e 99 secondi.
UTENTE TEMP. COLORE	Il valore di regolazione impostato mediante tale menu, viene attivato solo se UTENTE è selezionato nel menu TEMP. COLORE. • REGOLAZ. GUADAGNO... : consente di regolare il bilanciamento del colore (GAIN). • REGOLAZ. BIAS... : consente di regolare il bilanciamento del colore (BIAS). • COPIA DA : selezionando D65, D56 o D93 mediante il tasto $\uparrow/+$ o $\downarrow/-$, i dati del bilanciamento del bianco relativi alla temperatura di colore selezionata verranno copiati in UTENTE.

Sottomenu	Impostazione
COMANDO SECONDARIO	È possibile eseguire la regolazione fine dei comandi situati sul pannello anteriore. I comandi CONTRAST, PHASE, CHROMA e BRIGHT dispongono di click al centro della gamma di regolazione. Mediante tale funzione, è possibile regolare l'impostazione dei click.

Guida alla soluzione dei problemi

Questa sezione contiene informazioni utili per individuare la causa di un problema evitando la necessità di assistenza tecnica.

- **Viene visualizzato lo schermo verde o viola** → Selezionare l'ingresso appropriato premendo uno dei tasti correlati all'ingresso.
- **Il segnale trasmesso mediante i connettori di ingresso RGB/COMPONENT non viene visualizzato sullo schermo** → Eseguire l'impostazione corretta di SIS. RGB nel menu CONFIG UTENTE in base al tipo di segnale immesso.

Caratteristiche tecniche

Generali

PVM-14L2MD

Tubo a raggi catodici: Trinitron, materiale luminescente P22

Alimentazione: CA da 100 a 240 V, 50/60 Hz

Consumo: massimo 85 W, da 0,9 a 0,4 A (se è installata la scheda opzionale BKM-150CP)
standard: 75 W, da 0,8 a 0,35 A (senza scheda opzionale)

Corrente di entrata di picco:

- (1) Alimentazione attivata, metodo di verifica della corrente: 53 A (240 V)
- (2) Corrente di entrata con commutazione a caldo, misurata in base allo standard europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensioni (massime):

circa 346 × 340 × 430 mm (l/a/p)

Peso:

circa 18,0 kg

PVM-20L2MD

Tubo a raggi catodici: Trinitron, materiale luminescente P22

Alimentazione: CA da 100 a 240 V, 50/60 Hz

Consumo: massimo 108 W, da 1,1 a 0,5 A (se è installata la scheda opzionale BKM-150CP)
standard: 98 W, da 1,0 a 0,4 A (senza scheda opzionale)

Corrente di entrata di picco:

- (1) Alimentazione attivata, metodo di verifica della corrente: 53 A (240 V)
- (2) Corrente di entrata con commutazione a caldo, misurata in base allo standard europeo EN55103-1: 35 A (230 V)

Dimensioni (massime):

circa 450 × 457 × 529 mm (l/a/p)

Peso:

circa 33,0 kg

Connettori ingresso/uscita

Ingresso

Connettori di ingresso LINE A

Ingresso Y/C mini-DIN a 4 piedini (1)

Ingresso VIDEO

Tipo BNC (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB
sincronizzazione negativa

Ingresso AUDIO

Presafono (1) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Connettori di ingresso LINE B

Ingresso VIDEO

Tipo BNC (1) 1 Vp-p +3 dB -6 dB
sincronizzazione negativa

Ingresso AUDIO

Presafono (1) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Connettori di ingresso RGB/componente

Tipo BNC (3)

Ingresso RGB 0,7 Vp-p +3 dB -6 dB
(sincronizzazione su verde, 0,3
Vp-p sincronizzazione negativa)

Ingresso componente

0,7 Vp-p +3 dB -6 dB (segnale barra di
colore standard cromaticità 75%)

Ingresso AUDIO

Presafono (1) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Connettore di ingresso sincronizzato esternamente

Tipo BNC (1) da 0,3 a 8 Vp-p
± ternario bipolarità o binario
polarità negativa

Prese di ingresso AUDIO opzionali

Presafono (2) -5 dBu 47 kΩ o
superiore

Terminale ingresso remoto

Remoto parallelo

Connettore modulare a 8 piedini (1)

Uscita

Connettori di uscita LINE A

Uscita Y/C mini-DIN a 4 piedini (1) a circuito
aperto, con funzione terminale
automatica 75 Ω

Uscita VIDEO

Tipo BNC (1) a circuito aperto, con
funzione terminale automatica
75 Ω

Uscita AUDIO

Presafono (1) a circuito aperto

Connettori di uscita LINE B

Uscita VIDEO

Tipo BNC (1) a circuito aperto, con
funzione terminale automatica
75 Ω

Uscita AUDIO

Presafono (1) a circuito aperto

Connettori di uscita RGB/componente

Uscita RGB/componente

Tipo BNC (3) a circuito aperto, con
funzione terminale automatica
75 Ω

Uscita AUDIO

Presafono (1) a circuito aperto

Connettore di uscita sincronizzato esternamente

Tipo BNC (1) a circuito aperto, con
funzione terminale automatica
75 Ω

Uscita diffusore incorporato
0,8 W (monofonica)

Segnale video

Risposta in frequenza
da 50 Hz a 10 MHz (0 dB/-3 dB)
Compensazione apertura¹⁾
OFF: 0 dB
ON: da 2 dB a 6 dB

Prestazioni dell'immagine

Scansione normale sovrascansione 7% dell'area di visualizzazione effettiva del tubo a raggi catodici
Sottoscansione sottoscansione 5% dell'area di visualizzazione effettiva del tubo a raggi catodici
Sovrascansione sovrascansione 20% dell'area di visualizzazione effettiva del tubo a raggi catodici
Linearità PVM-14L2MD
O: 4% o inferiore
V: 4% o inferiore
PVM-20L2MD
O: 5% o inferiore
V: 5% o inferiore
Temperatura di colore
D65, D56, D93, UTENTE
(temperatura di colore regolabile: da 5000 K a 10000 K)
Errore di convergenza
PVM-14L2MD
Centro: 0,4 mm o inferiore
Periferico: 0,5 mm o inferiore
PVM-20L2MD
Centro: 0,5 mm o inferiore
Periferico: 0,7 mm o inferiore
Stabilità dimensione quadro
O: 1,0%
V: 1,0%
Risoluzione (al centro dello schermo)
600 linee TV

Condizioni di funzionamento

Temperatura da 0 °C a 40 °C
Umidità da 30% a 85% (senza condensa)
Pressione da 700 hPa a 1060 hPa

Condizioni di deposito e trasporto

Temperatura da -10 °C a 40 °C
Umidità da 0% a 90%
Pressione da 700 hPa a 1060 hPa

Accessori in dotazione

Cavo di alimentazione CA (1)
Fermaspina CA (1)
Istruzioni per l'uso (1)

Il modello PVM-14L2MD/PVM-20L2MD è un monitor video a colori Trinitron per l'uso professionale.

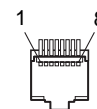
Classificazione dell'apparecchio

- Certificato secondo gli standard EN60601-1, EN60601-1-2, UL2601-1 (Seconda edizione), CSA601.1, 89/336/EEC, 73/23/EEC, 93/42/EEC
- APPARECCHIO non idoneo all'uso in presenza di MISCELE ANESTETICHE INFIAMMABILI CON ARIA o CON OSSIGENO O PROTOSSIDO D'AZOTO

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini

Terminale PARALLEL
REMOTE Connettore
modulare (8 piedini)

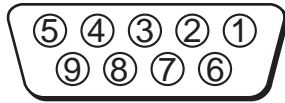


N. piedino	Funzioni
1	Impostazione segnale di ingresso LINE A
2	Impostazione segnale di ingresso LINE B
3	Impostazione segnale di ingresso RGB/COMP
4	Impostazione segnale di ingresso OPTION 1
5	GND
6	Attivazione o disattivazione spia di controllo
7	Selezione della sottoscansione
8	Selezione della sovrascansione

Per assegnare le funzioni, utilizzare il menu REMOTO.

1) Nei segnali RGB l'apertura non può essere compensata.

Connettore RS-232C (D-sub 9-pin)



N. piedino	Funzioni
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

Collegamenti necessari per l'uso del telecomando

Collegare a terra la funzione che si desidera utilizzare con il telecomando (piedino 5).

警告

为防止火灾或电击的危险，切勿让本机受到雨淋或受潮。

机内有危险的高压电。
请勿擅自打开机壳。维修工作仅请委托专业人员进行。

在发生故障或需要维修时，请与经授权的 SONY 经销商联系。

注意 - 本产品安装在机架内时：

a) 工作环境温度升高

如果将本装置安装在密闭或内置式框架内，框架的工作环境温度可能会比室内温度高。因此，应注意将本装置安装在符合厂家规定的最大额定环境温度（0°C ~ 40°C）的场所。

b) 通风不良

将本机安装在机架内时，必须保持本装置安全工作所需的良好通风状态。

c) 机械性负载

将本装置安装在机架内时，必须避免处于因不均匀的机械性负载而造成的危险状态。

d) 电路过载

对本装置与电路的连接以及电路过载可能给过电流保护和电源线造成的影响，必须多加注意。

e) 可靠接地

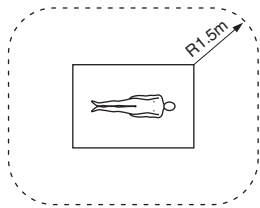
安装在机架内的装置应可靠接地。特别应注意非直接连接至支电路的电源连接。

f) 保持间隙

安装在机架内的装置的上部和下部间隙应保持在 44 mm 以上。

重要安全注意事项 / 在医疗环境中使用时的注意事项

1. 所有与本机连接的装置必须符合 IEC601-1、IEC950、IEC65 标准或其他适用于这些装置的 IEC/ISO 标准。
2. 在病人区域 * 内与其他装置一起使用本机时，除非该装置符合 IEC601-1 和 IEC601-1-1 标准，应通过一绝缘变压器向其供电，或通过附加的保护接地端子进行连接以使系统接地。
* 病人区域



3. 在连接其他装置时泄漏电流可能会增大。
4. 操作人员必须注意避免同时接触后面板输入输出电路和病人。
5. PVM-14L2MD/PVM-20L2MD 型是一种图像监视器，它用于在医疗环境中显示来自摄录机或其他影像系统的图像。这些机型是不考虑泄漏电流之需要的非病人护理装置。

机器上的符号

符 号	位 置	此符号表示
	前控制板	主电源开关。 按此开关以打开或关闭监视器。
	后控制板	同电位接头，它使系统的不同部份的电位相同。
	后面板	保护性接地
	后控制板	交流电源
	后控制板	注意事项，参照 ACCOMPANYING DOCUMENTS

关于电源连接的警告

请使用符合贵地电源的电源线。

	美国	加拿大	欧洲大陆	日本
插头类型	HOSPITAL GRADE	HOSPITAL GRADE	LP-34A	VM1050
雌端	E41395	LL33182	LS-60	VM1010
电线类型	E41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
最小电线套件额定指标	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
电线长度	最大 4.5 m	最大 4.5 m	-	-
安全认可	UL	CSA	VDE	DENAN-HO

目录

使用前须知	101
关于安全	101
关于安装	101
关于 CRT 表面清洁	101
关于清洁	101
关于重新装箱	101
关于机架上安装	101
特点	101
连接	102
如何连接交流电源线	102
部件及控制器的位置和功能	103
控制面板	103
后面板	104
选择菜单语言	105
使用菜单	106
使用菜单进行调整	107
项目	107
调整和改变设置	107
状态菜单	107
色温菜单	108
用户预设菜单	108
用户设定 (1/2, 2/2) 菜单	108
遥控菜单	109
用户设定菜单	109
故障排除	109
规格	110
尺寸图	i

除另有说明外，本手册中的说明适用于以下机型。

机型间的差异在本手册中有清楚的说明。

- PVM-14L2MD (14 英寸监视器)
- PVM-20L2MD (20 英寸监视器)

除另有说明外，视频监视器的图示均为 PVM-14L2MD。

使用前须知

关于安全

- 本机仅在“规格”章节指定的电源下使用。
- 标有工作电压、功率消耗等的铭牌位于本机后面板上。
- 万一有异物或液体掉入机中，请拔下本机的电源插头，并在请有资格的专业人员检查之后再继续使用。
- 请勿让重物掉落或压在电源线上。如果电源线受损，请立即关掉电源。在电源线受损的情况下使用本机是危险的。
- 如果数日或更长时间不使用本机，请将电源插头从墙上插座拔下。
- 从交流电源插座拔取电源线时，请拿住插头拔取，不可拉扯电线。
- 电源插座应靠近设备安装且应便于拔插。

关于安装

- 确保有适当的空气流动以防止机内温度上升。请勿将本机安放在会堵塞通风孔的表面（如地毯、毛毯等）上或物品（如窗帘、帷幕等）附近。
- 请勿将本机安放在散热器或暖气管等热源附近，或受阳光直射、极度多尘、机械震动或冲击之处。

关于 CRT 表面清洁

- 用软布清洁 CRT。
当 CRT 被油手印弄脏时，请用蘸上中性洗涤剂的软布进行清洁。
- 请勿使用擦洗剂、碱性肥皂和酒精、稀释剂或挥发性汽油等烈性溶剂，否则会损坏表面。
- 请勿用硬物摩擦或撞击 CRT 表面。

关于清洁

为使本机看起来常新，请定期用中性洗涤剂进行清洁。切勿使用稀释剂、挥发性汽油等烈性溶剂或擦剂，否则会损坏机壳。为保证安全，请在清洁前拔下本机插头。

关于重新装箱

请勿扔掉纸箱和包装材料。它们是搬运本机时的理想包装物。当要把本机装运到其它地方时，请按纸箱上的图示重新装箱。

关于机架上安装

在监视器上、下应留出 1U 的空间以确保充分的空气流通，或安装风扇以保持监视器的性能。

若对本机有任何疑问，请与 Sony 授权经销商联系。

特点

图像

Trinitron¹⁾ 显像管

Trinitron 管提供的图像，其图像中心的水平清晰度超过 600 电视线。

梳形滤波器

在接收 NTSC 视频信号时，用梳形滤波器来提高 Y/C 分离的精度。这样可减少清晰度下降、串色及交叉亮度的现象。

电子束电流反馈电路

内置的电子束电流反馈电路保证稳定的白平衡。

两种彩色制式兼容

监视器可以显示 NTSC 和 PAL 信号。可自动检测输入信号的彩色制式。

输入

模拟 RGB / 分量输入连接器

来自视频设备的模拟 RGB 或分量 (Y, P_B, P_R) 信号可以通过这些连接器输入。按下控制面板上的 RGB/COMPONENT 按钮来监视信号。

Y/C 输入连接器 (S 输入连接器)

视频信号 (分为色度信号 (C) 和亮度信号 (Y)) 可以通过此连接器输入，以消除两个分量间的干扰，确保图像质量。

1) “Trinitron” 是 Sony 公司的注册商标。

可扩展输入能力

通过在后面板上的可选插槽中安装可选板卡（不附带），可以轻松扩展输入能力。扩展输入能力一次只能安装一块板卡。

外部同步信号输入

选择菜单画面中 RGB 系统的 RGB / 外部项目，监视器即可由外部同步信号发生器提供的同步信号进行操作。

有关详情，请参见第 108 页。

自动终端（仅限于带有 标记的连接器的）

当没有任何东西与输出连接器相连时，输入连接器自动接上 75 欧内部终端负载。当有电缆接在输出连接器上时，内部终端负载自动解除，且输入到输入连接器上的信号被输出到输出连接器上（环通）。

功能

自动色度相位功能

自动调整色度和相位。

过扫描模式

屏幕中的图像尺寸增大了约 20%，使图像中心清晰可见。

欠扫描模式

在欠扫描模式中，通常在正常显示区域以外扫描到的行线可见，这样您便可监视整个屏幕区域。

注意

监视器处于欠扫描模式时，暗色的 RGB 扫描线出现在屏幕的上边缘。这是由内部测试信号引起的。

自动 / 手动去磁

监视器在电源接通时会自动去磁。您可以通过按下 DEGAUSS 按钮对监视器进行手动去磁。

可以使用菜单预设在电源接通一段时间后自动去磁的时间。

在屏显示菜单

色温、色度设置和其它设置可以用在屏显示菜单进行设置。

选件

使用 EIA 19 英寸机架安装托架

监视器可以使用以下安装托架或滑轨安装在 EIA 标准的 19 英寸机架上。

对于 PVM-14L2MD：MB-502B（在欧洲，使用 MB-502C）

对于 PVM-20L2MD：SLR-103A（在欧洲，使用 SLR-103C）

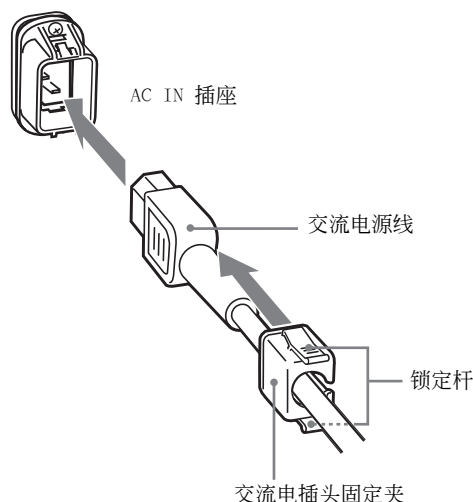
欲知在机架上安装监视器的详情，请参见用户手册中有关安装托架或滑轨的内容。

连接

如何连接交流电源线

连接交流电源线

将交流电源线接至 AC IN 插座。然后，将交流电插头固定夹（附带）套在交流电源线上并移动至电源线锁定位置。

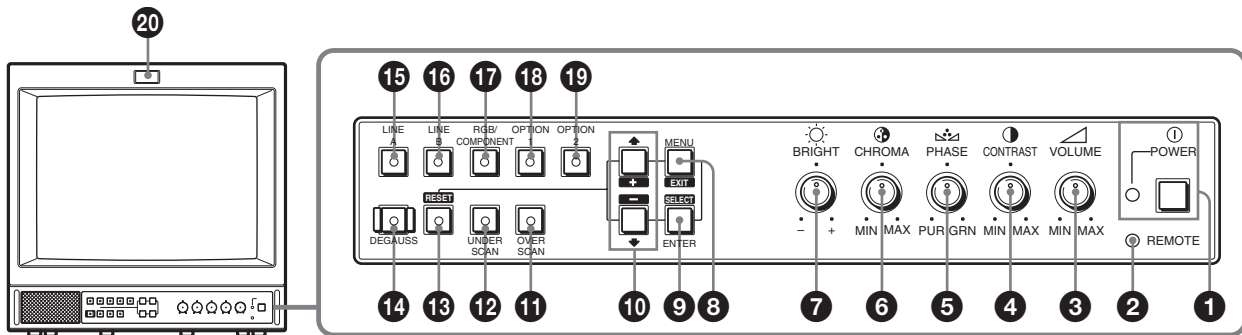


拔下交流电源线

按住锁定杆的同时拉出交流电插头固定夹。

部件及控制器的位置和功能

控制面板



❶ POWER ① 开关和指示灯

按下此开关以打开监视器。指示灯亮起。再次按下则关闭监视器。指示灯熄灭。

❷ REMOTE 指示灯

该指示灯在以下条件中亮起：

- 当菜单中的预设被设为开时。
- 如果选择屏幕菜单遥控 (RS-232C) 菜单上的串行遥控，且遥控器开启或远程和本地已被设置时。

❸ VOLUME \triangle (音量) 控制旋钮

❹ CONTRAST \odot (对比度) 控制旋钮

❺ PHASE ☞ (相位) 控制旋钮

注意

使用 PAL、分量或 RGB 信号时，相位不可调。

❻ CHROMA ⊕ (色度) 控制旋钮

❼ BRIGHT ☀ (亮度) 控制旋钮

❽ MENU/EXIT (菜单/退出) 按钮

按下此按钮显示或隐藏在屏显示菜单。

❾ ENTER/SELECT (进入/选择) 按钮

按下此按钮以决定菜单上的选择项目。

❿ \uparrow /+ (上移光标/调整值) 按钮

\downarrow /- (下移光标/调整值) 按钮

按下这些按钮以移动光标或调整菜单上的选择项目。

⓫ OVERSCAN (过扫描) 按钮和指示灯

按下此按钮以改变过扫描模式。显示尺寸增大了约 20%，使屏幕中心部分变得清晰可见。要返回至原来的显示尺寸，请再次按此钮。

⓬ UNDERSCAN (欠扫描) 按钮和指示灯

按下此按钮进行欠扫描。显示尺寸减小了约 5%，使图像的四角可见。要返回至原来的显示尺寸，请再次按此钮。

⓭ RESET (重设) 按钮和指示灯

在新的项目被选择和调整后，按下 RESET 按钮可以将菜单项目设置恢复到以前的设置。

⓮ DEGAUSS (去磁) 按钮和指示灯

仅按下此按钮一次。屏幕将被去磁。再次使用此按钮前必须等 10 分钟以上。

注意

显示屏幕菜单时，DEGAUSS 按钮无效。要给监视器手动去磁，请首先按下 MENU/EXIT 按钮退出屏幕菜单。

⓯ LINE A (线路 A) 按钮和指示灯

按下此按钮来监视通过 LINE A 连接器输入的信号。

16 LINE B (线路 B) 按钮和指示灯

按下此按钮来监视通过 LINE B 连接器输入的信号。

17 RGB/COMPONENT (RGB /分量) 按钮和指示灯

按下此按钮来监视通过 RGB/COMPONENT 连接器输入的信号。

18 OPTION 1 (选择 1) 按钮和指示灯

当可选板卡安装在后面板上的可选插槽中时, 此按钮有效。按下此按钮以监视通过可选板卡输入 1 输入的视频信号和通过 OPTION AUDIO INPUT 1 插孔输入的音频信号。

19 OPTION 2 (选择 2) 按钮和指示灯

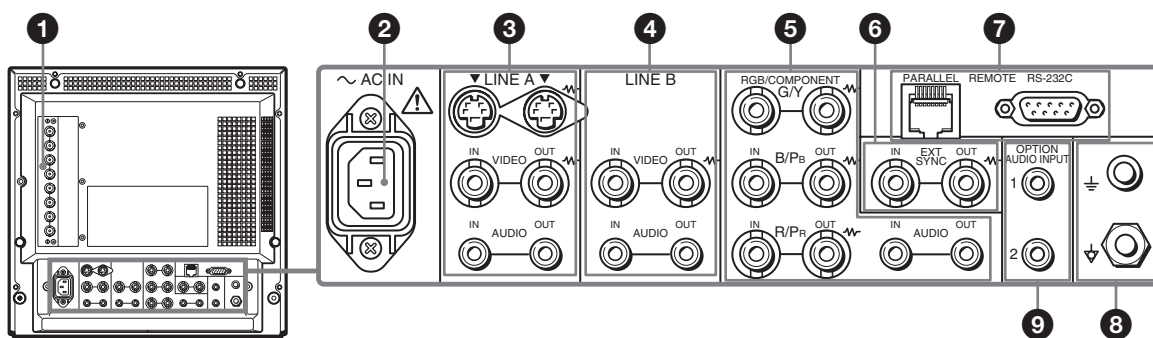
当可选板卡安装在后面板上的可选插槽中时, 此按钮有效。按下此按钮以监视通过可选板卡输入 2 输入的视频信号和通过 OPTION AUDIO INPUT 2 插孔输入的音频信号。

20 演播指示灯

当选择了连接到监视器的摄像机时, 该灯亮起。要使指示灯正常工作, 需进行必要的接线。

欲知接线详情, 请参见第 111 页。

后面板



1 OPTION (可选) 插槽 (BKM-129X)

如果要安装其它的可选插槽, 请先拆下 BKM-129X, 然后将其重新插入。

RGB/COMPONENT IN (RGB /分量输入) 连接器 / EXT SYNC (外部同步) IN/OUT (输入 /输出) 连接器

这些是模拟 RGB 或分量 (Y, P_B, P_R) 信号的输入和输出连接器。可以使用控制面板上的 OPTION 1 (选择 1) 按钮监视它们。对于音频, 则使用 OPTION AUDIO INPUT 连接器。当使用外部同步信号时, 请从用户设定 (1/2) 菜单中的 RGB 系统设置 RGB /外部或分量 /外部。

可在此可选插槽中安装一个可选板卡。若安装了两块板卡, 它们将不工作。

欲知如何安装板卡, 请参考随可选板卡附带的安装手册。

2 AC IN (交流输入) 插座

将附带的交流电源线连接至此插座, 然后再接至墙上插座。

3 LINE A (线路 A) 连接器

Y/C 分离、复合视频和音频信号的线路输入连接器, 以及它们的环通输出连接器。

按下控制面板上的 LINE A 按钮来监视这些连接器的输入信号。

若信号输入至 Y/C IN 和 VIDEO IN, 则选择输入到 Y/C IN 的信号。

Y/C IN/OUT (Y/C 输入 /输出) (4 芯微型 DIN)

这些是 Y/C 分离信号的输入 /输出连接器。将它们连接到 VCR、摄像机或其它监视器等设备的 Y/C 分离输入 /输出连接器上。

VIDEO IN/OUT (视频输入 /输出) (BNC)

这些是复合视频信号的输入 /输出连接器。将它们连接到 VCR、摄像机或其它监视器等设备的复合视频输入 /输出连接器上。

AUDIO IN/OUT (音频输入 /输出) (拾音插孔)

这些是音频信号的输入 /输出插孔。将它们连接到设备的音频输入 /输出插孔上, 如 VCR。

④ LINE B (线路 B) 连接器

复合视频和音频信号的线路输入连接器以及它们的环通输出连接器。

按下控制面板上的 LINE B 按钮以监视通过这些连接器输入的信号。

VIDEO IN/OUT (视频输入/输出) (BNC)

这些是复合视频信号的输入/输出连接器。将它们连接到 VCR、摄像机或其它监视器等设备的复合视频输入/输出连接器上。

AUDIO IN/OUT (音频输入/输出) (拾音插孔)

这些是音频信号的输入/输出插孔。将它们连接到设备的音频输入/输出插孔上, 如 VCR。

⑤ RGB/COMPONENT (RGB/分量) 连接器

模拟 RGB 信号或分量 (Y, P_B, P_R) 信号输入连接器以及它们的环通输出连接器。

按下控制面板上的 RGB/COMPONENT 按钮以监视通过这些连接器输入的信号。

G/Y, B/P_B, R/P_R IN/OUT (视频输入/输出) (BNC)

这些是模拟 RGB 和分量 (Y, P_B, P_R) 信号的输入/输出连接器。除非输入外部同步信号, 否则监视器和 G/Y 信号中所包含的同步信号同步。

AUDIO IN/OUT (音频输入/输出) (拾音插孔)

当将模拟 RGB 或分量信号作为视频信号使用时, 请将这些插孔用作音频信号的输入/输出。将它们连接到设备的音频输入/输出插孔上, 如 VCR。

⑥ EXT SYNC (外部同步) 连接器

要使用外部同步信号时, 请在菜单屏幕上选择 RGB 系统中的 RGB/外部。

IN/OUT (输入/输出) (BNC)

这些是外部同步信号的输入/输出连接器。将由同步发生器产生的基准信号输入到 IN 连接器中。将 OUT 连接器连接到要与监视器同步之设备的外部同步信号输入连接器上。

⑦ REMOTE (遥控) 端子

PARALLEL REMOTE (并行遥控) (8 芯模块连接器) 形成开关, 并外部控制监视器。

欲知插芯分配和每个插芯的出厂设置功能的详情, 请参见第 111 页。

RS-232C (串行遥控) 连接器 (D-Sub 9 芯)

连接至与监视器相连的外部设备上的 RS-232C 控制连接器。监视器可根据与其相连的外部设备发出的控制命令进行操作。

有关详情, 请参见程序员接口手册。

⑧ 接地 (⏏/⏚) 端子

连接一根 GND 电缆。

⑨ OPTION AUDIO INPUT (选择音频输入) 1, 2 输入连接器

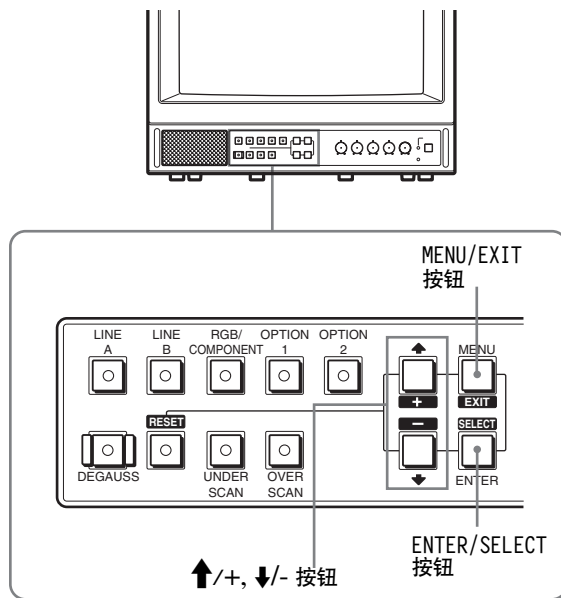
若可选板卡安装在可选插槽中, 输入一个音频信号至这些连接器。您最多可与两个系统相连。要监视输入到 OPTION AUDIO INPUT 1 或 2 中的音频信号, 请按下 OPTION 1 或 OPTION 2 按钮。

选择菜单语言

您可以从七种语言 (英语, 德语, 法语, 意大利语, 西班牙语, 日语, 汉语) 中选择一种来显示菜单和其它在屏信息。

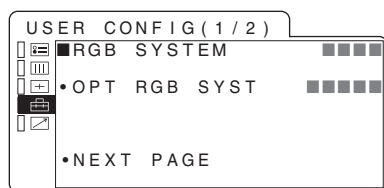
出厂预置语言是 ENGLISH (英语)。

菜单屏幕上 ■ 标记表明当前的设置位置。



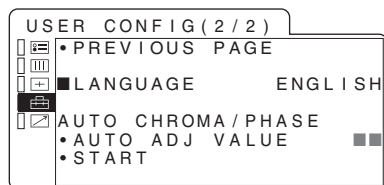
- 1 按下 MENU/EXIT 按钮来显示菜单屏幕, 按下 ↑/+或 ↓/- 按钮来选择 (USER CONFIG), 然后按下 ENTER/SELECT 按钮。

USER CONFIG (1/2) 菜单出现。

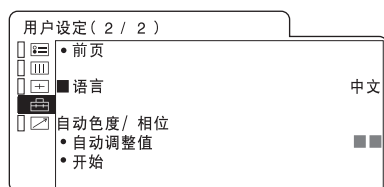


2 当您按下 ↓/- 按钮选择“NEXT PAGE”后再按下 ENTER/SELECT 按钮时，USER CONFIG (2/2) 菜单显示。

3 按下 ↑/+ 或 ↓/- 按钮以选择“LANGUAGE”，然后按下 ENTER/SELECT 按钮。选中的项目以黄色显示。



4 按 ↑/+ 或 ↓/- 按钮来选择所需的语言，在屏显示的语言会变为所选语言，然后按下 ENTER/SELECT 按钮结束设置。



要清除菜单

请按下 MENU/EXIT 按钮。
若未在一分钟内按下按钮，菜单自动消失。

使用菜单

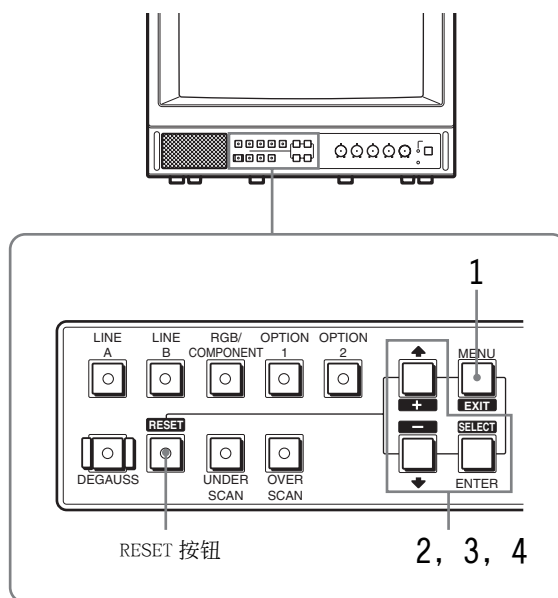
监视器配备在屏显示菜单，以便进行各种调整和设置，如图像控制、输入设置和安装设置变更等等。请按下面的指示进行调整或更改设置。

有关菜单项目的详情，请参见第 107 页的“使用菜单进行调整”。

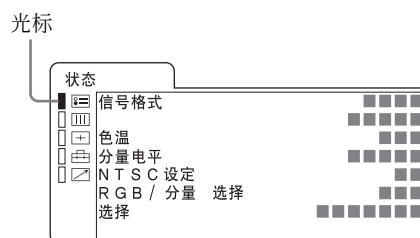
您也可更改在屏显示菜单的菜单语言。

要更改菜单语言，请参见第 105 页的“选择菜单语言”。

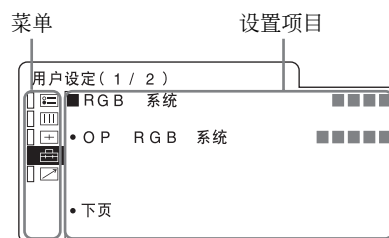
菜单屏幕图上 ■ 标记表明当前的设置位置。



1 按下 MENU/EXIT 按钮。
菜单出现。
当前选中的菜单以黄色光标表示。



2 按下 ↑/+ 或 ↓/- 按钮以选择菜单，然后按下 ENTER/SELECT 按钮。
当前所选的菜单图标以黄色表示，并显示可用的设置项目。



3 使用 ↑/+ 或 ↓/- 按钮以选择所需项目，然后按下 ENTER/SELECT 按钮。
要改变的项目以黄色显示。

4 在项目中进行调整。

当改变调整等级时：

要增加数字，请按下 **↑/+** 按钮。

要减小数字，请按下 **↓/-** 按钮。

按下 **ENTER/SELECT** 按钮来确认数字，然后恢复初始屏幕。

当改变设置时：

按下 **↑/+** 或 **↓/-** 按钮以改变设置。

按下 **ENTER/SELECT** 按钮来确认设置。

注意

无法选取以蓝色显示的项目。若项目以白色显示，您可以选取它。

要清除菜单

请按下 **MENU/EXIT** 按钮。

若未在一分钟内按下按钮，菜单自动消失。

关于保留设置

设置自动存储在监视器存储器中。

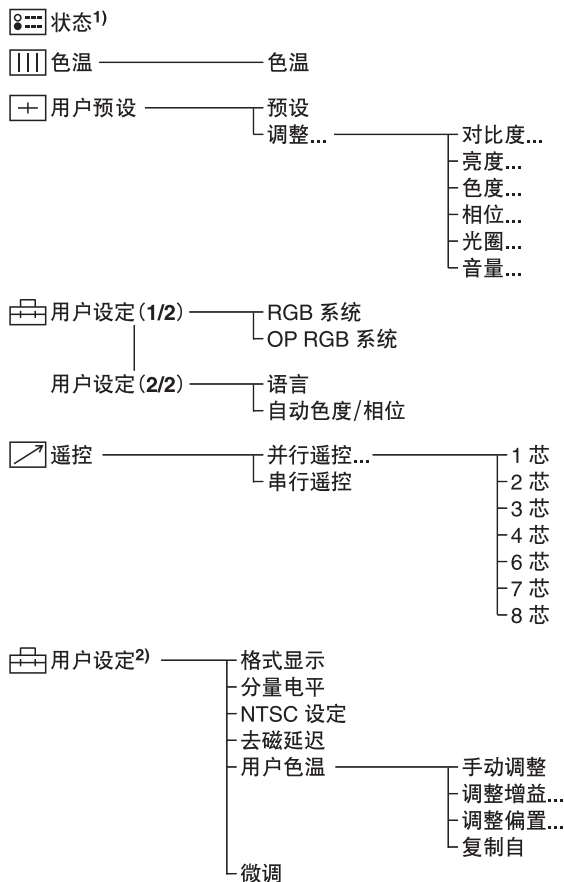
要恢复被调整的项目

在选择和调整新的菜单项目时，按下 **RESET** 按钮。对此新项目设置的任何改变将被忽视且此项目将恢复至先前的设置。

使用菜单进行调整

项目

此监视器的屏幕菜单包含以下项目。



1) 状态菜单上的项目表示当前设置。

2) 有关如何进入用户设定菜单的详情，请参见第 109 页。

调整和改变设置

状态菜单

状态菜单用于显示监视器的当前状态。

子菜单	设置
信号格式	仅显示
色温	仅显示
分量电平	仅显示
NTSC 设定	仅显示
RGB / 分量 选择	仅显示
选择	仅显示

III 色温菜单

色温菜单用于调整图像白平衡。
您需要使用测量仪器来调整白平衡。

子菜单	设置
色温	从 D65、D56、D93 和用户设置中选择色温。用用户选择色温可对色温进行调整。(调整色温需要使用测量仪器。)
	注意 <ul style="list-style-type: none">• 用用户设置的色温可被设为 5000K 至 10000K 范围内的任何色温。• 当使用带内窥镜的监视器时，应正确设置 D65。• 当使用带生物显微镜的监视器时，应正确设置 D56。• 用用户调整的设置可在用户设定菜单的用户色温菜单上完成。 <i>有关详情，请参见第 109 页上的用户设定菜单。</i>

IV 用户预设菜单

用户预设菜单用于调整图像。
根据输入信号不能调整的项目以蓝色显示。

子菜单	设置
预设	当其设为开时，控制面板上的所有控制按钮无效 (REMOTE 指示灯亮起)，但监视器的内部存储器 (出厂设置) 会被启用。
调整 ...	<ul style="list-style-type: none">• 对比度 ...: 调整图像对比度。• 亮度 ...: 调整图像亮度。• 色度 ...: 调整彩色浓度。设置越高，浓度越高。设置越低，浓度越低。• 相位 ...: 调整色调。设置越高，图像变得越绿。设置越低，图像变得越紫。• 光圈 ...: 调整图像清晰度。设置越高，图像越清晰。• 音量 ...: 调整音频等级。

V 用户设定 (1/2, 2/2) 菜单

用户设定菜单用于选择菜单和在屏显示信息语言，或决定 RGB/COMPONENT (RGB/分量) 连接器可接受的视频信号类型。

子菜单	设置
RGB 系统 (1/2)	根据输入信号，监视通过 RGB/COMPONENT (RGB/分量) 连接器输入的信号时，请选择 RGB/内部，RGB/外部，分量/内部或分量/外部。
OP RGB 系统 (1/2)	显示会根据安装的可选项卡而有所不同。有关详情，请参见可选设置。
语言 (2/2)	用于显示菜单项目的语言和信息可从以下七种选项中进行选择。 [中文]: 中文 [ENGLISH]: 英语 [DEUTSCH]: 德语 [FRANÇAIS]: 法语 [ITALIANO]: 意大利语 [ESPAÑOL]: 西班牙语 [日本語]: 日语
自动色度/相位 (2/2)	调整彩色浓度 (色度) 和色调 (相位)。 <ul style="list-style-type: none">• 开: 当设至开时，色度和相位会被设为自动调整值。• 关: 当设至关时，色度和相位会被设为出厂设置。

遥控菜单

子菜单	设置
并行遥控 ...	<p>遥控菜单用于将功能分配到 PARALLEL REMOTE 端子的插芯上。</p> <p>可使用芯 1 至芯 4 和芯 6 至芯 8。下面列出了您可以分配给插芯的功能。</p> <ul style="list-style-type: none">— (未分配功能)。LINE ALINE BRGB/COMPOPTION 1OPTION 2演播指示灯欠扫描过扫描去磁 <p>注意</p> <p>若使用 PARALLEL REMOTE 功能，您需要连接电缆。</p> <p>欲知更多详情，请参见第 111 页。</p>
串行遥控	<p>请从以下三种模式中选择其一。</p> <p>遥控器关闭： 可以通过控制面板上的按钮和控制旋钮调整设置和控制器。 RS-232C 连接器不起作用。</p> <p>遥控器开启： 可以通过 RS-232C 连接器调整设置和控制器。 控制面板上的按钮和控制旋钮（菜单操作按钮除外）不起作用。</p> <p>远程和本地： 可以通过 RS-232C 连接器和控制面板按钮调整设置和控制器。 控制面板上的控制旋钮不起作用。</p>

用户设定菜单

用户设定菜单可用于除以上所列内容以外的所有调整或设置。

要进入用户设定菜单时，请在显示菜单时按住 MENU/EXIT 按钮，直至下面所示的用户设定菜单出现。

子菜单	设置
格式显示	<p>决定输入信号格式是否在屏幕上显示。</p> <p>开：格式始终显示。 自动：当信号开始输入时，格式显示约 10 秒。 关：格式始终隐藏。</p>
分量电平	<p>从下面三个模式中选择分量电平。</p> <p>SMPTE: 100/0/100/0 信号 BETA 7.5: 100/7.5/75/7.5 信号 BETA 0: 100/0/75/0 信号</p>
NTSC 设定	<p>从下面两个模式选择 NTSC 设置等级。</p> <p>7.5 设置等级主要用于北美。0 设置等级主要用于日本。</p>

子菜单	设置
去磁延迟	<p>设定电源打开后自动去磁开始工作的延迟时间。延迟时间可设定在 0 至 99 秒内。</p>
用户色温	<p>只有在色温菜单中选择用户时，该菜单中的调整值才起作用。</p> <ul style="list-style-type: none">调整增益 ...：调整彩色平衡 (GAIN)。调整偏置 ...：调整彩色平衡 (BIAS)。复制自：若您使用 ↑/+ 或 ↓/- 按钮选择 D65, D56 或 D93, 所选色温的白平衡数据将被复制到用户设置上。
微调	<p>可以精调前面板上的控制器。CONTRAST, PHASE, CHROMA 和 BRIGHT 控制旋钮在各自的调整范围中央发出卡嗒声。使用此功能可以调整卡嗒声所在位置的位置。</p>

故障排除

本章节可以帮助您区分问题的原因，从而减少寻求技术支持的需要。

- **显示色彩为绿色或紫色** → 通过按下有关输入的某个按钮来选择正确的输入。
- **通过 RGB/COMPONENT (RGB /分量) 输入连接器输入的信号没有在屏幕上出现** → 根据输入信号的类型，正确设置用户设定菜单上的 RGB 系统。

规格

一般

PVM-14L2MD

CRT: Trinitron, P22 发光材料
电源: 100 - 240V 交流电源, 50/60 Hz
功率消耗: 最大为 85 W, 0.9 至 0.4 A (安装可选板卡 BKM-150CP 时)
标准: 75 W, 0.8 至 0.35 A (无可选板卡)

起动冲量电流峰值:

- (1) 电源开启, 电流检测方式:
53 A (240 V)
- (2) 热切换起动冲量电流, 根据欧洲标准 EN55103-1: 35 A (230 V)

尺寸 (最大):

约 346 × 340 × 430 mm
(宽/高/深)

重量: 约 18.0 kg

PVM-20L2MD

CRT: Trinitron, P22 发光材料
电源: 100 - 240V 交流电源, 50/60 Hz
功率消耗: 最大为 108 W, 1.1 至 0.5 A (安装可选板卡 BKM-150CP 时)
标准: 98 W, 1.0 至 0.4 A (无可选板卡)

起动冲量电流峰值:

- (1) 电源开启, 电流检测方式:
53 A (240 V)
- (2) 热切换起动冲量电流, 根据欧洲标准 EN55103-1:
35 A (230 V)

尺寸 (最大):

约 450 × 457 × 529 mm
(宽/高/深)

重量: 约 33.0 kg

输入/输出连接器

输入

LINE A 输入连接器

Y/C 输入 4 芯微型 DIN (1)

VIDEO 输入

BNC 类型 (1) 1 V_{p-p} +3 dB -6 dB
负同步

AUDIO 输入

拾音插孔 (1) -5dBu 47 kΩ 或更高

LINE B 输入连接器

VIDEO 输入

BNC 类型 (1) 1 V_{p-p} +3 dB -6 dB
负同步

AUDIO 输入

拾音插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 或更高

RGB/分量输入连接器

BNC 类型 (3)

RGB 输入 0.7 V_{p-p} +3 dB -6 dB (绿色同步,
0.3V_{p-p} 负同步)

分量输入

0.7 V_{p-p} +3 dB -6 dB (75% 色度的
标准彩条信号)

AUDIO 输入

拾音插孔 (1) -5 dBu 47 kΩ 或更高

外部同步输入连接器

BNC 类型 (1) 0.3 至 8 V_{p-p}
±三元双极性或二元负极性

可选的 AUDIO 输入插孔

拾音插孔 (2) -5dBu 47 kΩ 或更高

遥控输入端子

并行遥控

模块连接器 8 芯 (1)

输出

LINE A 输出连接器

Y/C 输出 4 芯微型 DIN (1) 环通, 75 Ω 自
动终端功能

VIDEO 输出

BNC 类型 (1) 环通,
75 Ω 自动终端功能

AUDIO 输出

拾音插孔 (1) 环通

LINE B 输出连接器

VIDEO 输出

BNC 类型 (1) 环通,
75 Ω 自动终端功能

AUDIO 输出

拾音插孔 (1) 环通

RGB/分量输出连接器

RGB/分量输出

BNC 类型 (3) 环通,
75 Ω 自动终端功能

AUDIO 输出

拾音插孔 (1) 环通

外部同步输出连接器

BNC 类型 (1) 环通,
75 Ω 自动终端功能

内藏扬声器输出

0.8 W (单声道)

视频信号

频率响应

50 Hz 至 10 MHz (0 dB/-3 dB)

光圈补偿¹⁾

关: 0 dB

开: 2 dB 至 6 dB

图像性能

正常扫描

CRT 有效屏幕区域的 7% 过扫描

欠扫描

CRT 有效屏幕区域的 5% 欠扫描

过扫描

CRT 有效屏幕区域的 20% 过扫描

线性

PVM-14L2MD

水平: 4% 或更小

垂直: 4% 或更小

PVM-20L2MD

水平: 5% 或更小

垂直: 5% 或更小

色温

D65, D56, D93, 用户 (可调色温: 5000K 至 10000K)

会聚误差

PVM-14L2MD

中心区域: 0.4 mm 或更小

外围区域: 0.5 mm 或更小

PVM-20L2MD

中心区域: 0.5 mm 或更小

外围区域: 0.7 mm 或更小

光栅尺寸稳定性

水平: 1.0%

垂直: 1.0%

分辨率 (屏幕中心区域)

600 电视线

工作条件

温度

0 °C 至 40 °C

湿度

30% 至 85% (无结露)

压力

700 hPa 至 1060 hPa

存储和搬运条件

温度

-10 °C 至 40 °C

湿度

0% 至 90%

压力

700 hPa 至 1060 hPa

附件

交流电源线 (1)

交流电插头固定夹 (1)

操作说明书 (1)

PVM-14L2MD/PVM-20L2MD 是专业用途的 Trinitron 彩色视频监视器。

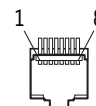
装置类别

- 评价为 EN60601-1, EN60601-1-2, UL2601-1 (第二版), CSA601.1, 89/336/EEC, 73/23/EEC, 93/42/EEC
- 装置不适用于有易燃麻醉混合物与空气或氧气或一氧化氮存在的地方。

设计和规格若有变更, 恕不另行通知。

插芯分配

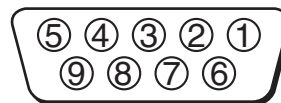
PARALLEL REMOTE 端子模块连接器 (8 芯)



插芯数目	功能
1	设置输入信号 LINE A
2	设置输入信号 LINE B
3	设置输入信号 RGB/COMP
4	设置输入信号 OPTION 1
5	接地
6	设置演播指示灯亮或灭
7	选择欠扫描
8	选择过扫描

您可使用遥控菜单分配功能。

RS-232C (D-sub 9 芯) 连接器



插芯数目	功能
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	接地
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

使用遥控所需的配线

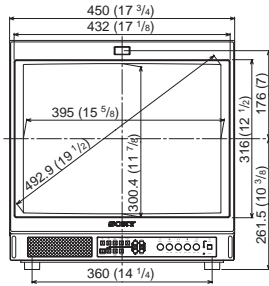
将您想通过遥控器使用的功能接地 (插芯 5)。

1) RGB 输入信号不能进行光圈补偿。

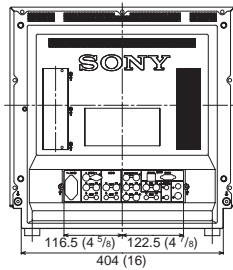
寸法図 / Dimensions / Dimensions / Abmessungen / Dimensiones /
Dimensioni / 尺寸图

PVM-20L2MD

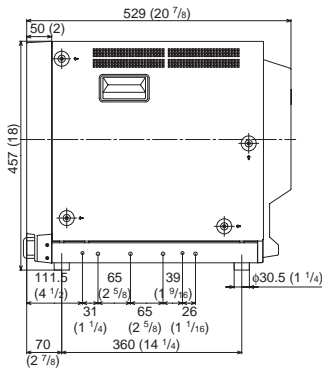
前面
Front
Avant
Vorderseite
Frontal
Anteriore
前面



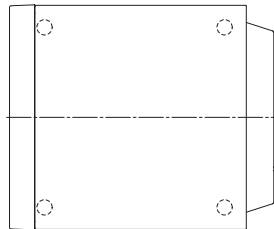
後面
Rear
Arrière
Rückseite
Posterior
Posteriore
后面



側面
Side
Côté
Seitenansicht
Lado
Laterale
側面

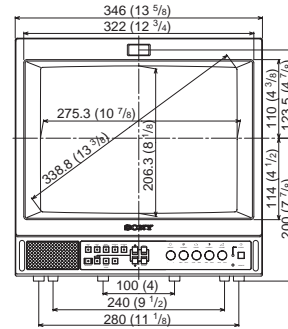


上面
Top
Partie
supérieure
Draufsicht
Superior
Superiore
上面

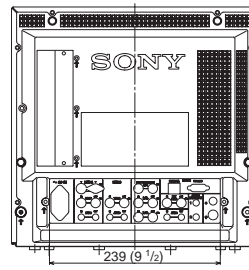


PVM-14L2MD

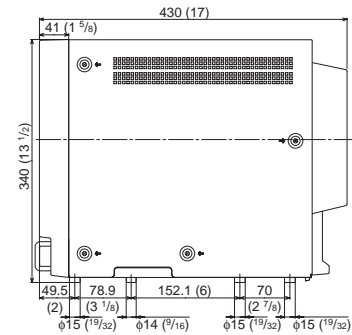
前面
Front
Avant
Vorderseite
Frontal
Anteriore
前面



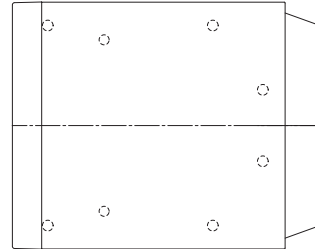
後面
Rear
Arrière
Rückseite
Posterior
Posteriore
后面



側面
Side
Côté
Seitenansicht
Lado
Laterale
側面



上面
Top
Partie
supérieure
Draufsicht
Superior
Superiore
上面



單位 : mm (英寸) / Unit: mm (inches) /
Appareil : mm (pouce) / Einheit: mm (Zoll) /
Unidad: mm (pulgadas) / Unità di misura: mm (pollici) /
單位 : mm (英寸)



この説明書は 100% 古紙再生紙を使用しています。
Printed on 100% recycled paper.

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ